

令和 7 年度

第 2 回葛飾区区民モニターアンケート

調査報告書

- 「『くらしのまるごと相談課』について」 –
 - 「防災の取組について」 –
 - 「葛飾区立図書館の運営について」 –

令和 7 年 12 月



目 次

序章 調査概要	5
1 調査目的	5
2 調査方法等	5
3 調査テーマ	5
4 報告書の見方	5
5 回答者の属性	6
第1章 調査結果（「くらしのまるごと相談課」について）	10
(1) 『くらしのまるごと相談窓口』の認知度	11
(2) 『くらしのまるごと相談窓口』の認知経路	13
(3) 相談先がわからない生活上の困りごとの有無	15
(4) 相談先がわからない生活上の困りごとの内容	17
(5) 『くらしのまるごと相談窓口』の相談意向	21
(6) 相談しやすいと思う方法	23
(7) 相談したいと思わない理由	26
(8) 窓口での相談時に色々な部署に回された経験の有無	28
(9) 窓口での相談時に色々な部署に回された状況	30
(10) 相談先がわからない生活上の困りごとを抱えた世帯に対して進めるべき取組	31
第2章 調査結果（防災の取組について）	34
(11) 防災関連情報への関心の有無	35
(12) 災害に関する情報収集の手段	38
(13) 一時集合場所や避難場所、避難所の認知度	42
(14) 一時集合場所や避難場所、避難所の役割や場所の認知度を上げる効果的な広報	44
(15) 自宅で何日分備蓄しているか	47
(16) 物資を備蓄していない理由	49
(17) 自宅で備蓄している物資	52
(18) 優先的に区に備蓄してほしい物資	55
(19) 感震ブレーカーの設置状況	57
(20) 家庭への消火器の設置状況	59
(21) 業者紹介による家庭用消火器の購入意向	61
(22) 参加したことがある防災訓練	63
(23) 防災訓練に参加したことがない理由	66
(24) 今後参加したい防災訓練の内容	68

第3章 調査結果（葛飾区立図書館の運営について） 71

(25) 葛飾区立図書館の利用の有無	72
(26) 葛飾区立図書館を利用していない理由	74
(27) 葛飾区立図書館を現在利用している目的	78
(28) 葛飾区立図書館ホームページの利用の有無	81
(29) 葛飾区立図書館のオンラインによる利用登録の認知度	83
(30) 葛飾区立図書館ホームページの不便な点	85
(31) ホームページで資料の予約できることを知っているか	88
(32) 葛飾区立図書館電子書籍サービスの認知度	90
(33) 葛飾区立図書館電子書籍サービスを利用したいと思う理由	92
(34) 葛飾区立図書館電子書籍サービスを利用したいと思わない理由	95
(35) 借りた電子書籍を読む場所	98
(36) 葛飾区立図書館電子書籍サービスで利用したいジャンル	100
(37) 葛飾区電子書籍サービス以外の電子書籍サービスの利用の有無	104
(38) 葛飾区電子書籍サービス以外で利用している電子書籍サービス	106
(39) 来館しなくても利用できる図書館サービスについてのご意見・ご要望	108

第 1 章 調査概要

序章 調査概要

1 調査目的

区が実施している施策や区が発信している情報等について、公募により決定した「区民モニター」から、意見を収集することにより、区政への活用を図ることを目的とする。

2 調査方法等

(1) 調査対象	無作為で選定した18歳以上の区民4,000人から公募により決定した区民モニター500人
(2) 調査方法	インターネットでの回答
(3) 調査期間	令和7年9月12日（金）～10月7日（火）
(4) 有効回収数	431名

3 調査テーマ

テーマ1 「くらしのまるごと相談課」について

テーマ2 防災の取組について

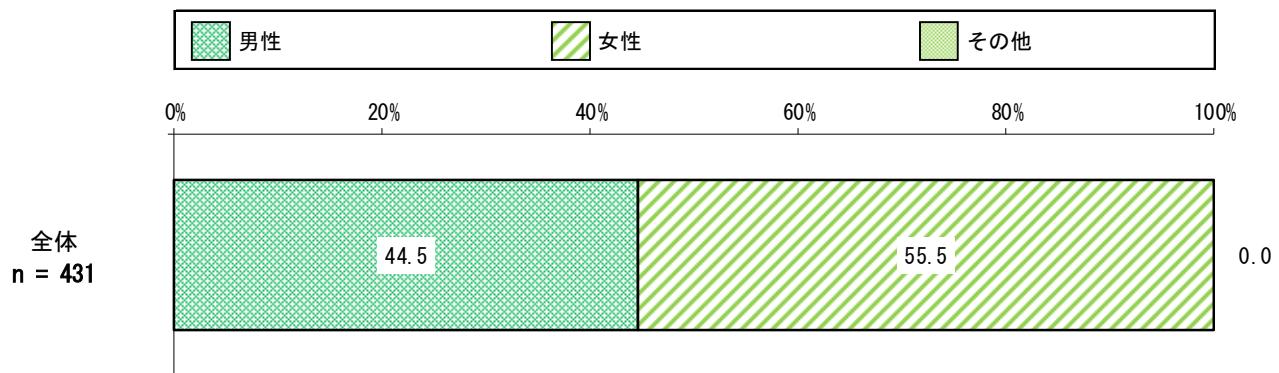
テーマ3 葛飾区立図書館の運営について

4 報告書の見方

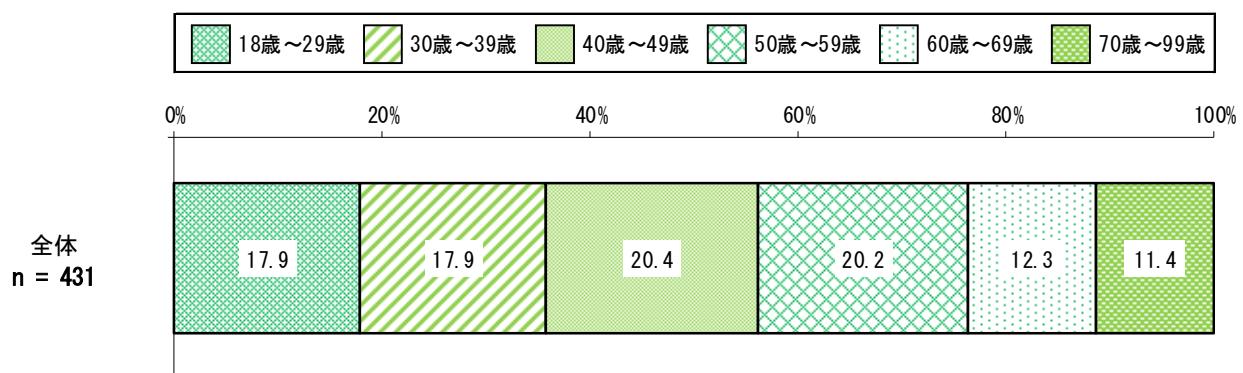
- 調査結果の比率は、その設問の回答者数を基数として、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点第1位まで表示している。したがって、合計が100%にならない場合がある。
- 複数回答形式の場合、回答比率の合計は100%を超える場合がある。
- 図表中の「n」とは、その設問への回答者数を表す。
- 選択肢の語句が長い場合、本文や表・グラフ中では省略した表現を用いている。
- クロス集計において、回答が0件(0.0%)の場合、グラフ中で省略している場合がある。
- クロス分析において、回答者数の少ない(n=30未満)属性についてのコメントは控えている。

5 回答者の属性

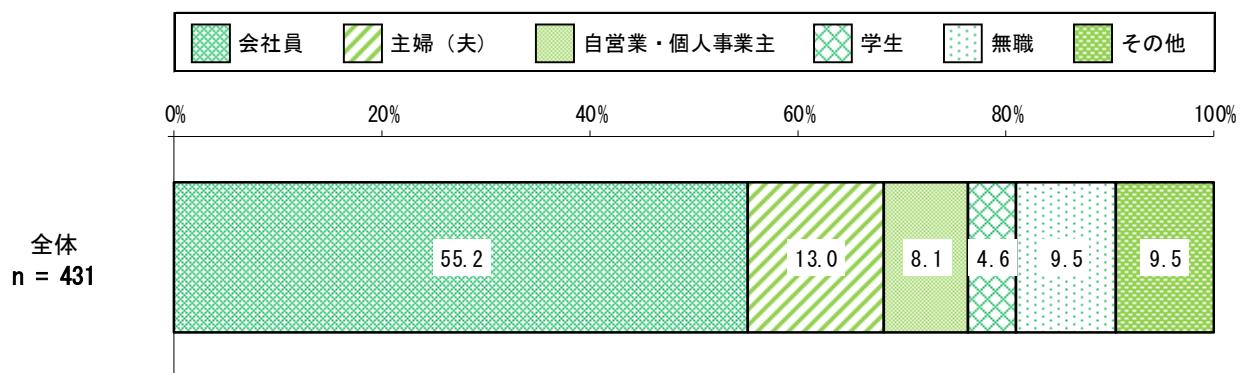
(1) 性別



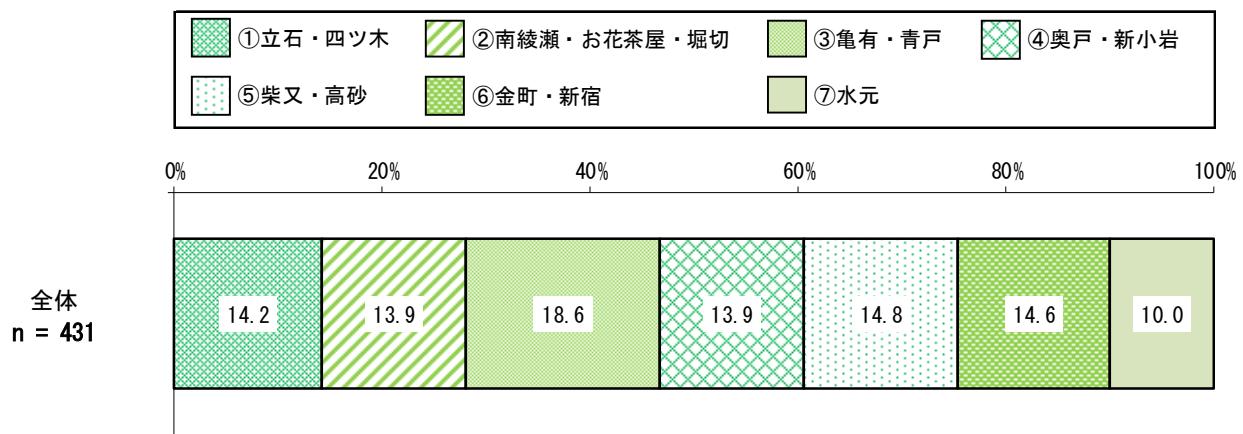
(2) 年齢層（6区分）



(3) 職業



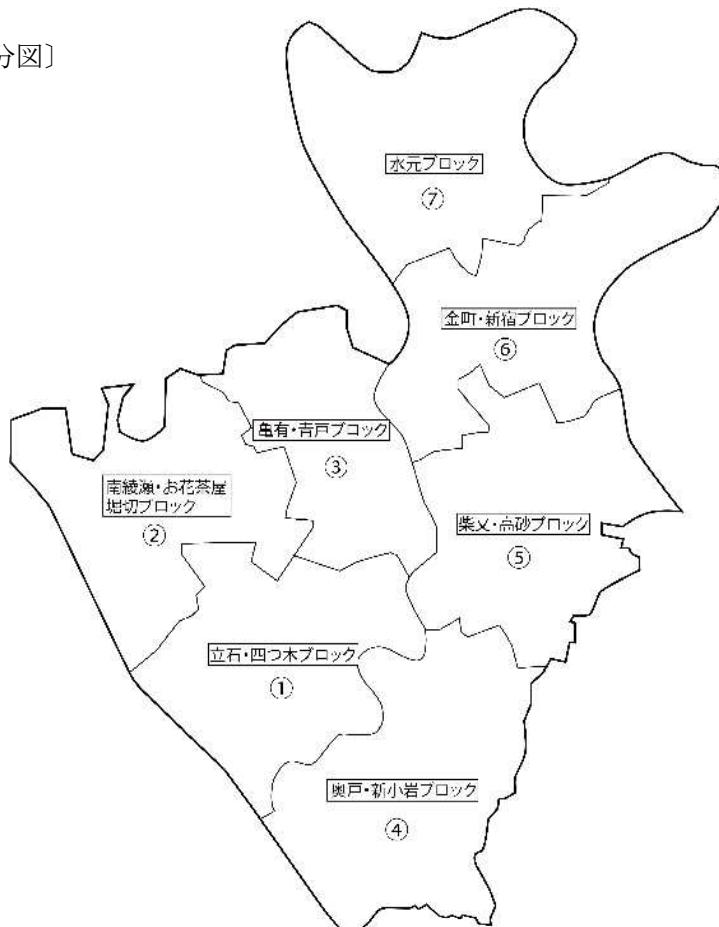
(3) 居住地域 (7 区分)



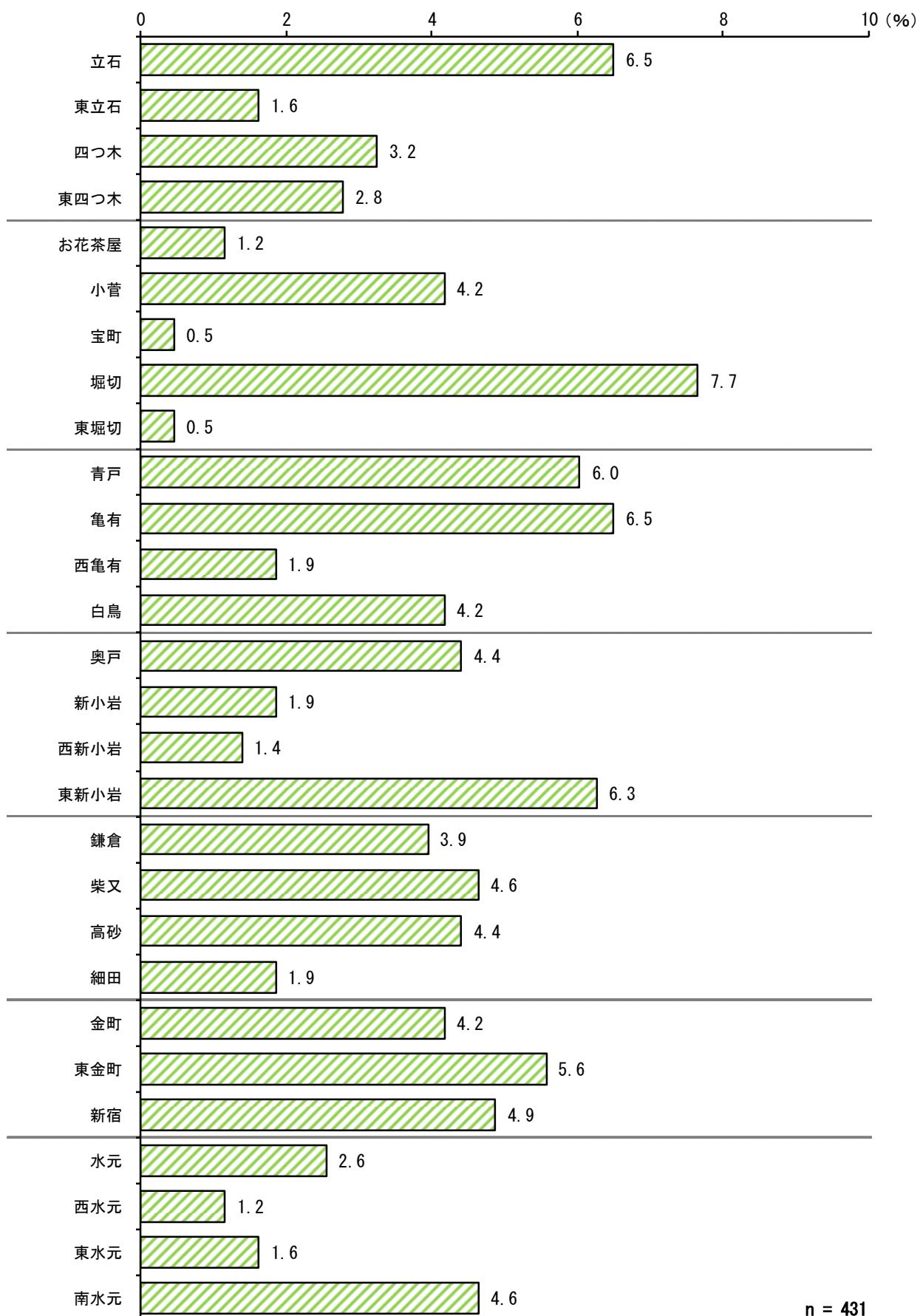
[居住地域区分表]

	ブロック名	町名
1	立石・四つ木ブロック	立石・東立石・四つ木・東四つ木
2	南綾瀬・お花茶屋・堀切ブロック	お花茶屋・小菅・宝町・堀切・東堀切
3	亀有・青戸ブロック	青戸・亀有・西亀有・白鳥
4	奥戸・新小岩ブロック	奥戸・新小岩・西新小岩・東新小岩
5	柴又・高砂ブロック	鎌倉・柴又・高砂・細田
6	金町・新宿ブロック	金町・東金町・新宿
7	水元ブロック	水元・西水元・東水元・南水元

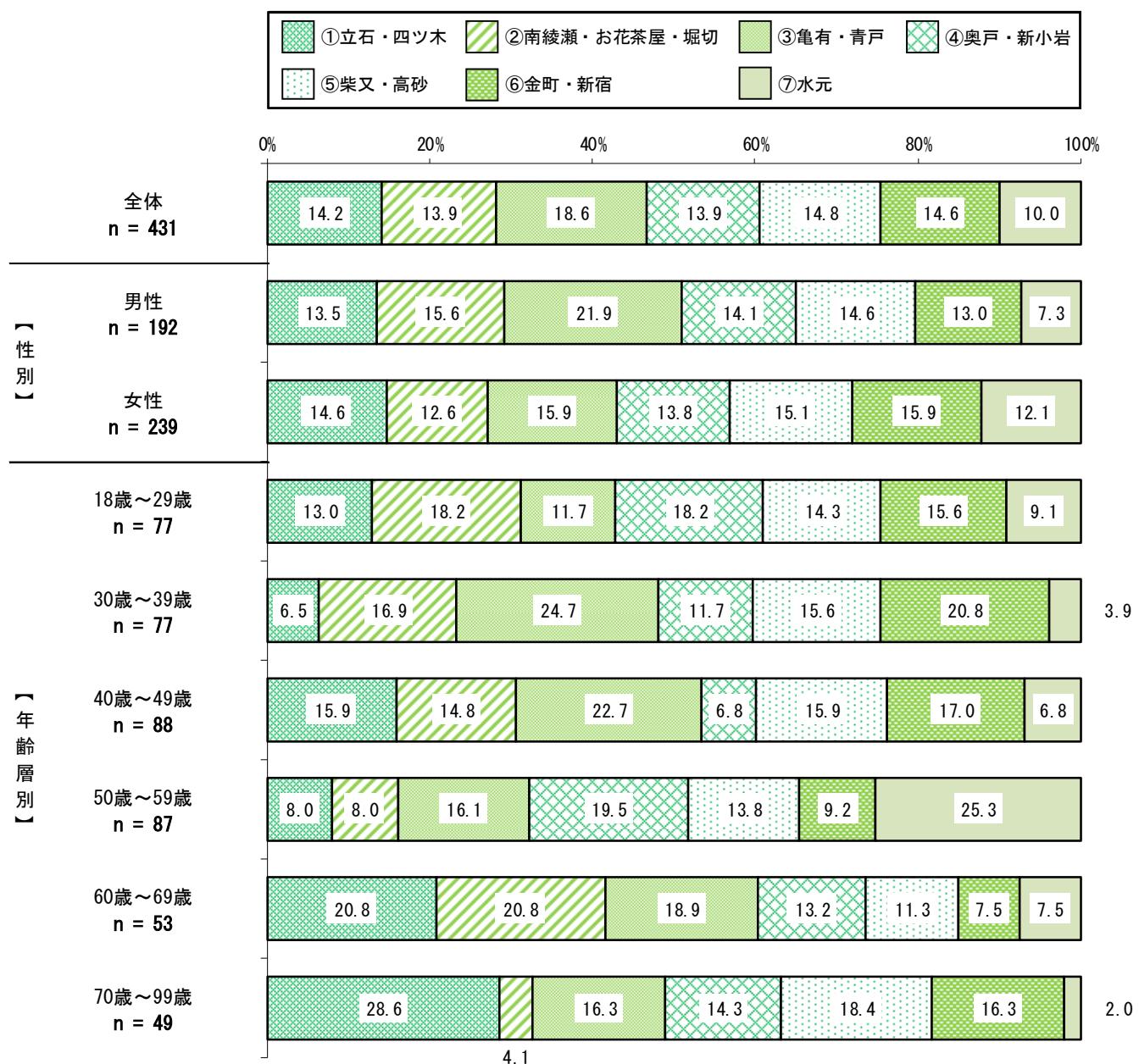
[居住地域区分図]



(4) 居住地域 (28 区分)



(5) 居住地域 (7区分)【性別・年齢層別】



第1章 調査結果（「くらしのまるごと相談課」について）

テーマ1 「くらしのまるごと相談課」について

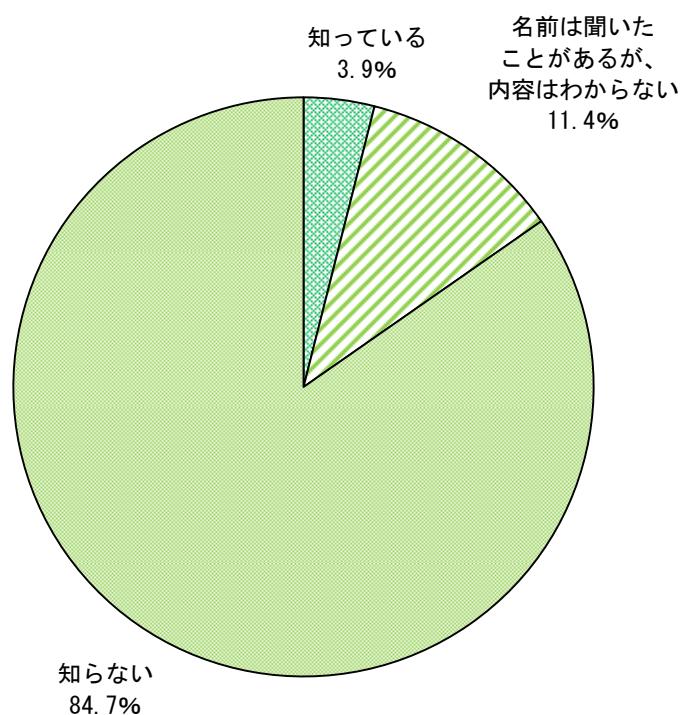
区では、令和5年4月に「くらしのまるごと相談課」を設置し、同年5月に「くらしのまるごと相談窓口」を設置しました。くらしのまるごと相談窓口では、「困っているけれど、どこに相談していいのかわからない」「生活全般に不安がある」などくらしに関するご相談をまるごと受け止め、一緒にお困りごとを整理して解決に向けた支援を行っています。

くらしのまるごと相談窓口の認知度や区民の皆様の相談ニーズを調査し、今後の取組の参考とするため、区民モニターの皆様にご意見をお伺いします。

(1) 『くらしのまるごと相談窓口』の認知度

問1. 『くらしのまるごと相談窓口』を知っていますか。（1つ選択）

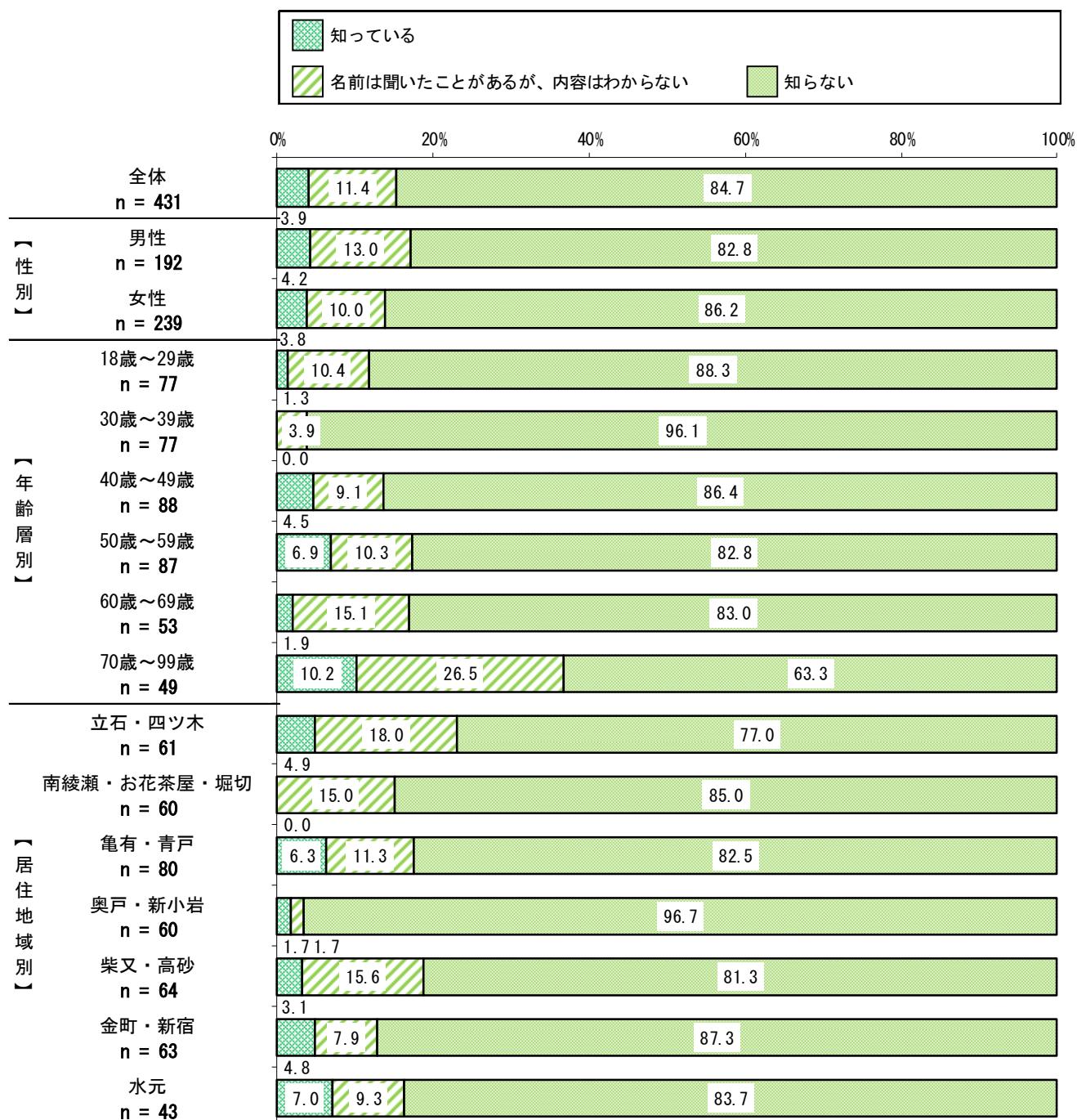
『くらしのまるごと相談窓口』の認知度【全体】



n = 431

『くらしのまるごと相談窓口』の認知度は、「知らない」が 84.7% となっている。

『くらしのまるごと相談窓口』の認知度【全体、性別、年齢層別、居住地域別】



性別による大きな差はみられない。

年齢層別でみると、「知らない」は【30歳～39歳】が96.1%と、他の区分に比べ高く、【70歳～99歳】が63.3%と、他の区分に比べ低くなっている。

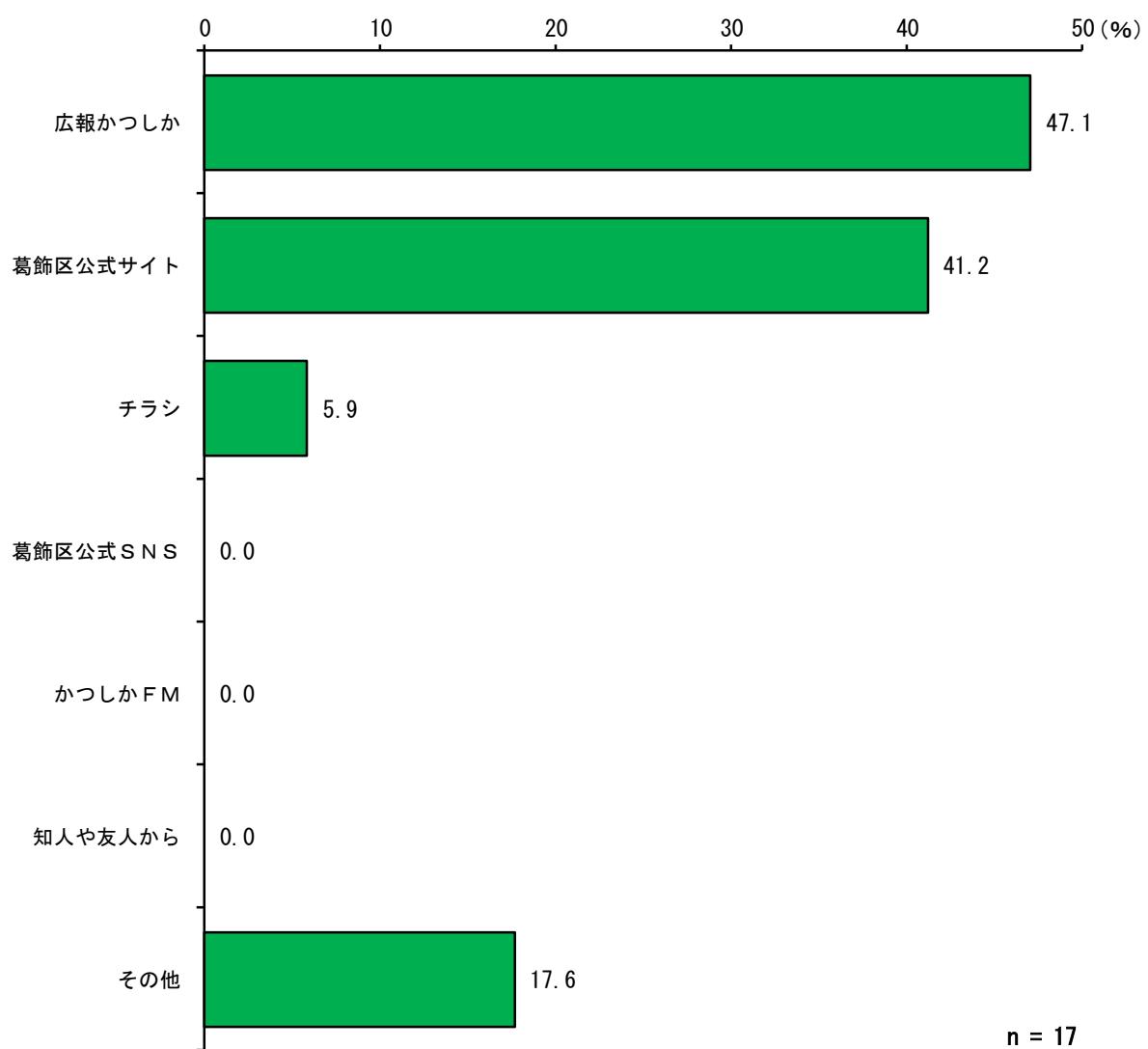
居住地域別でみると、「知らない」は【奥戸・新小岩】が96.7%と、他の区分に比べ高くなっている。

(2) 『くらしのまるごと相談窓口』の認知経路

問2. 問1で「知っている」と答えた方に伺います。

『くらしのまるごと相談窓口』をどのように知りましたか。（複数選択可）

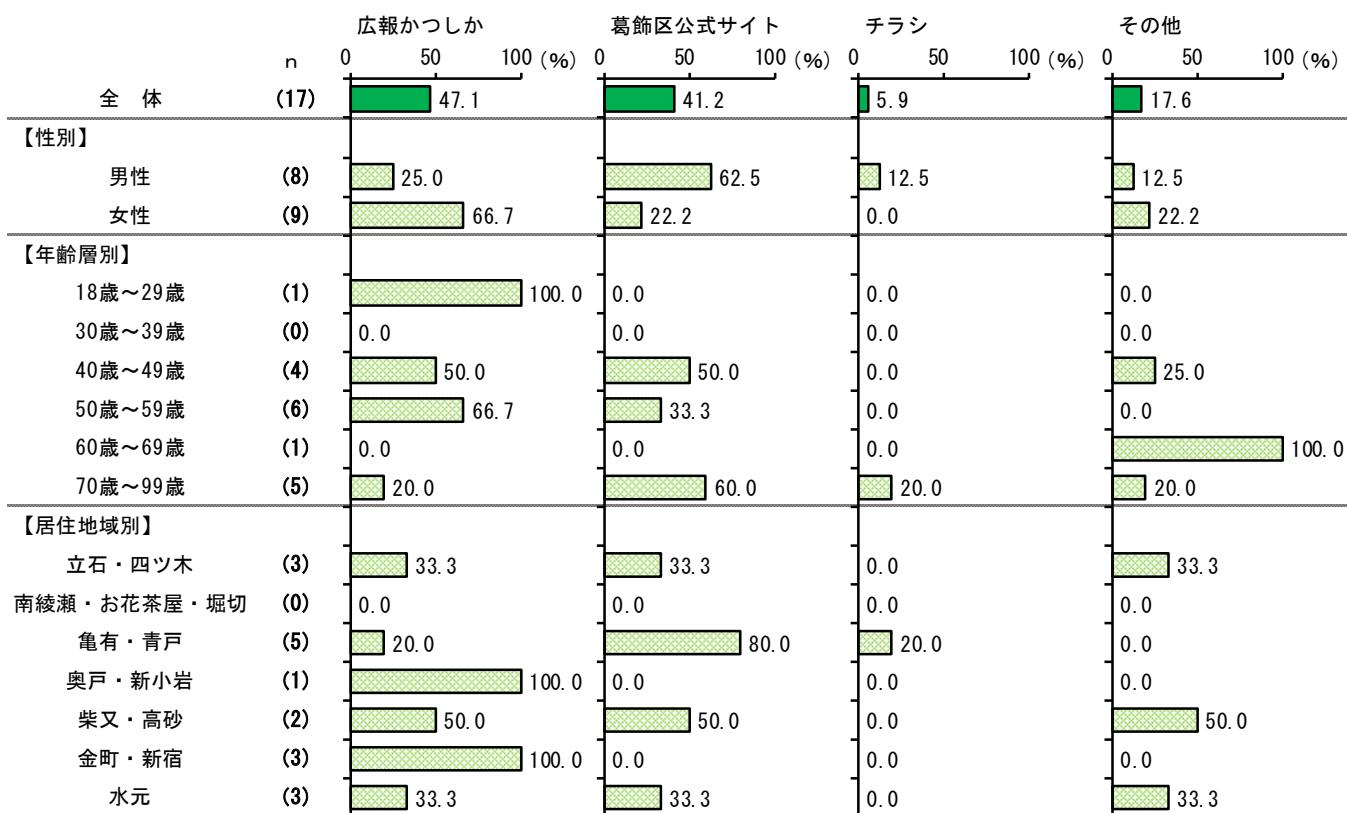
『くらしのまるごと相談窓口』の認知経路【全体】



『くらしのまるごと相談窓口』の認知経路は、「広報かつしか」が 47.1%、「葛飾区公式サイト」が 41.2% となっている。

「その他」の内容としては、「仕事で知り得た」「会社で聞いた」「区役所へ行った際に知った」があった。

『くらしのまるごと相談窓口』の認知経路【全体、性別、年齢層別、居住地域別】

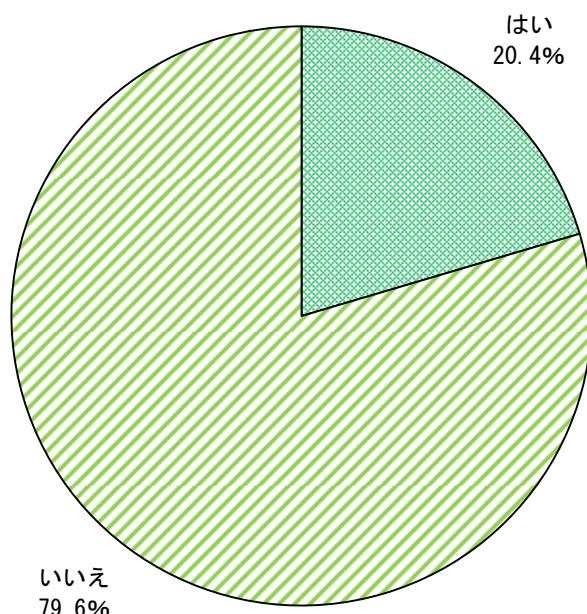


※「葛飾区公式 S N S」「かつしか F M」「知人や友人から」は回答者がいないため、割愛している

(3) 相談先がわからない生活上の困りごとの有無

問3. 現在、どこに相談すればいいかわからない生活上の困りごとがありますか。
(1つ選択)

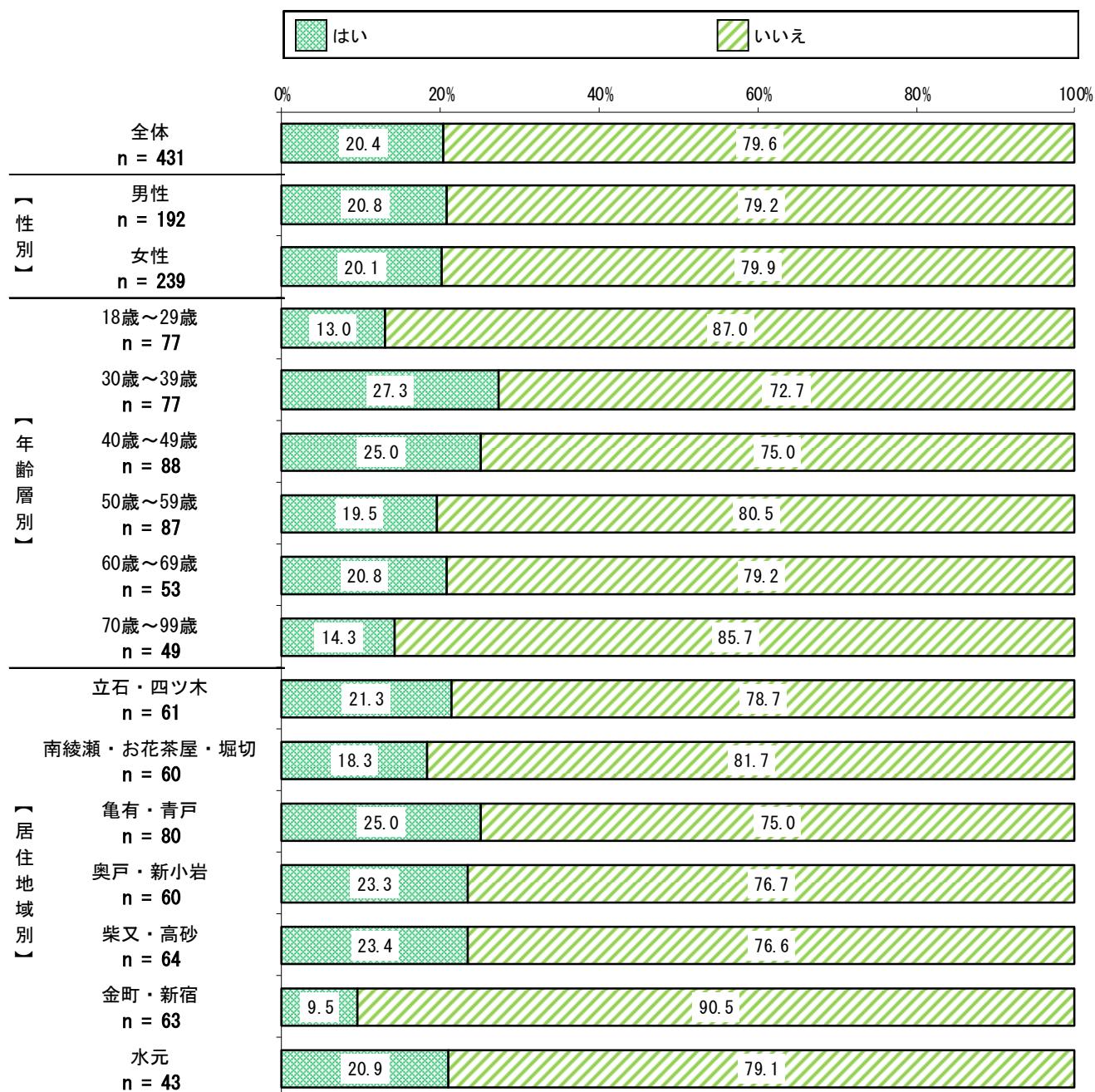
相談先がわからない生活上の困りごとの有無【全体】



n = 431

相談先がわからない生活上の困りごとの有無は、「はい」が 20.4% となっている。

相談先がわからない生活上の困りごとの有無【全体、性別、年齢層別、居住地域別】



性別による大きな差はみられない。

年齢層別でみると、「はい」は【30歳～39歳】が27.3%、【40歳～49歳】が25.0%と、他の区分に比べ高くなっている。

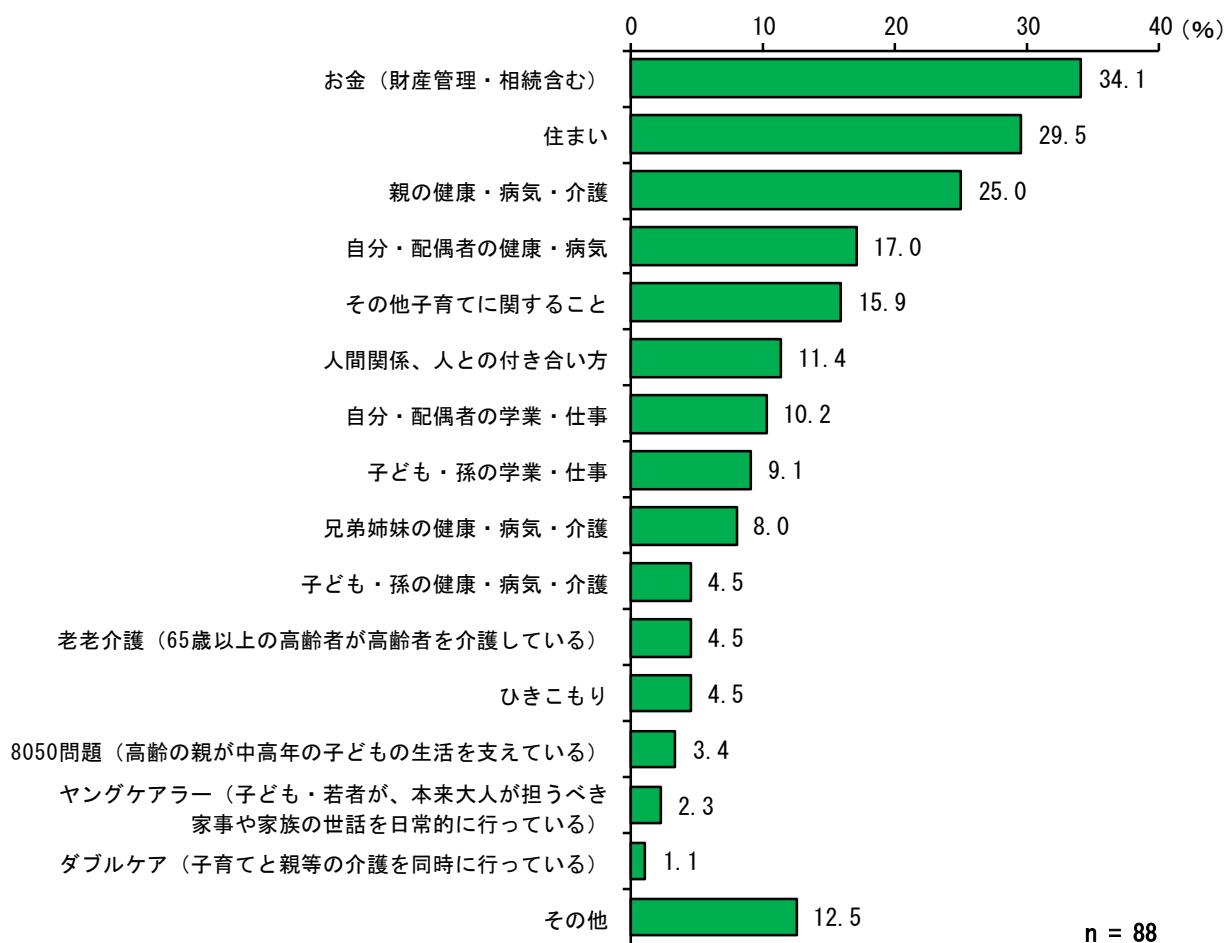
居住地域別でみると、「いいえ」は【金町・新宿】が90.5%と、他の区分に比べ高くなっている。

(4) 相談先がわからない生活上の困りごとの内容

問4. 問3で「はい」と答えた方に伺います。

差し支えなければ、困りごとの内容をお聞かせください。(複数選択可)

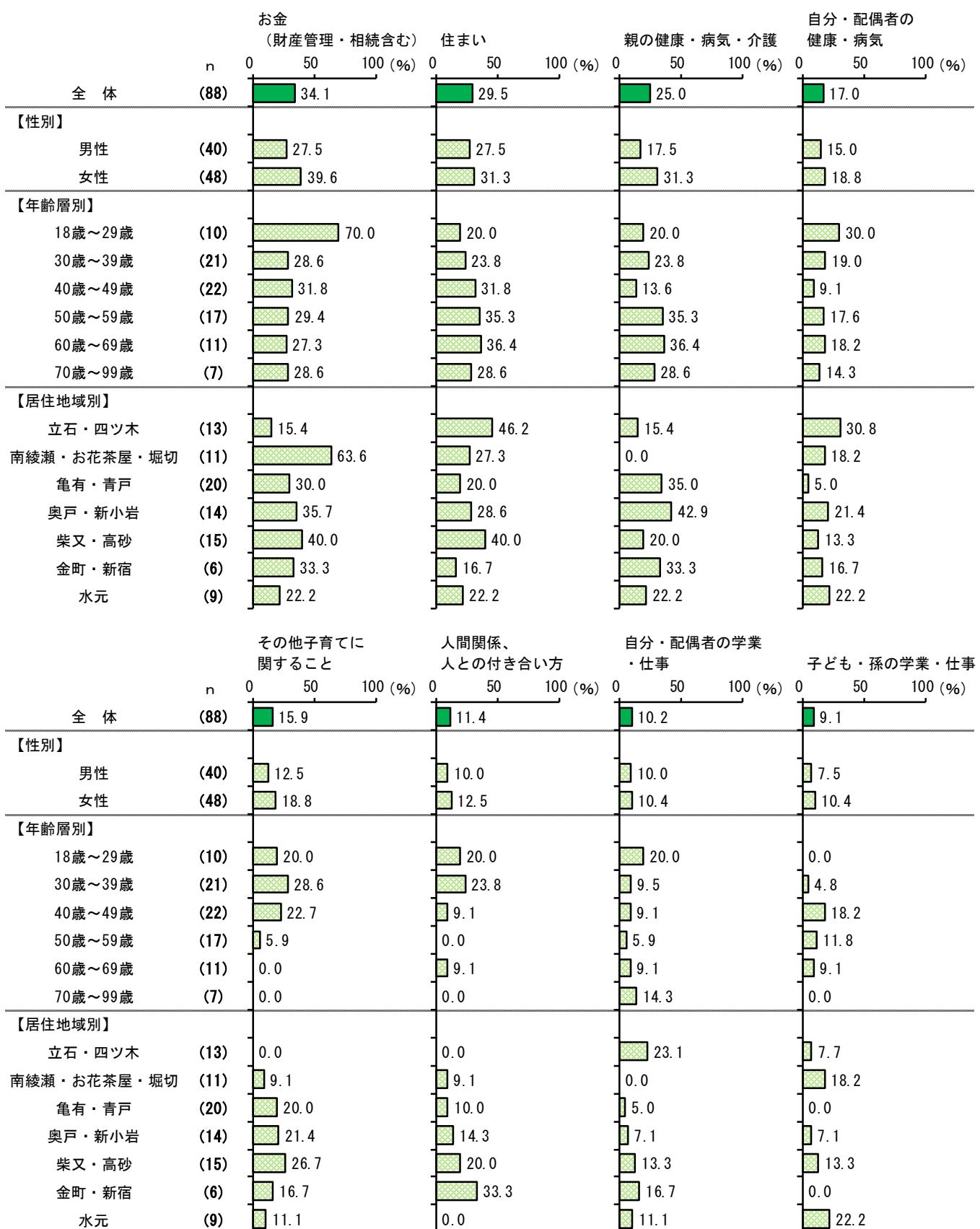
相談先がわからない生活上の困りごとの内容【全体】

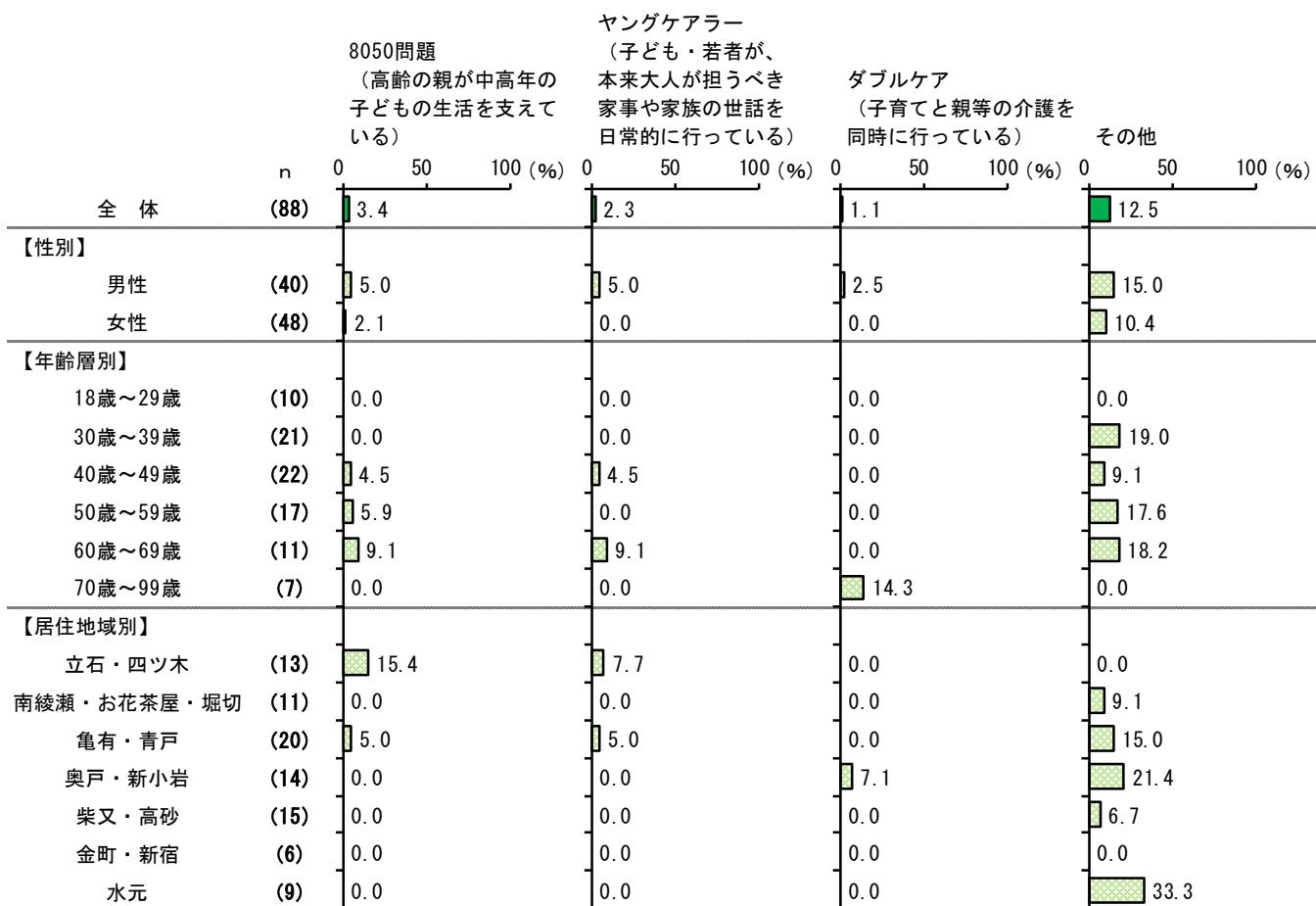
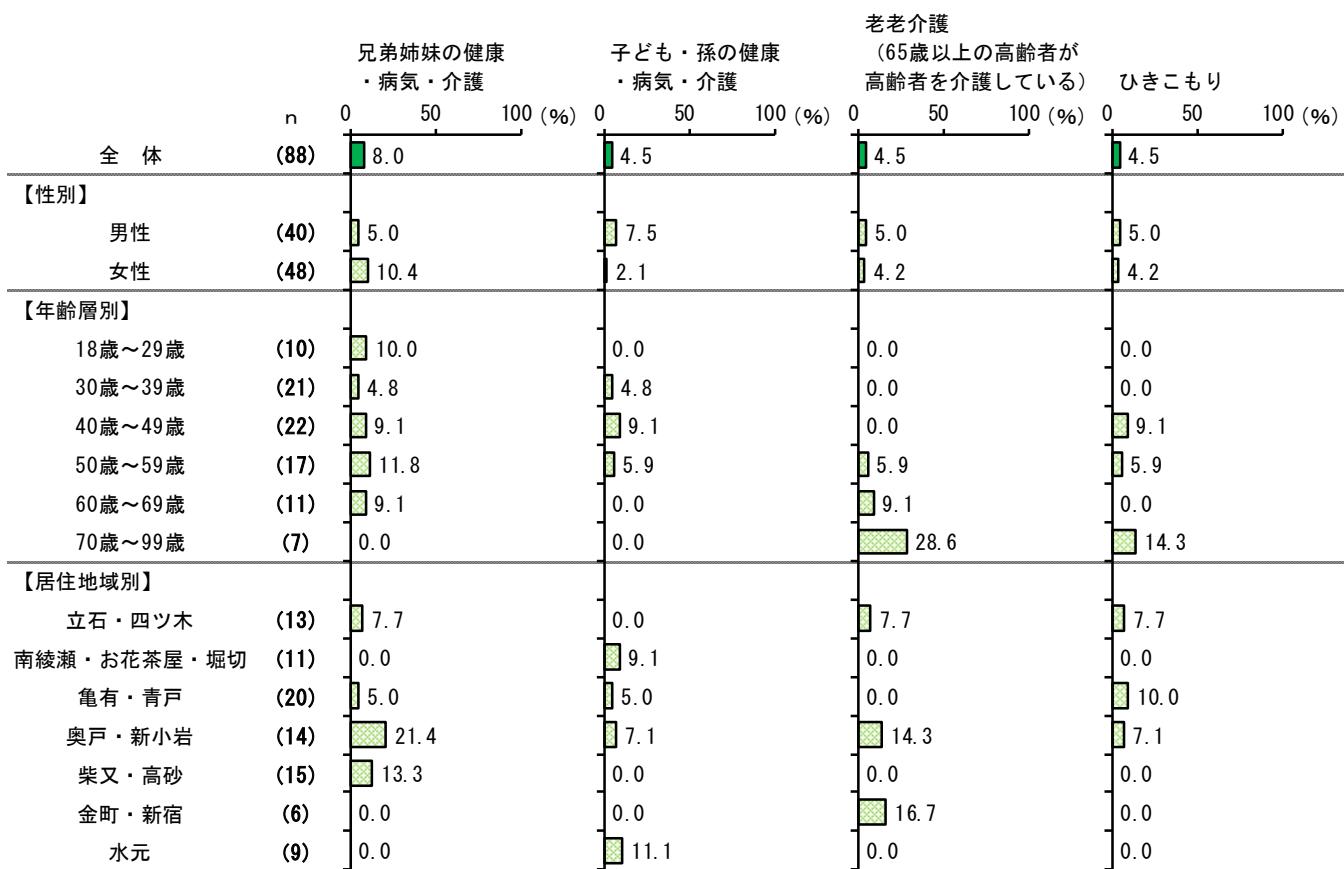


相談先がわからない生活上の困りごとの内容は、「お金（財産管理・相続含む）」が34.1%で最も高く、次いで「住まい」が29.5%、「親の健康・病気・介護」が25.0%、「自分・配偶者の健康・病気」が17.0%、「その他子育てに関すること」が15.9%と続いている。

「その他」の内容としては、「働き口」「離婚後の生活」「園芸用の土の処分方法」「リチウムイオン電池の処理法」「詐欺メール」などがあった。

相談先がわからない生活上の困りごとの内容【全体、性別、年齢層別、居住地域別】





性別でみると、「親の健康・病気・介護」は【女性】が 31.3%と、【男性】(17.5%) よりも 13.8 ポイント、「お金 (財産管理・相続含む)」は【女性】が 39.6%と、【男性】(27.5%) よりも 12.1 ポイント高くなっている。

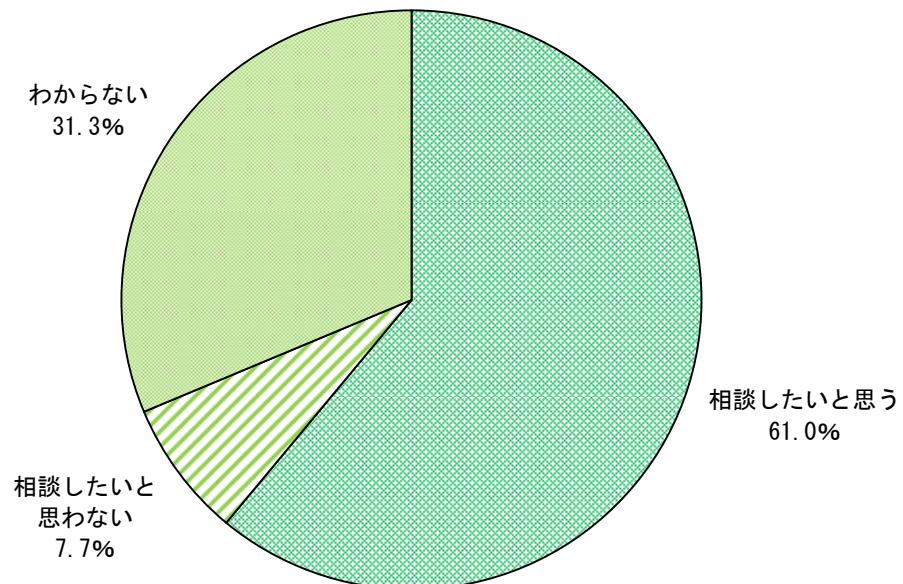
年齢層別でみると、「お金 (財産管理・相続含む)」は【18 歳～29 歳】が 70.0%と、他の区分に比べ高くなっている。

居住地域別でみると、「住まい」は【立石・四ツ木】が 46.2%、【柴又・高砂】が 40.0% と、他の区分に比べ高くなっている。

(5) 『くらしのまるごと相談窓口』の相談意向

問5. 今後、どこに相談すればいいかわからない困りごとがあった時に、『くらしのまるごと相談窓口』に相談したいと思いますか。（1つ選択）

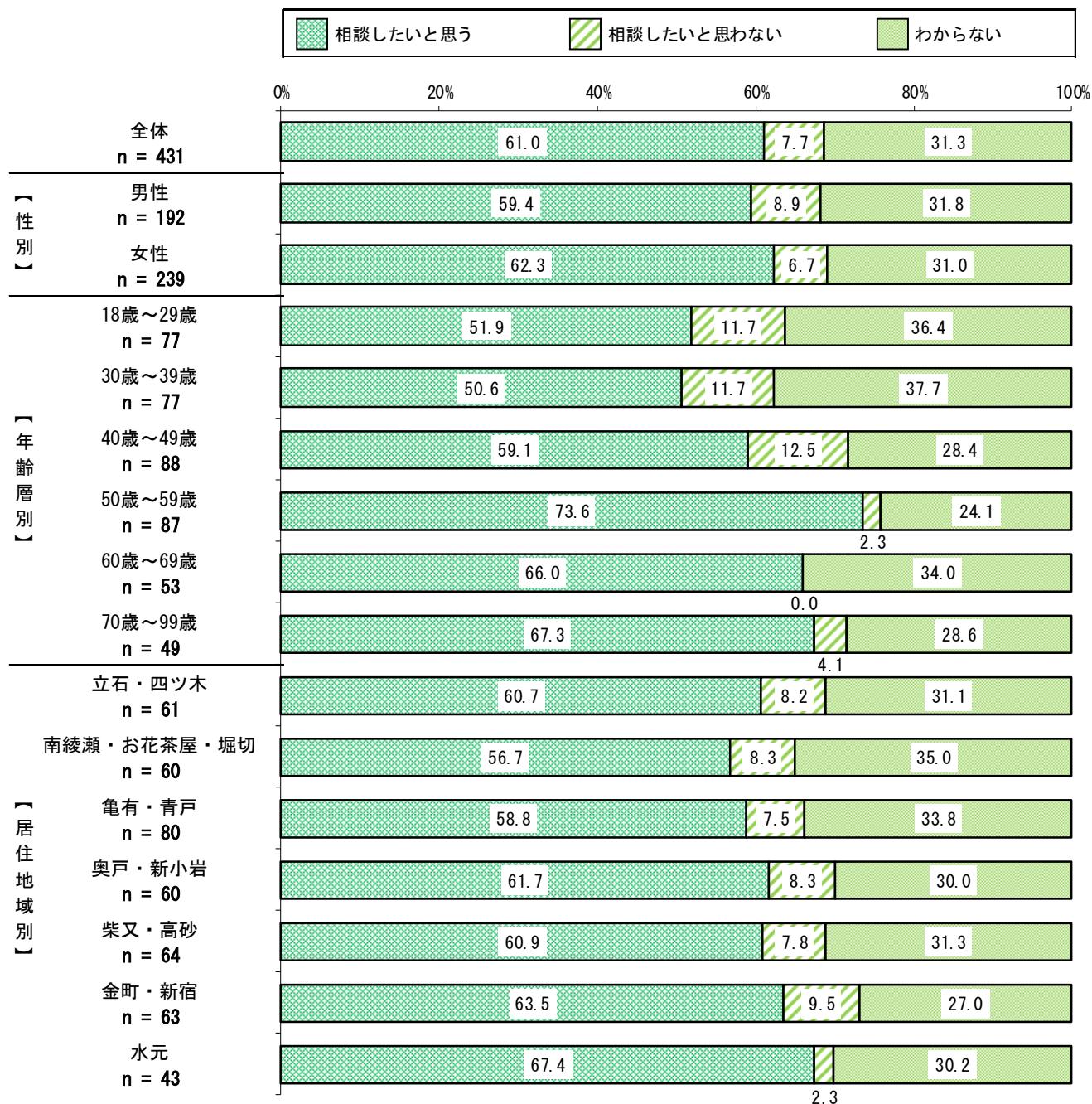
『くらしのまるごと相談窓口』の相談意向【全体】



n = 431

『くらしのまるごと相談窓口』の相談意向は、「相談したいと思う」が 61.0% となっている。一方、「相談したいと思わない」が 7.7% となっている。

『くらしのまるごと相談窓口』の相談意向【全体、性別、年齢層別、居住地域別】



性別による大きな差はみられない。

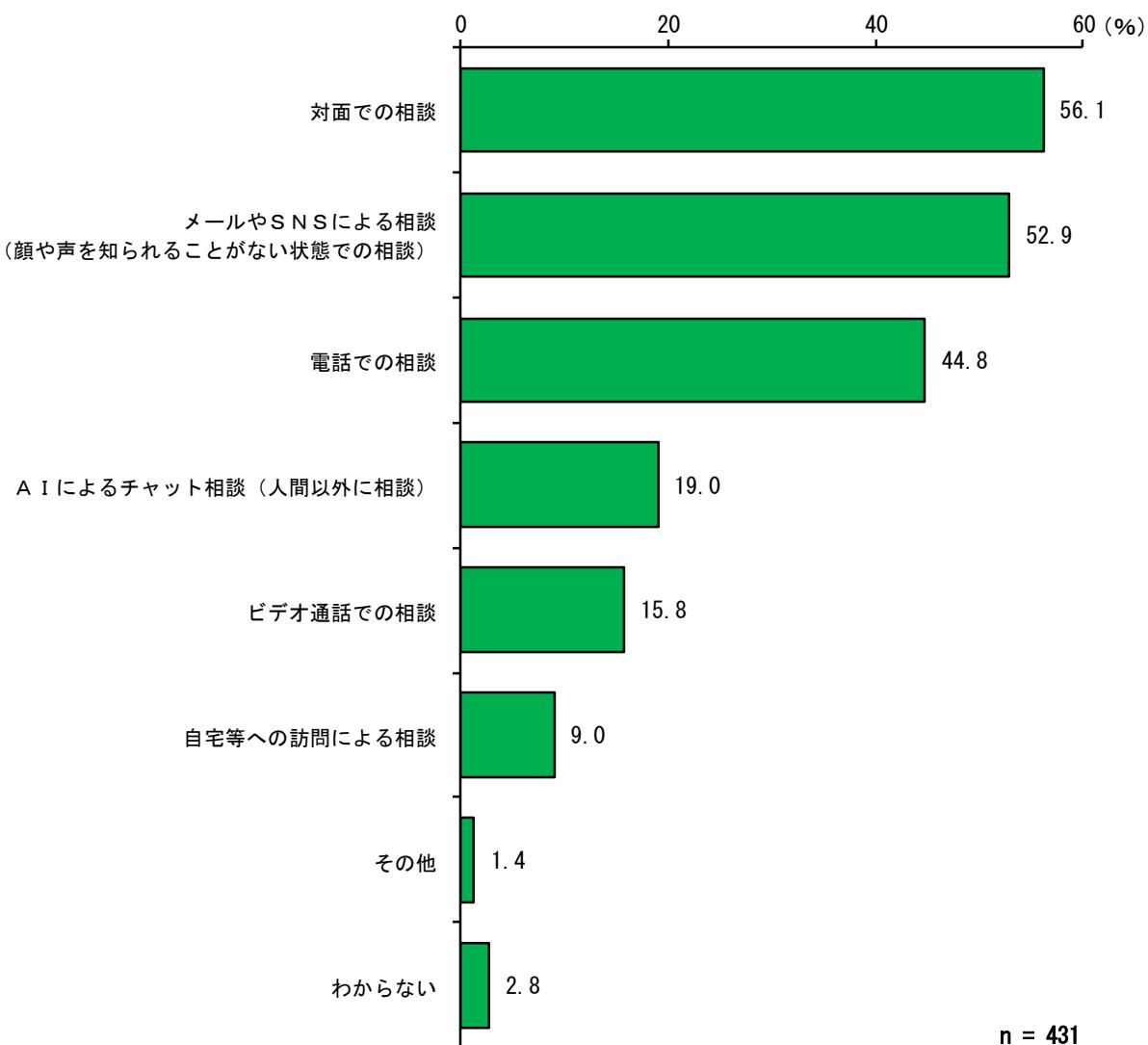
年齢層別でみると、「相談したいと思わない」は【40 歳～49 歳】が 12.5%、【18 歳～29 歳】【30 歳～39 歳】が 11.7% と、他の区分に比べ高くなっている。

居住地域による大きな差はみられない。

(6) 相談しやすいと思う方法

問6. どのような方法であれば相談がしやすいと思いますか。(複数選択可)

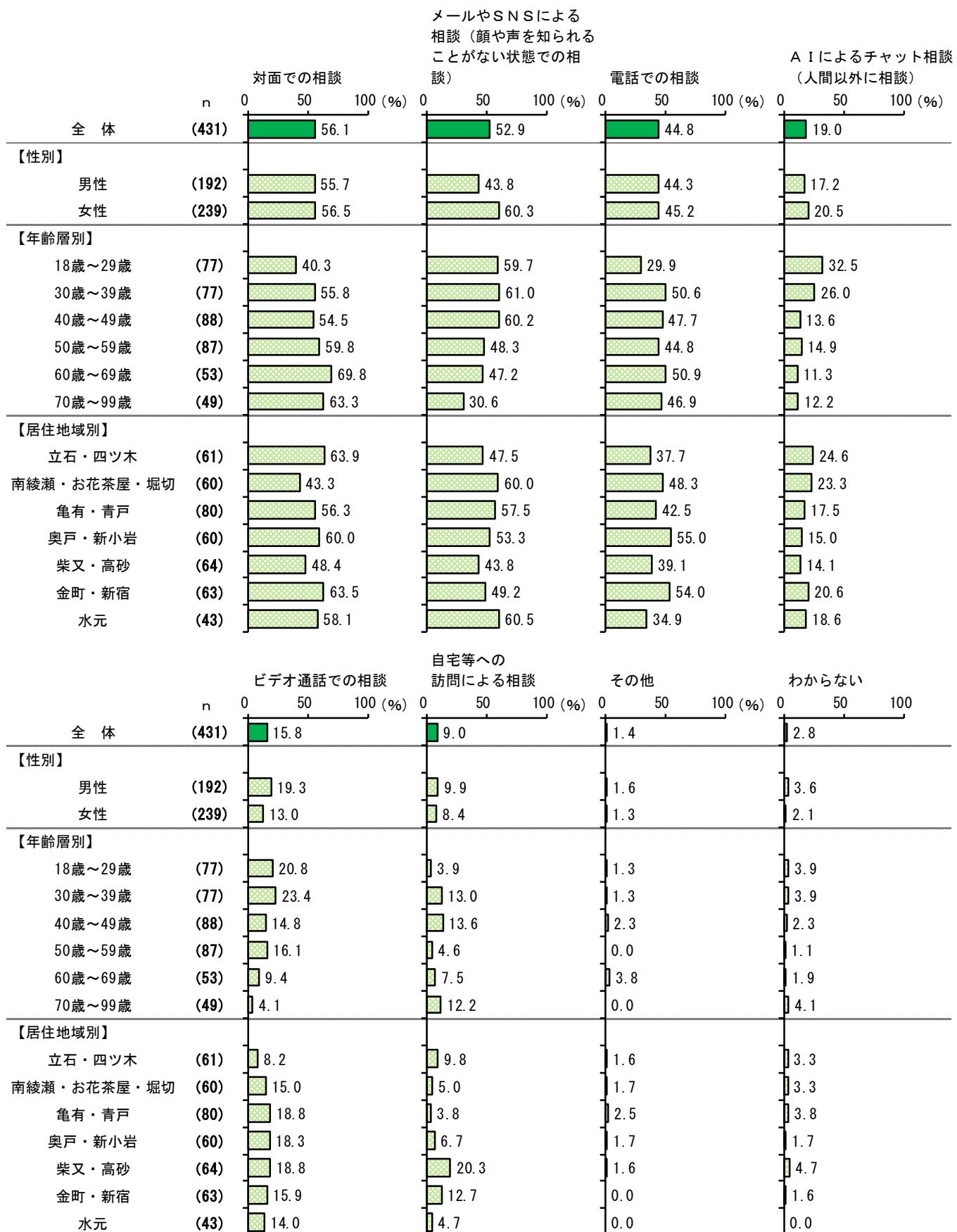
相談しやすいと思う方法【全体】



相談しやすいと思う方法は、「対面での相談」が 56.1% で最も高く、次いで「メールや SNS による相談（顔や声を知られることのない状態での相談）」が 52.9%、「電話での相談」が 44.8% と続いている。

「その他」の内容としては、「最初はメールや SNS、慣れてきたら対面など段階的だと相談しやすい」「土業の方に相談する」「相談内容やプライバシーを考えると対面と非対面の2種類は必要」「有人チャットでの相談」などがあった。

相談しやすいと思う方法【全体、性別、年齢層別、居住地域別】



性別でみると、「メールやSNSによる相談（顔や声を知られることがない状態での相談）」は【女性】が60.3%と、【男性】(43.8%)よりも16.5ポイント高くなっている。一方、「ビデオ通話での相談」は【男性】が19.3%と、【女性】(13.0%)よりも6.3ポイント高くなっている。

年齢層別でみると、「対面での相談」は【60歳～69歳】が69.8%と、他の区分に比べ高くなっている。「AIによるチャット相談（人間以外に相談）」は【18歳～29歳】が32.5%と、他の区分に比べ高くなっている。一方、「メールやSNSによる相談（顔や声を知られることがない状態での相談）」は【70歳～99歳】が30.6%と、他の区分に比べ低くなっている。

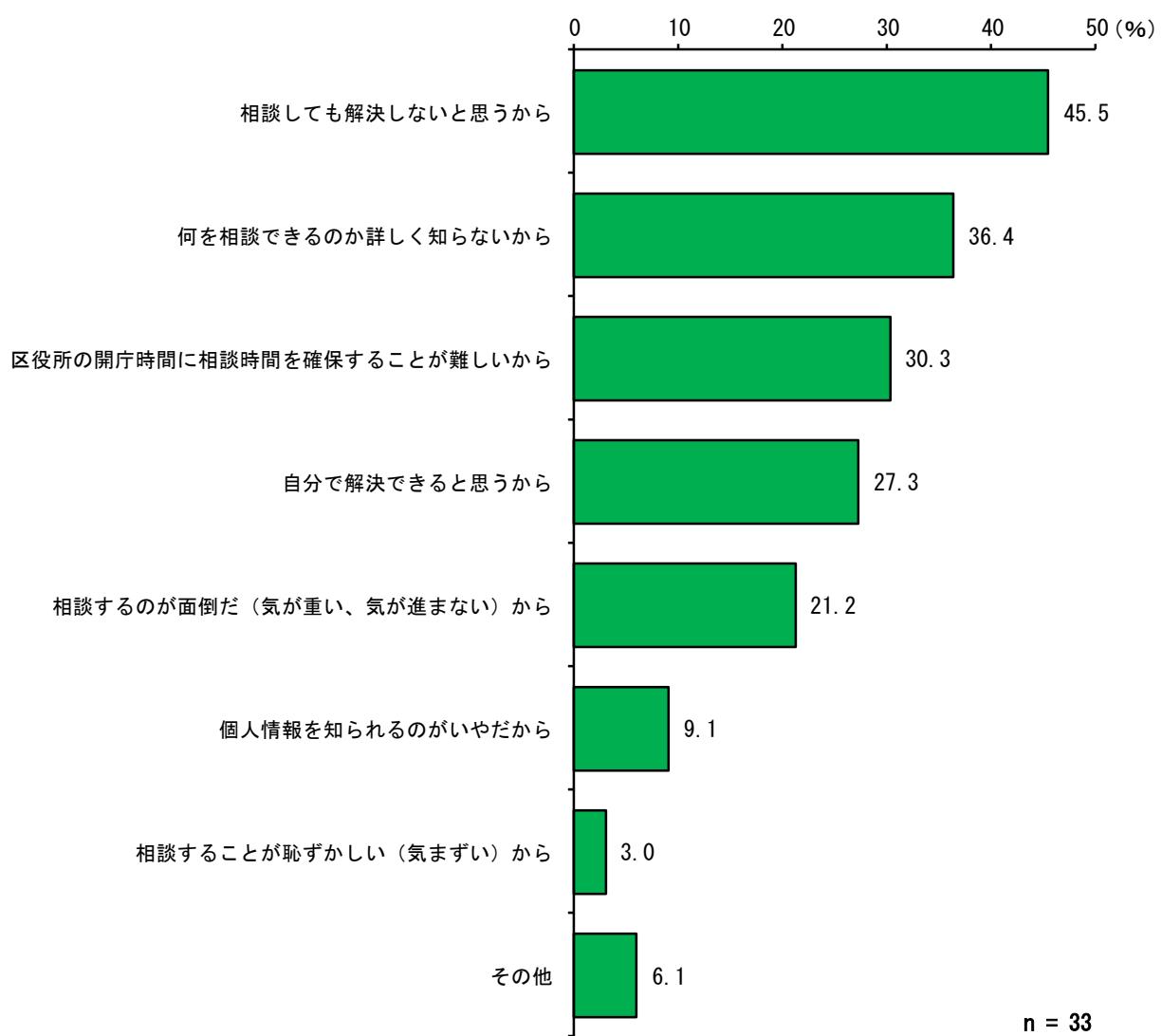
居住地域別でみると、「自宅等への訪問による相談」は【柴又・高砂】が20.3%と、他の区分に比べ高くなっている。「電話での相談」は【奥戸・新小岩】が55.0%、【金町・新宿】が54.0%と、他の区分に比べ高くなっている。

(7) 相談したいと思わない理由

問7. 問5で「相談したいと思わない」と答えた方に伺います。

相談したいと思わない理由は何ですか。(複数選択可)

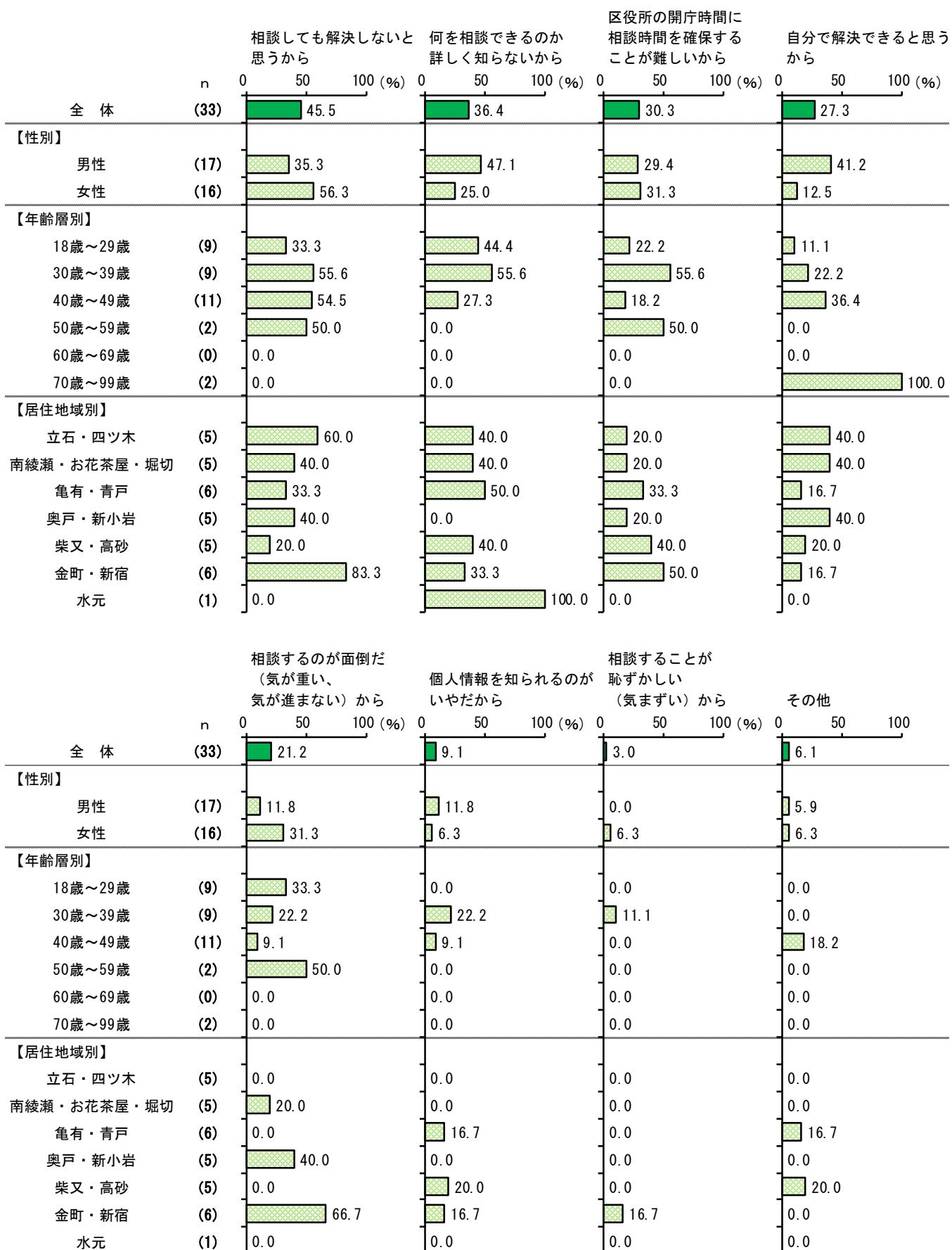
相談したいと思わない理由【全体】



相談したいと思わない理由は、「相談しても解決しないと思うから」が 45.5%、「何を相談できるのか詳しく知らないから」が 36.4%、「区役所の開庁時間に相談時間を確保することが難しいから」が 30.3%、「自分で解決できると思うから」が 27.3% となっている。

「その他」の内容としては、「関係部署をたらい回しにされて時間がかかることが予想されるから」「問題が複雑すぎるので」があった。

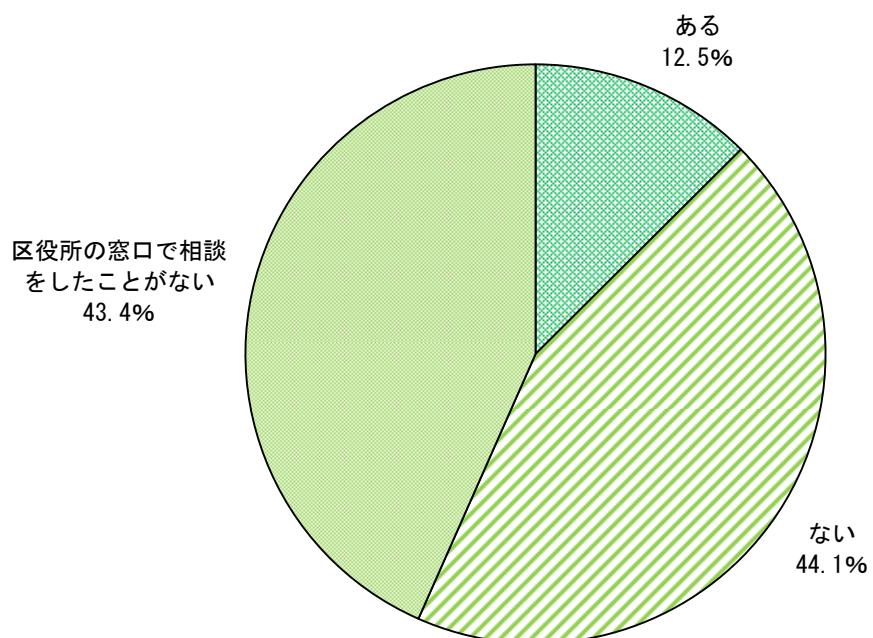
相談したいと思わない理由【全体、性別、年齢層別、居住地域別】



(8) 窓口での相談時に色々な部署に回された経験の有無

問8. 区役所の窓口で相談を受けてもらえなかつた、色々な部署に回された（たらい回しにされた）等の経験はありますか。（1つ選択）

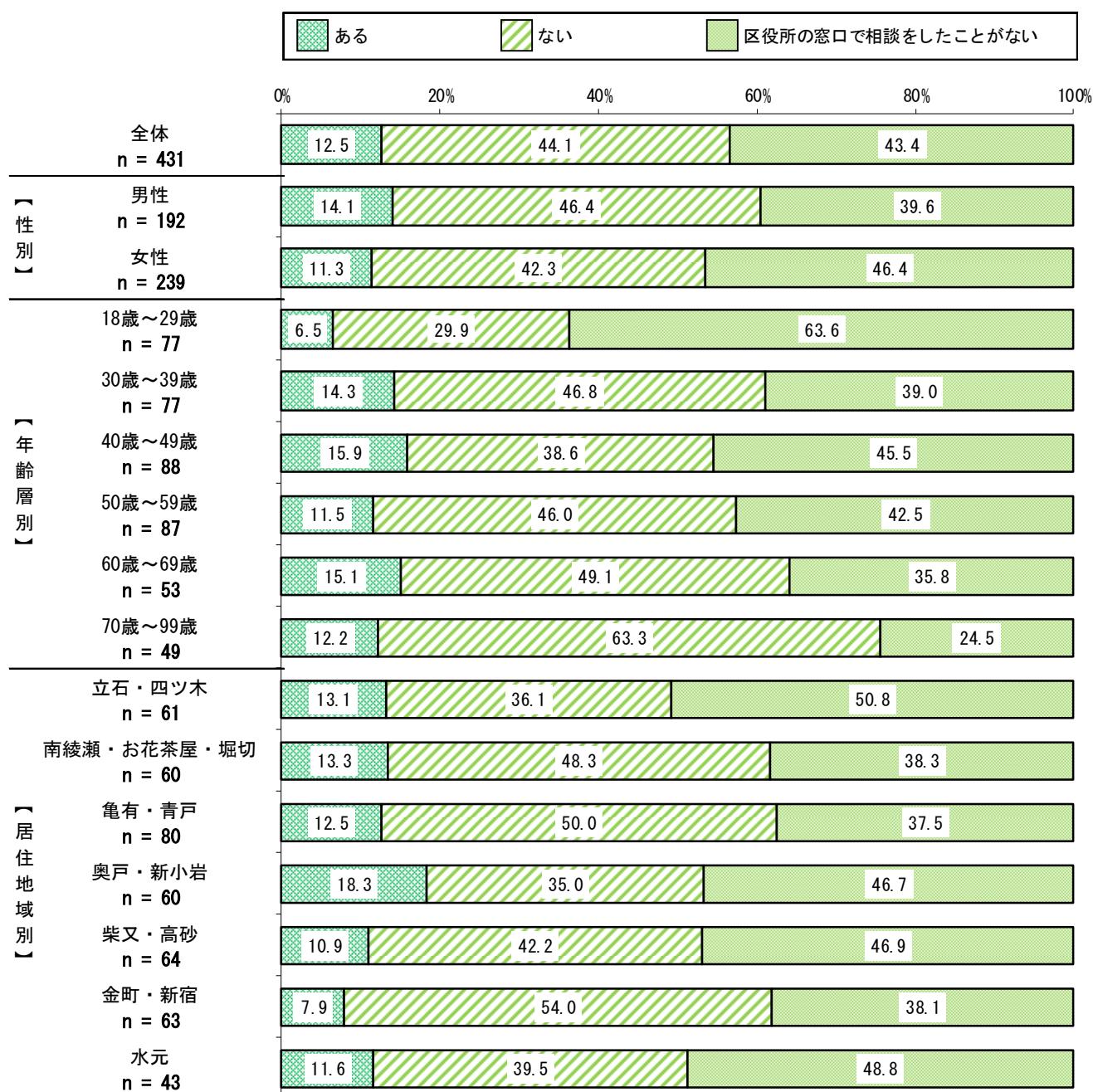
窓口での相談時に色々な部署に回された経験の有無【全体】



n = 431

窓口での相談時に色々な部署に回された経験の有無は、「ある」が 12.5%、「ない」が 44.1%、「区役所の窓口で相談をしたことがない」が 43.4% となっている。

窓口での相談時に色々な部署に回された経験の有無【全体、性別、年齢層別、居住地域別】



窓口での相談時に色々な部署に回された経験が「ある」方の割合は、性別・年齢層別・居住地域による大きな差は見られない。

(9) 窓口での相談時に色々な部署に回された状況

問9. 問8で「ある」と答えた方に伺います。

差し支えなければ、その時の具体的な状況を教えてください。（自由記載）

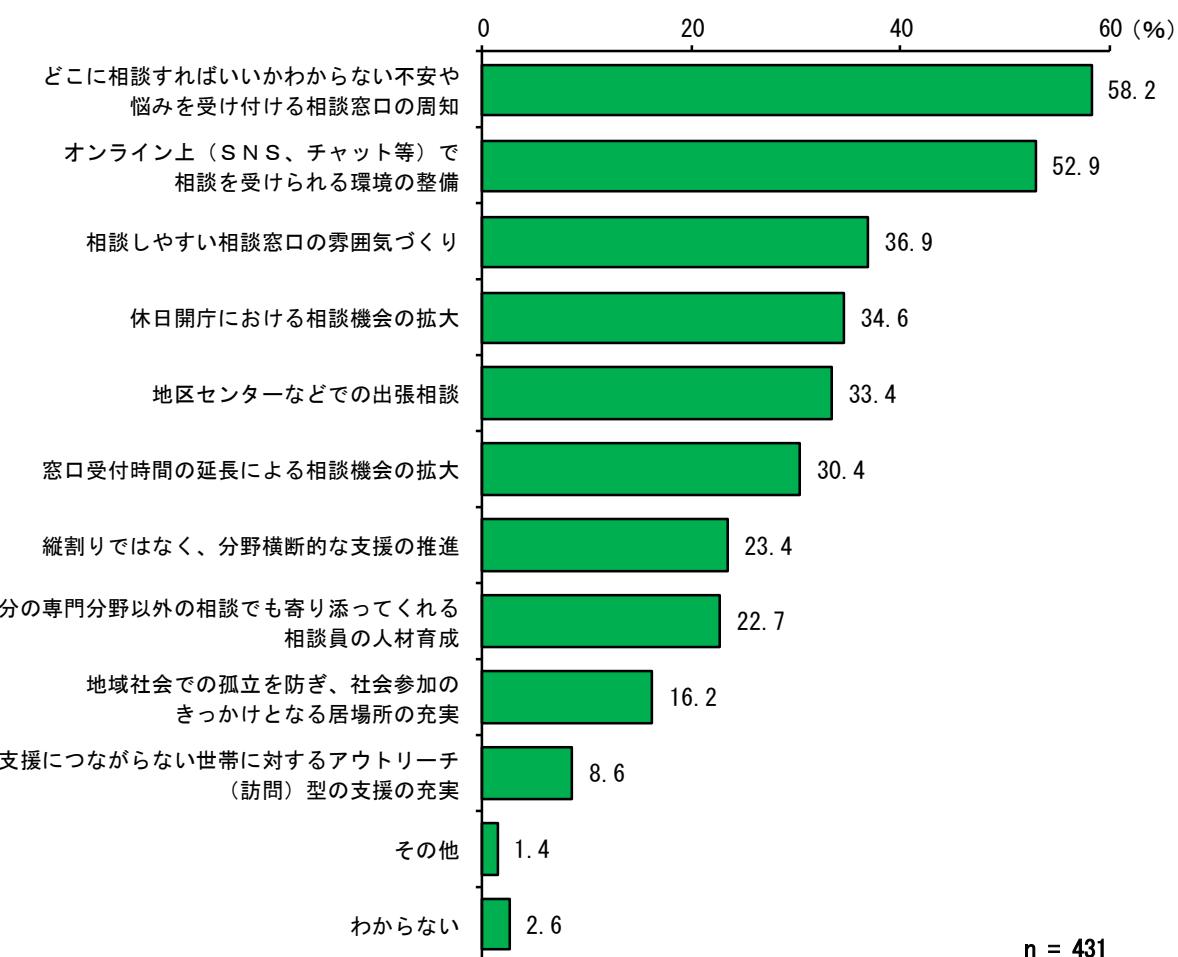
【主な意見】

- 撮影で場所を借りたいと思ったが担当が決まっておらずたらい回しにあった。
- 確定申告関連。
- コロナの時、給付金申請の書き方がわからなかった時。
- 健康保険の切り替え時期。
- 大学在学中、学費免除のための書類で。
- 国民保険や社会保険、年金などでトラブルがあった時に何度か電話したが、担当が決まっていないのか毎回一から十まで説明が必要。スタッフによって理解度が全く違ったり、全然伝わらなかったりして大変な思いをした。
- 新小岩東北広場の喫煙所の排煙のこと。
- 保育園の入所相談。
- 受付で聞いたところにいったところここではなく次のところだといわれたことがあります。
- 詳細までは忘れてしまったが、滞納していた住民税のお支払いに行ったところたらい回しにされ、各所でかなり待たされたまま放置されました。
- 垣根が歩道にはみ出しており通行の妨げになっているので相談したが対処してもらえなかった。
- 両親が介護で大変疲れてしまって相談に行ったが、障がい者ではないので相談に乗ってもらえなかった。
- 必要な資料の取得窓口がわからず、番号待ちの末、違う部署を案内された。
- 子どもに持病がある、何か使える制度はないのか聞いたところ、子どもは医療証があり、そもそもお金がかかってないから使える制度はないと言われた。後々に使える制度があることが自分で調べて分かった。役所の人間もすべての制度を理解しているわけではないんだろうけど、たまたま当たった担当の人が知ってるかどうかで、結果が変わるのは困る。
- どこに行けばいいかわからず、窓口で聞いて、そこに行ったら、違う場所を言われ、また、そこに行ったら、違う場所を言われ、ぐるぐる回ったことがあります。
- 結婚したときの手続きについて。
- 本籍の変更について。
- 失業給付金の申請を行う際に、申請方法や条件について窓口で確認を行ったが「そのような制度はない」と突き返された。しかし実際には制度があり、ハローワーク側から申請を上げてもらった。
- 内容を忘れましたが、区職員のスキルと持ち場の細分化で、最初の窓口で用件が対応出来ずたらい回しにされました。職員のスキルアップを望みます。
- 何処に行けばいいのかわからず、ここではと役所内の地図に丸してもらい行ったら違った。
- 隣家のごみ放置、火種放置に関して3年前から定期的に区に相談したが、民事不介入や消防に聞いてと言われ解決していない。
- PTAに従事している時、会計監査を委託できる税理士等を紹介してもらえるかと相談した際、いない・引き受ける先がないなどと言われた。非常に不快だった。

(10) 相談先がわからない生活上の困りごとを抱えた世帯に対して進めるべき取組

問 10. どこに相談すればいいかわからない生活上の困りごとを抱えている世帯に対し、どのような取組を進めるべきだと思いますか。(複数選択可)

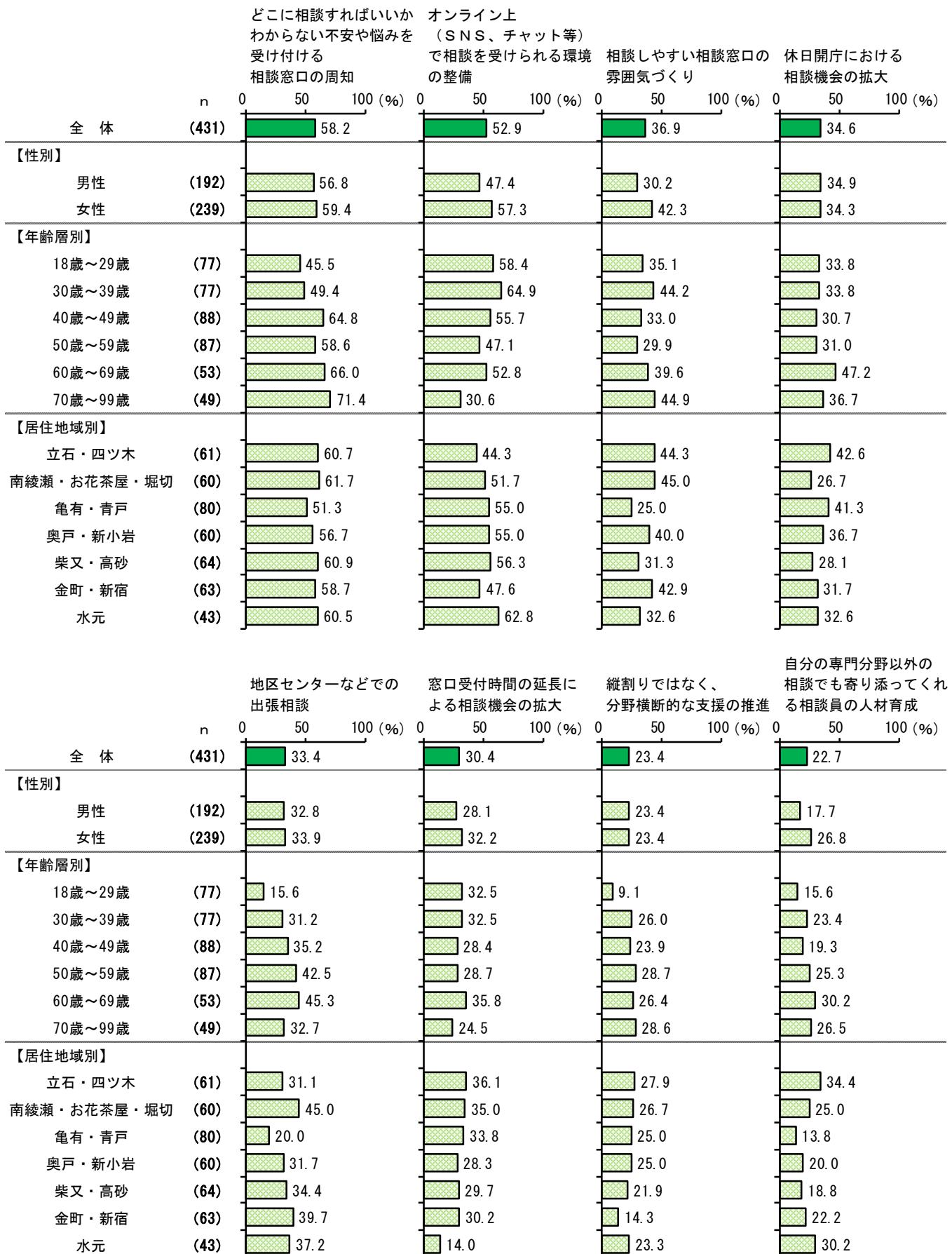
相談先がわからない生活上の困りごとを抱えた世帯に対して進めるべき取組【全体】

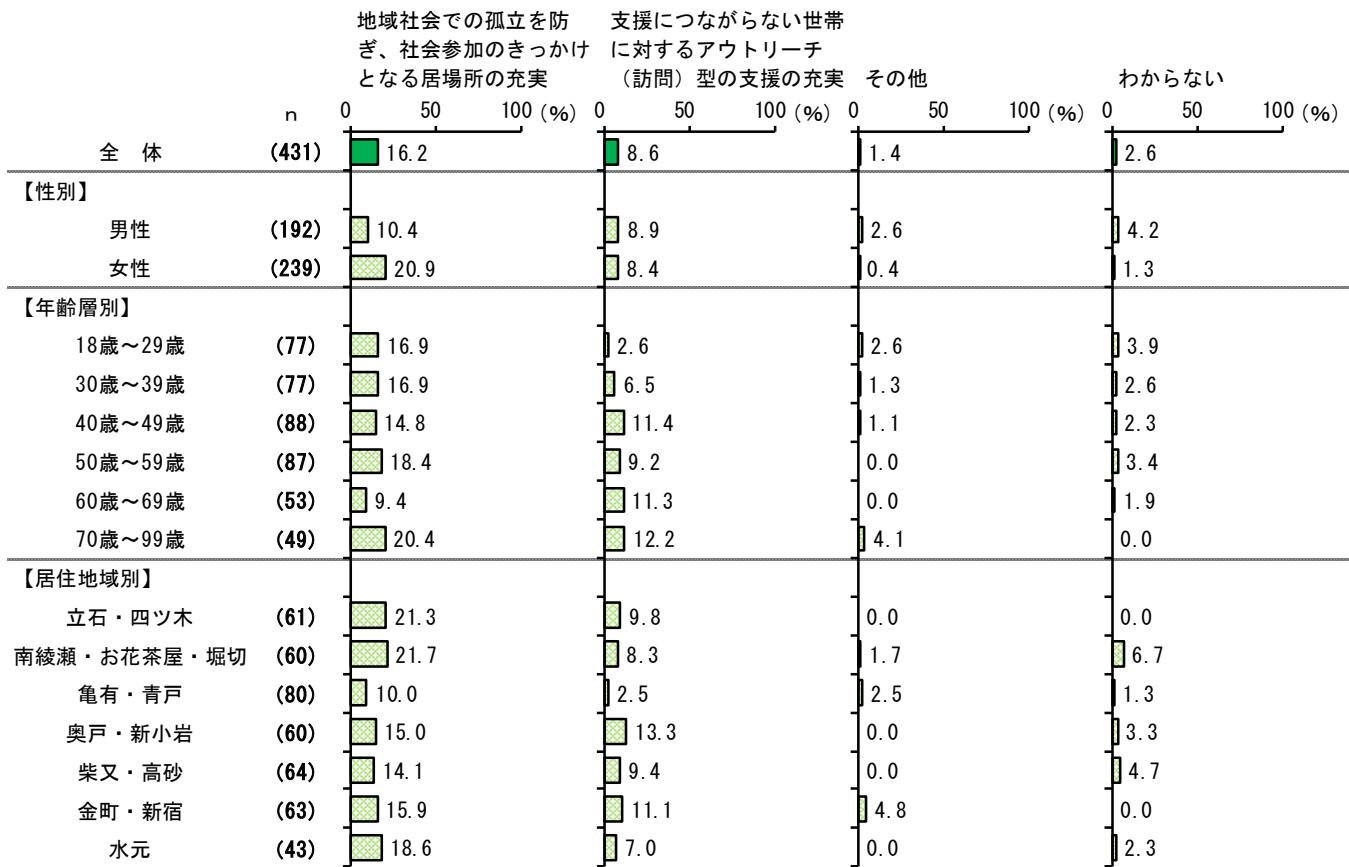


相談先がわからない生活上の困りごとを抱えた世帯に対して進めるべき取組は、「どこに相談すればいいかわからない不安や悩みを受け付ける相談窓口の周知」が 58.2% で最も高く、次いで「オンライン上（SNS、チャット等）で相談を受けられる環境の整備」が 52.9%、「相談しやすい相談窓口の雰囲気づくり」が 36.9%、「休日開庁における相談機会の拡大」が 34.6%、「地区センターなどの出張相談」が 33.4%、「窓口受付時間の延長による相談機会の拡大」が 30.4% と続いている。

「その他」の内容としては、「具体的に何が改善できるか、改善例などが知りたい」「相談事例、解決事例の公開」「第三者の入らない相談環境」「地区の民生委員と連携」「一般の会社との勤務時間と相談可能時間を一致させない」などがあった。

相談先がわからない生活上の困りごとを抱えた世帯に対して進めるべき取組 【全体、性別、年齢層別、居住地域別】





性別でみると、「相談しやすい相談窓口の雰囲気づくり」は【女性】が 42.3%と、【男性】(30.2%) よりも 12.1 ポイント、「地域社会での孤立を防ぎ、社会参加のきっかけとなる居場所の充実」は【女性】が 20.9%と、【男性】(10.4%) よりも 10.5 ポイント、「オンライン上（SNS、チャット等）で相談を受けられる環境の整備」は【女性】が 57.3%と、【男性】(47.4%) よりも 9.9 ポイント高くなっている。

年齢層別でみると、【60 歳～69 歳】は「休日開庁における相談機会の拡大」が 47.2%、「地区センターなどの出張相談」が 45.3%と、他の区分に比べ高くなっている。「オンライン上（SNS、チャット等）で相談を受けられる環境の整備」は【70 歳～99 歳】が 30.6%と、他の区分に比べ低くなっている。

居住地域別でみると、「自分の専門分野以外の相談でも寄り添ってくれる相談員の人材育成」は【立石・四ツ木】が 34.4%と、他の区分に比べ高くなっている。「地区センターなどの出張相談」は【南綾瀬・お花茶屋・堀切】が 45.0%と、他の区分に比べ高くなっている。「オンライン上（SNS、チャット等）で相談を受けられる環境の整備」は【水元】が 62.8%と、他の区分に比べ高くなっている。

第2章 調査結果（防災の取組について）

テーマ2 防災の取組について

【(Q1～2) 防災関連情報への興味や収集方法】

災害は、いつ、どこで起きてもおかしくありません。いざという時に、大切な命を守るために、日頃から防災関連の情報や災害時の行動を確認しておくことがとても重要です。

そこで、皆様の防災情報に関する関心や情報収集の手段を把握し、区の情報発信の検討に役立てたいと考えております。

【(Q3～4) 一時集合場所や避難場所、避難所の役割】

災害時には、一時集合場所や避難場所、避難所の役割を理解し、適切な行動に移すことが重要です。これらの場所の役割の違いを正しく理解し、どこにあるかを事前に確認しておくことは、災害時の混乱を抑えることにつながります。

【(Q5～7) 家庭内での備蓄】

首都直下地震が発災した場合、水道、電気、ガスのライフライン停止や物流が滞ることで食料、生活必需品が不足することが想定されます。区では、避難を余儀なくされる方のために備蓄を進めておりますが、慣れない食べ物や生活用品となります。

そこで、自らの備えとして3日分、できれば7日分の備蓄を各家庭において用意しておくことが望ましいです。

【(Q8) 区の備蓄について】

能登半島地震等を踏まえ、区では災害対策用の備蓄内容の見直しを検討しております。これについて、区民モニターの皆様のご意見を伺います。

【(Q9) 地震時の通電火災防止に向けた取組】

過去の大地震では、電気器具の転倒や破損による火災だけではなく、停電から電気が復旧した時にも火災（通電火災）が発生しました。

地震による火災の過半数は電気が原因と言われており、地震の揺れを感じて電気を自動的に遮断する「感震ブレーカー」の設置が有効です。

【(Q10～11) 地震時の初期消火対策に向けた取組】

地震発生時には、通電火災に加え、調理中の出火や転倒した家電製品による火災などが発生するおそれがあり、被害を抑えるためには初期消火による迅速な対応が重要です。

感震ブレーカーの設置と合わせて初期消火対策を更に進めることで、首都直下地震による被害を大幅に減らせると言われています。

【(Q12～14) 防災訓練への参加について】

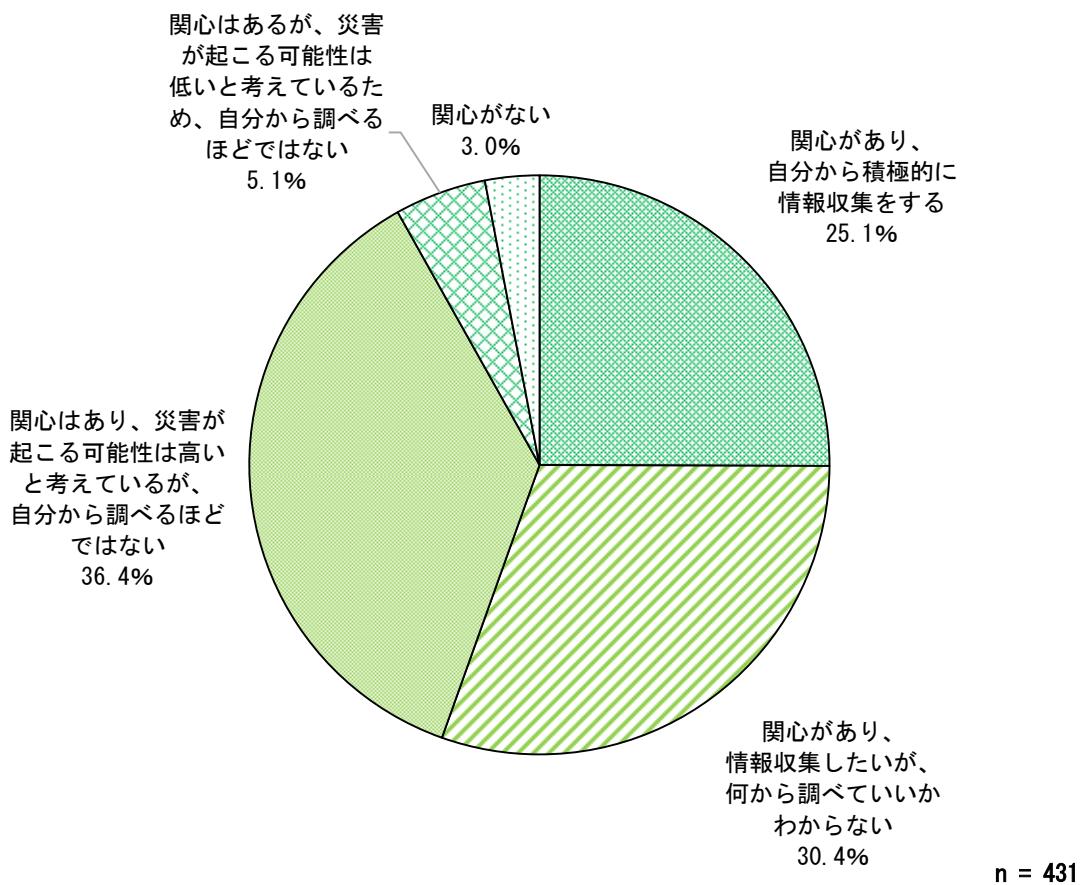
東日本大震災などでは、住民同士による助け合いによって多くの命が救われており、災害発生直後の自助・共助の重要性が明らかになりました。

皆様のお住まいの地域では、自治町会が中心となり、近隣の公園や小中学校などで防災訓練を実施しています。

(11) 防災関連情報への関心の有無

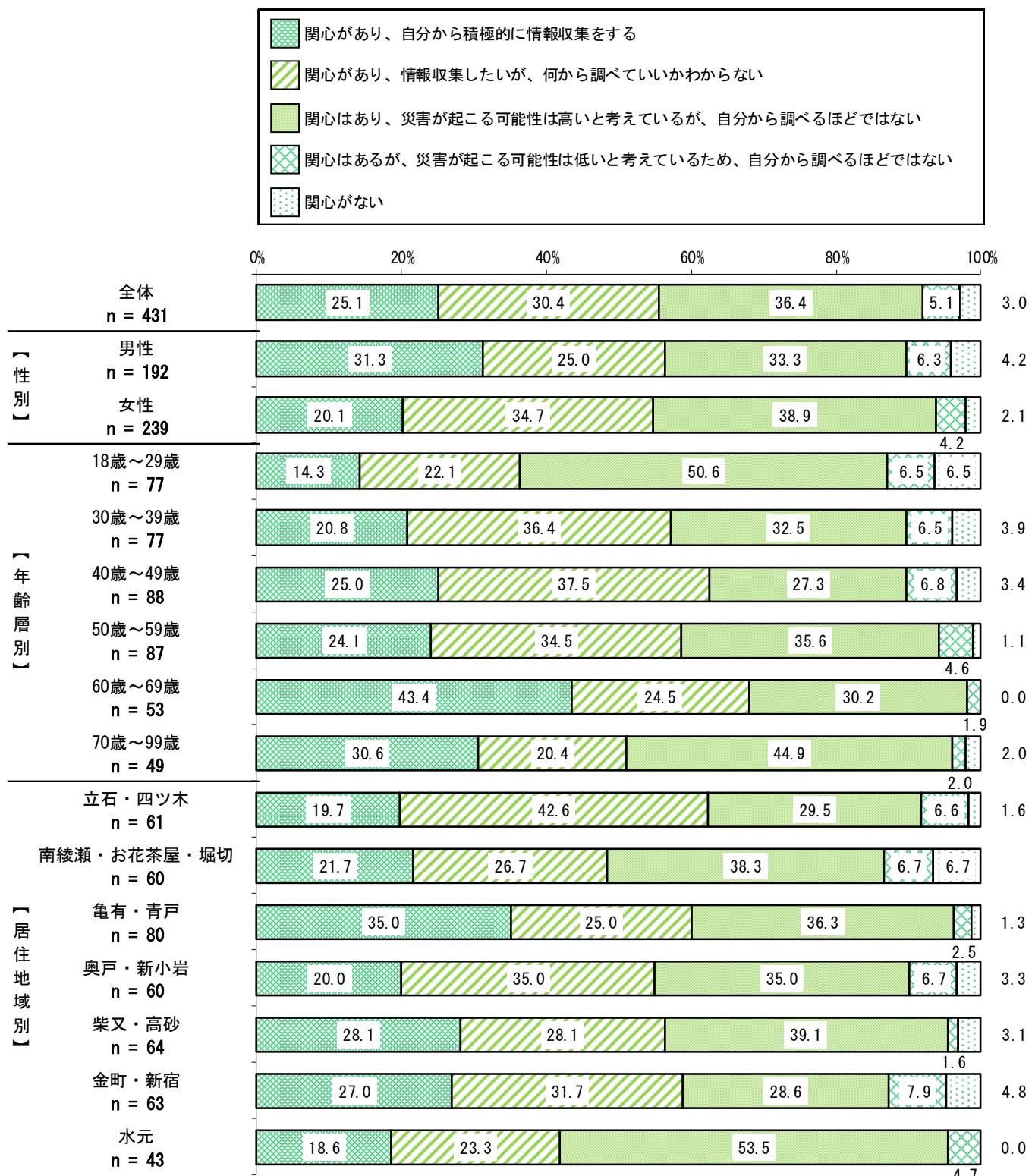
問 11. 防災関連の情報に関心はありますか。（1つ選択）

防災関連情報への関心の有無【全体】



防災関連情報への関心の有無は、「関心があり、災害が起こる可能性は高いと考えているが、自分から調べるほどではない」が 36.4%、「関心があり、情報収集したいが、何から調べていいかわからない」が 30.4%、「関心があり、自分から積極的に情報収集をする」が 25.1% となっている。一方、「関心がない」が 3.0% となっている。

防災関連情報への関心の有無【全体、性別、年齢層別、居住地域別】



性別でみると、「関心があり、自分から積極的に情報収集をする」は【男性】が 31.3%と、【女性】(20.1%) よりも 11.2 ポイント高くなっている。一方、「関心があり、情報収集したいが、何から調べていいかわからない」は【女性】が 34.7%と、【男性】(25.0%) よりも 9.7 ポイント高くなっている。

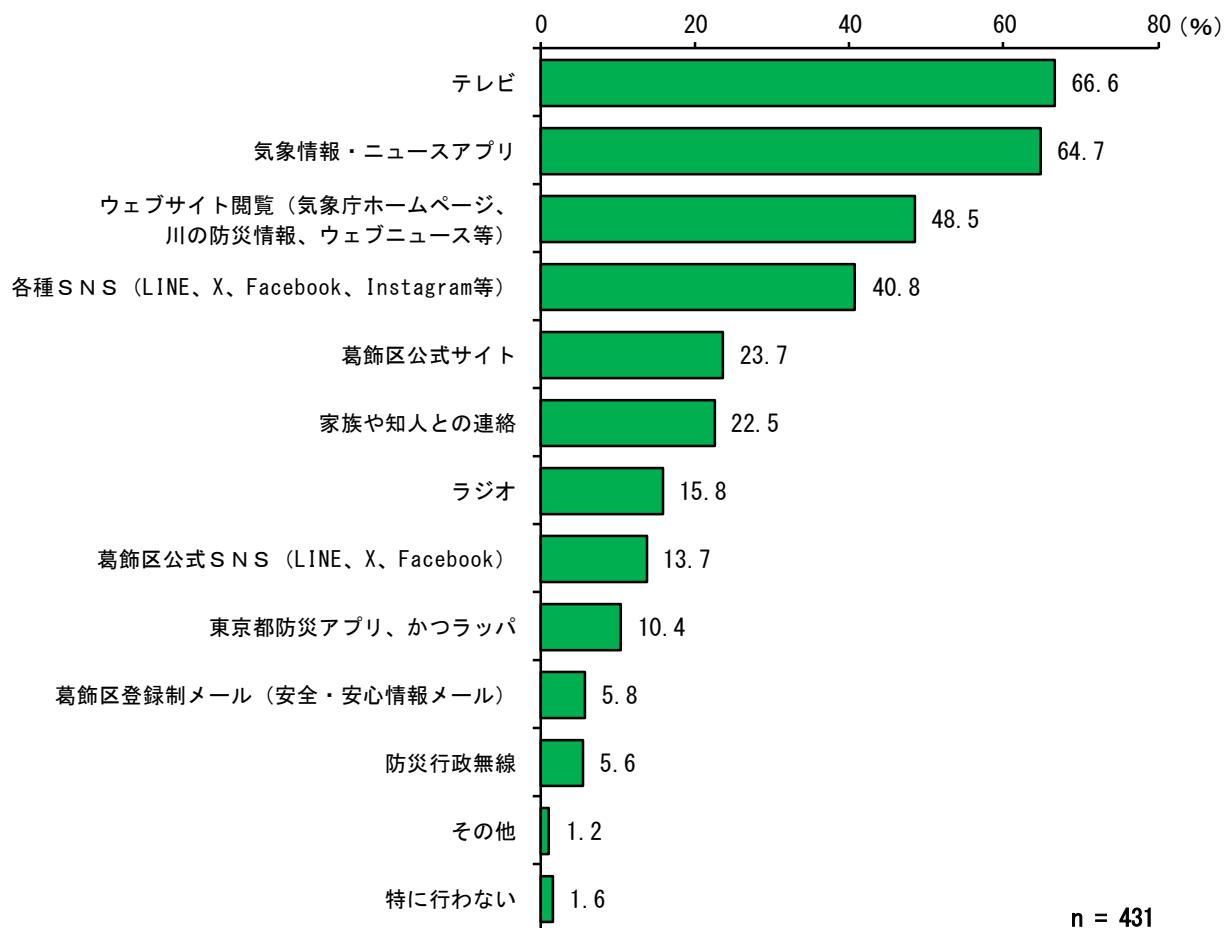
年齢層別でみると、「関心があり、自分から積極的に情報収集をする」は【60歳～69歳】が 43.4%と、他の区分に比べ高くなっている。「関心があり、災害が起こる可能性は高いと考えているが、自分から調べるほどではない」は【18歳～29歳】が 50.6%と、他の区分に比べ高くなっている。

居住地域別でみると、「関心があり、災害が起こる可能性は高いと考えているが、自分から調べるほどではない」は【水元】が 53.5%と、他の区分に比べ高くなっている。「関心があり、情報収集したいが、何から調べていいかわからない」は【立石・四ツ木】が 42.6%と、他の区分に比べ高くなっている。

(12) 災害に関する情報収集の手段

問 12. 災害に関する情報収集はどのような手段で行いますか。（複数選択可）

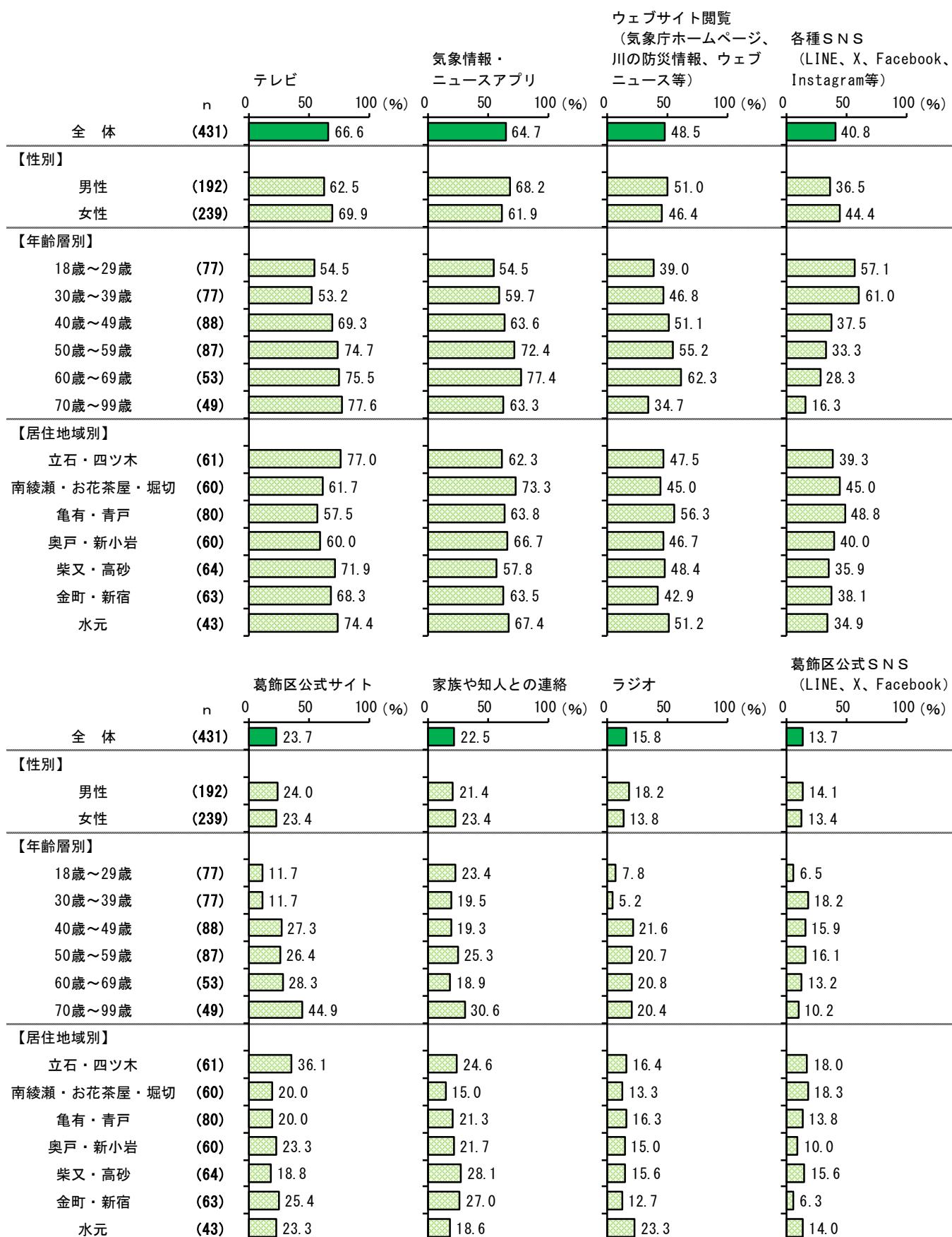
災害に関する情報収集の手段【全体】

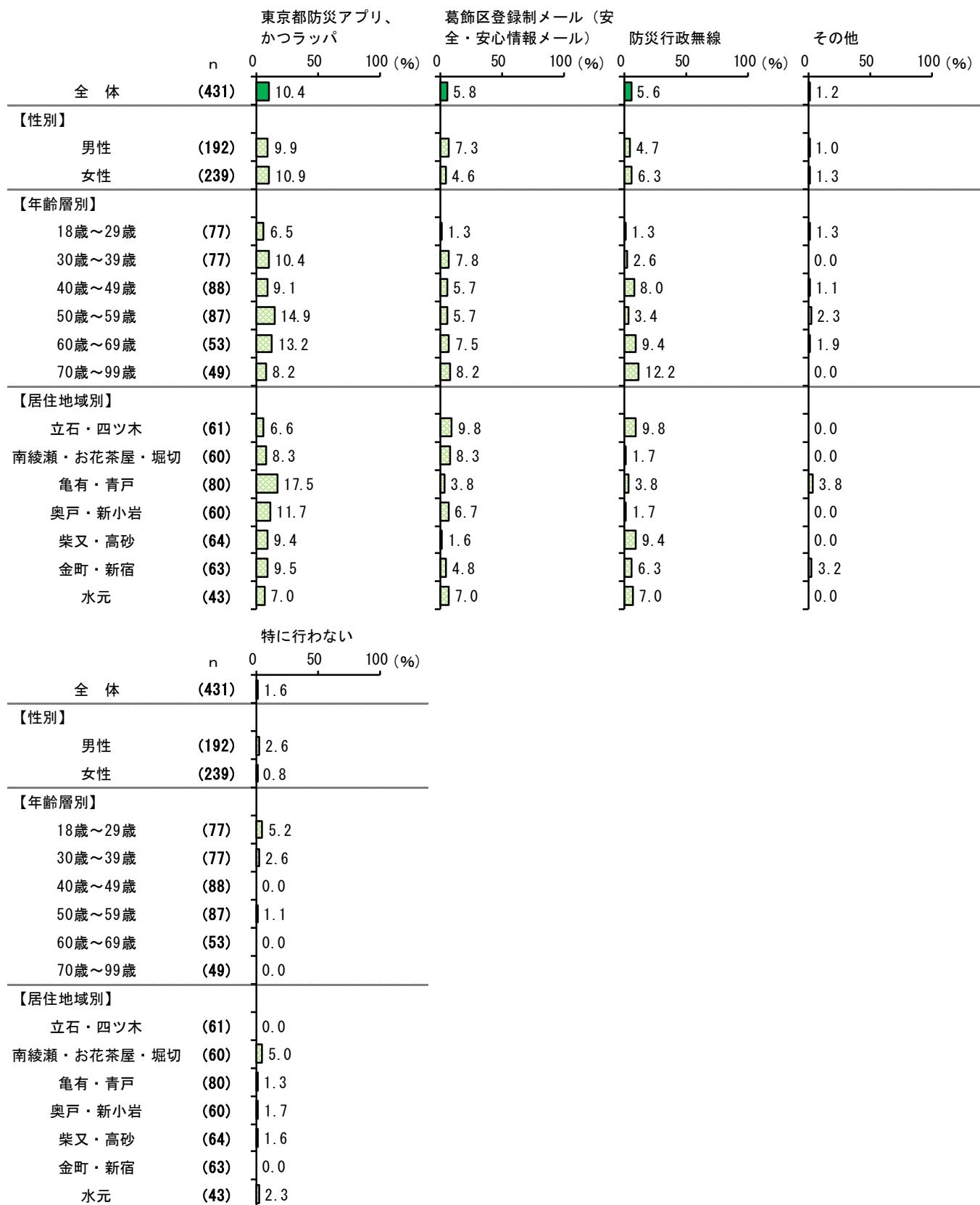


災害に関する情報収集の手段は、「テレビ」が 66.6% で最も高く、次いで「気象情報・ニュースアプリ」が 64.7%、「ウェブサイト閲覧（気象庁ホームページ、川の防災情報、ウェブニュース等）」が 48.5%、「各種SNS（LINE、X、Facebook、Instagram等）」が 40.8% と続いている。

「その他」の内容としては、「生成AIアプリ」「東京都の防災マップなど」「区が発行している資料」「雑誌などの記事、広告」があった。

災害に関する情報収集の手段【全体、性別、年齢層別、居住地域別】





性別でみると、「各種SNS（LINE、X、Facebook、Instagram等）」は【女性】が44.4%と、【男性】（36.5%）よりも7.9ポイント、「テレビ」は【女性】が69.9%と、【男性】（62.5%）よりも7.4ポイント高くなっている。一方、「気象情報・ニュースアプリ」は【男性】が68.2%と、【女性】（61.9%）よりも6.3ポイント高くなっている。

年齢層別でみると、【60歳～69歳】は「気象情報・ニュースアプリ」が77.4%、「ウェブサイト閲覧（気象庁ホームページ、川の防災情報、ウェブニュース等）」が62.3%と、他の区分に比べ高くなっている。【70歳～99歳】は「テレビ」が77.6%、「葛飾区公式サイト」が44.9%と、他の区分に比べ高くなっている。「各種SNS（LINE、X、Facebook、Instagram等）」は【30歳～39歳】が61.0%、【18歳～29歳】が57.1%と、他の区分に比べ高くなっている。

居住地域別でみると、【立石・四ツ木】は「テレビ」が77.0%、「葛飾区公式サイト」が36.1%と、他の区分に比べ高くなっている。

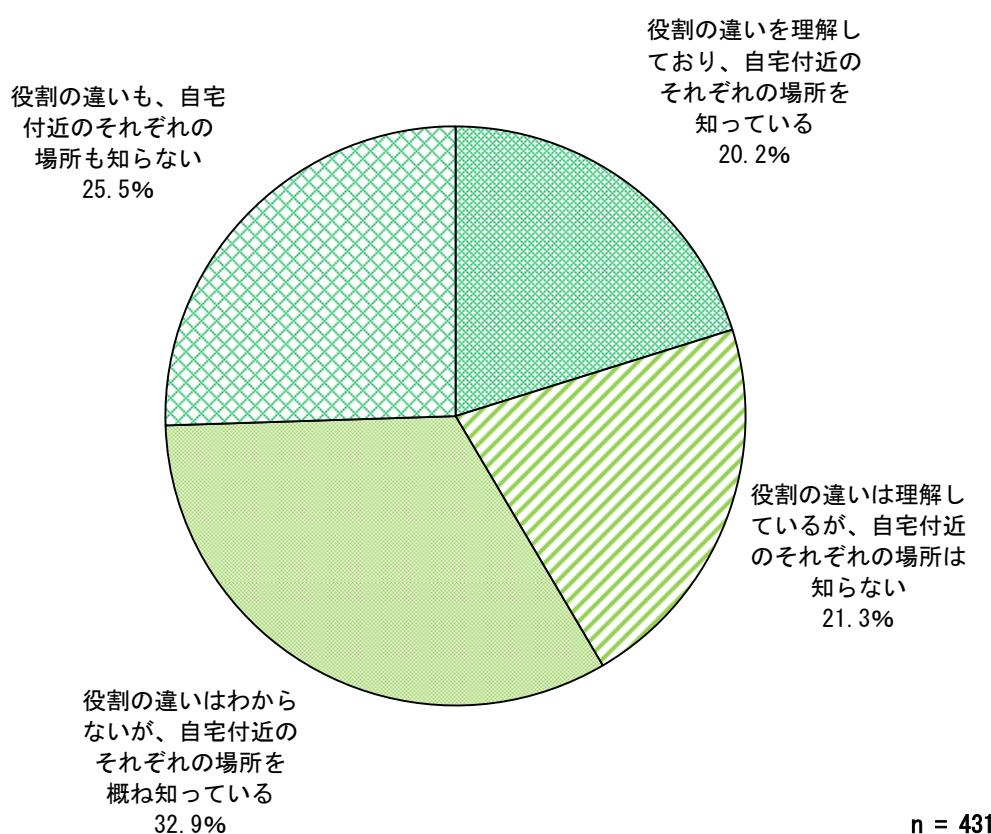
(13) 一時集合場所や避難場所、避難所の認知度

問 13. 災害時の一時集合場所や避難場所、避難所の役割の違いとそれぞれの場所を知っていますか。（1つ選択）

（参考）

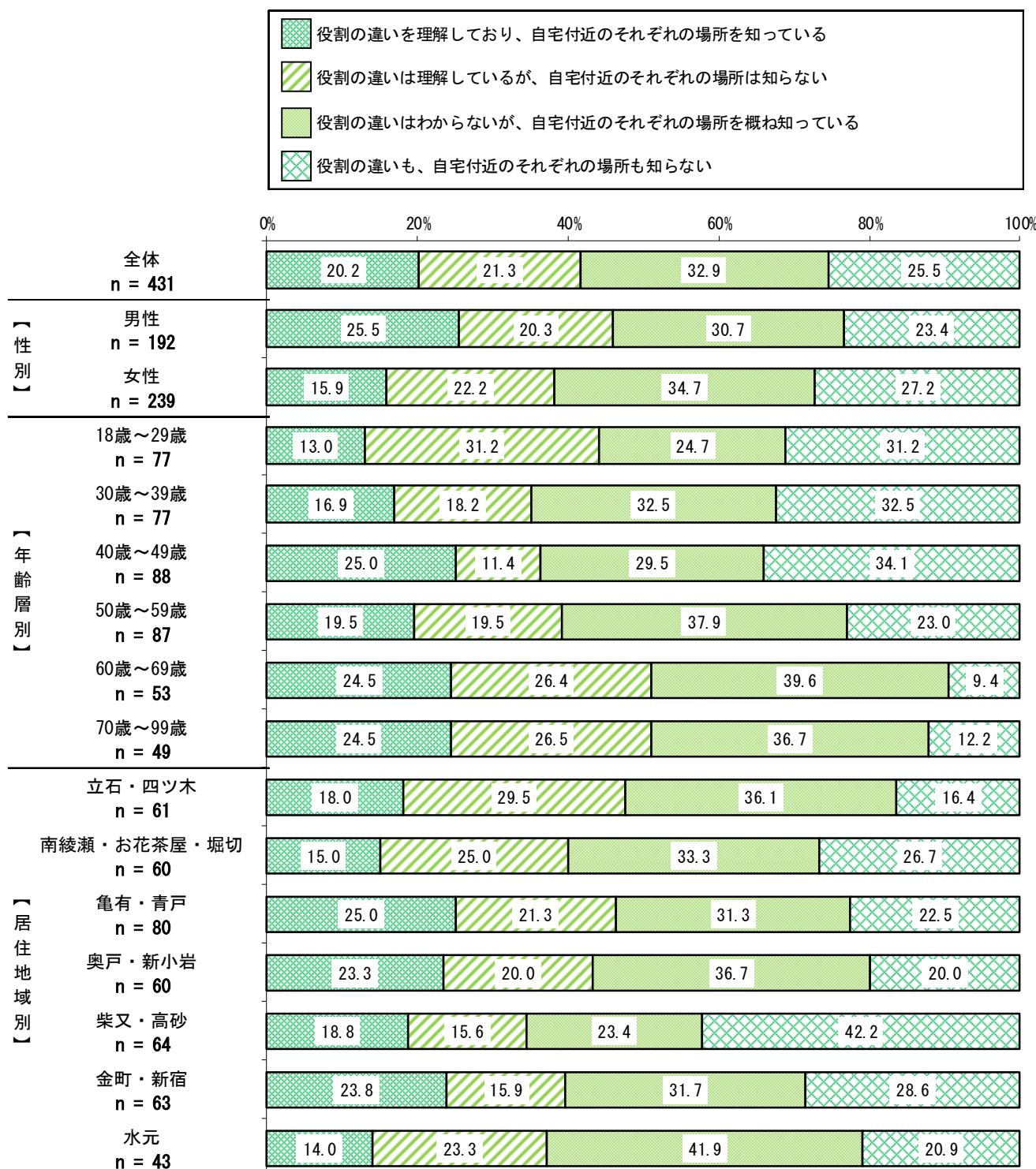
- （1）一時集合場所…地震が発生した際に、地域の皆さんが避難場所に避難するため最初に集まる場所です。
- （2）避難場所…広さや位置を考えて地域ごとに東京都が指定しています。地震で大規模な火災が発生したときに避難する場所で、河川敷や広い公園などが指定されています。
- （3）避難所…自宅の被害を受けた方たちが、避難生活をおくるための施設で、区立小・中学校等が指定されています。

一時集合場所や避難場所、避難所の認知度【全体】



一時集合場所や避難場所、避難所の認知度は、「役割の違いを理解しており、自宅付近のそれぞれの場所を知っている」が 20.2%、「役割の違いは理解しているが、自宅付近のそれぞれの場所は知らない」が 21.3%、「役割の違いはわからぬが、自宅付近のそれぞれの場所を概ね知っている」が 32.9%、「役割の違いも、自宅付近のそれぞれの場所も知らない」が 25.5% となっている。

一時集合場所や避難場所、避難所の認知度【全体、性別、年齢層別、居住地域別】



性別でみると、「役割の違いを理解しており、自宅付近のそれぞれの場所を知っている」は【男性】が 25.5% と、【女性】(15.9%) よりも 9.6 ポイント高くなっている。

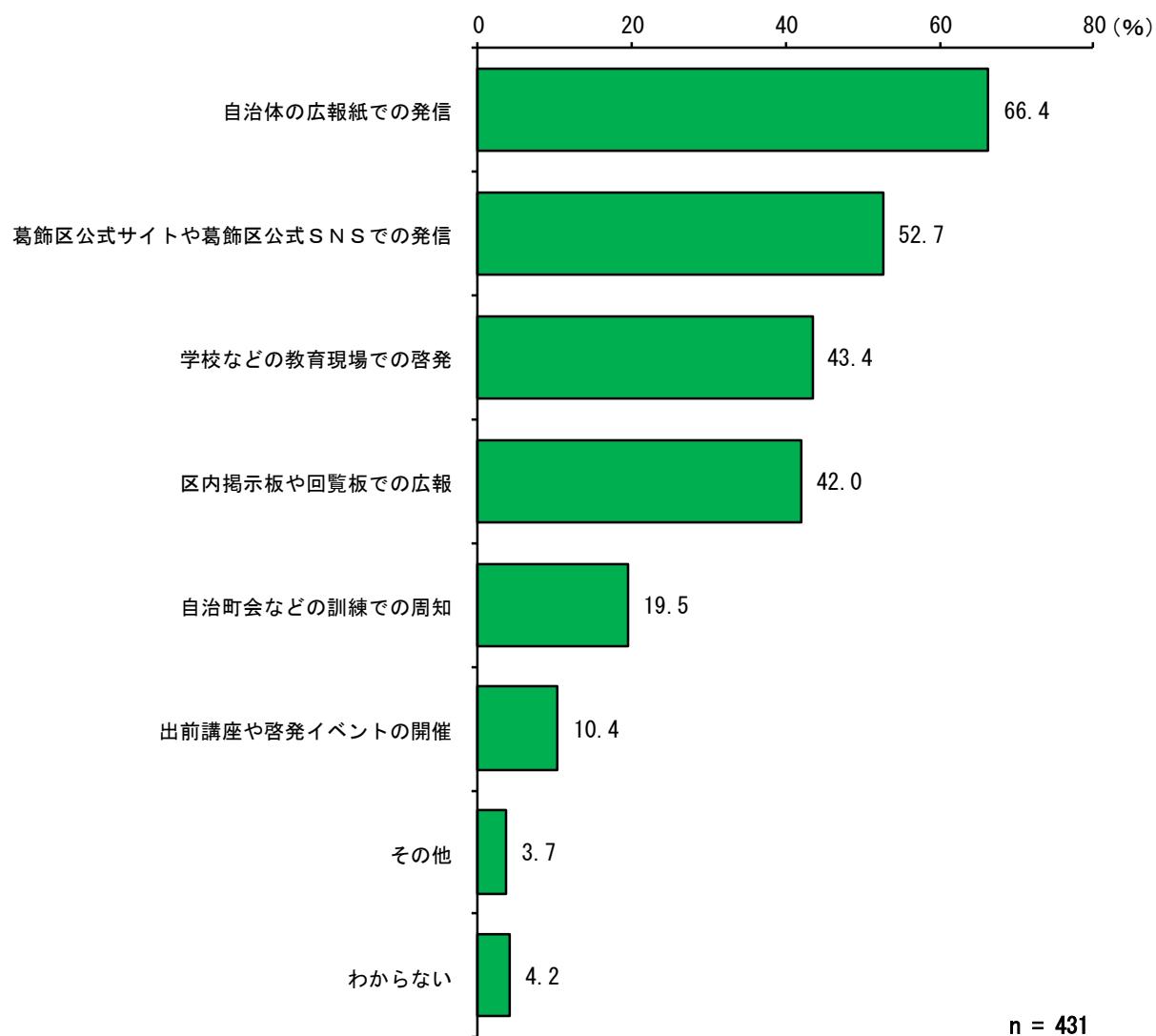
年齢層別でみると、「役割の違いは理解しているが、自宅付近のそれぞれの場所は知らない」は【18歳～29歳】が 31.2% と、他の区分に比べ高くなっている。

居住地域別でみると、「役割の違いも、自宅付近のそれぞれの場所も知らない」は【柴又・高砂】が 42.2% と、他の区分に比べ高くなっている。

(14) 一時集合場所や避難場所、避難所の役割や場所の認知度を上げる効果的な広報

問 14. 今後、災害時の一時集合場所や避難場所、避難所の役割や場所の認知度を上げるために、どのような広報が効果的だと思いますか。（複数選択可）

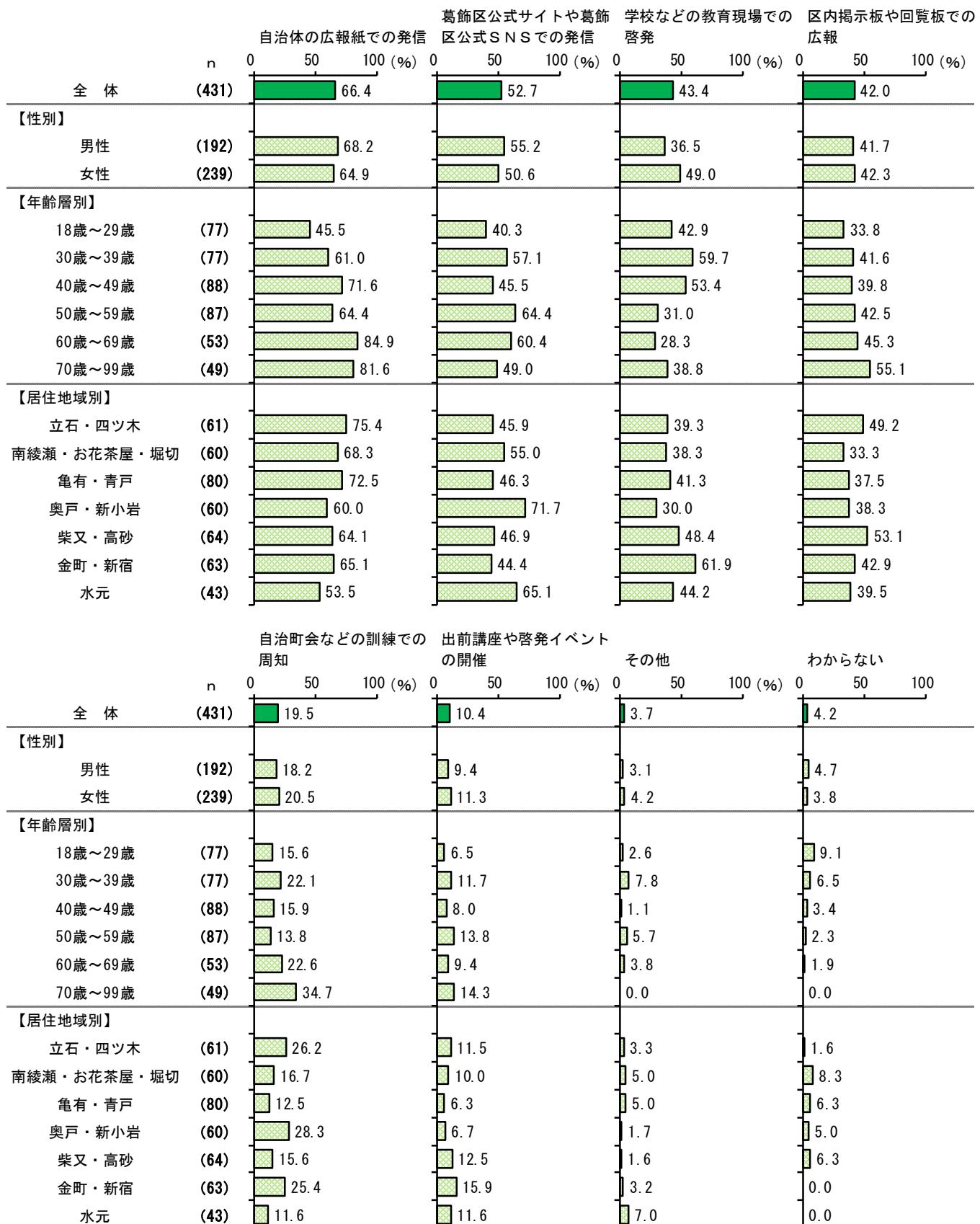
一時集合場所や避難場所、避難所の役割や場所の認知度を上げる効果的な広報【全体】



一時集合場所や避難場所、避難所の役割や場所の認知度を上げる効果的な広報は、「自治体の広報紙での発信」が 66.4% で最も高く、次いで「葛飾区公式サイトや葛飾区公式SNSでの発信」が 52.7%、「学校などの教育現場での啓発」が 43.4%、「区内掲示板や回覧板での広報」が 42.0% と続いている。

「その他」の内容としては、「掲示板や電柱にはる」「有名人を起用した YouTube」「家に貼れるポスターサイズの物を配布してくださると、家中に貼り何時でも見れる状態したい」「見やすい誘導サインの設置」などがあった。

一時集合場所や避難場所、避難所の役割や場所の認知度を上げる効果的な広報
【全体、性別、年齢層別、居住地域別】



性別でみると、「学校などの教育現場での啓発」は【女性】が 49.0%と、【男性】(36.5%)よりも 12.5 ポイント高くなっている。

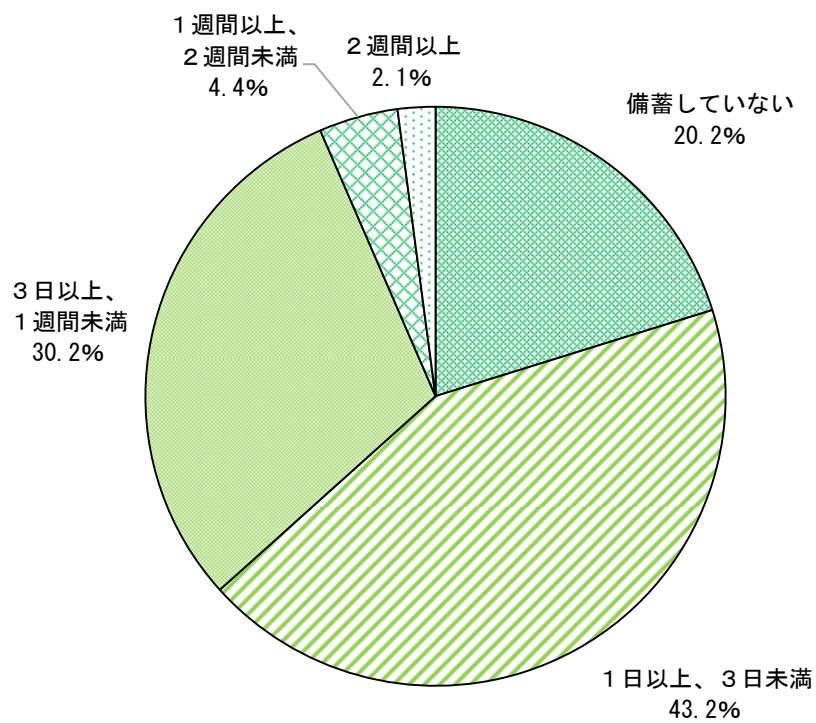
年齢層別でみると、「自治体の広報紙での発信」は【60 歳～69 歳】が 84.9%と、他の区分に比べ高く、【18 歳～29 歳】が 45.5%と、他の区分に比べ低くなっている。「学校などの教育現場での啓発」は【30 歳～39 歳】が 59.7%と、他の区分に比べ高くなっている。

居住地域別でみると、「葛飾区公式サイトや葛飾区公式S N Sでの発信」は【奥戸・新小岩】が 71.7%と、他の区分に比べ高くなっている。一方、「自治体の広報紙での発信」は【水元】が 53.5%と、他の区分に比べ低くなっている。

(15) 自宅で何日分備蓄しているか

問 15. 自宅で何日分の備蓄を行っていますか。（1つ選択）

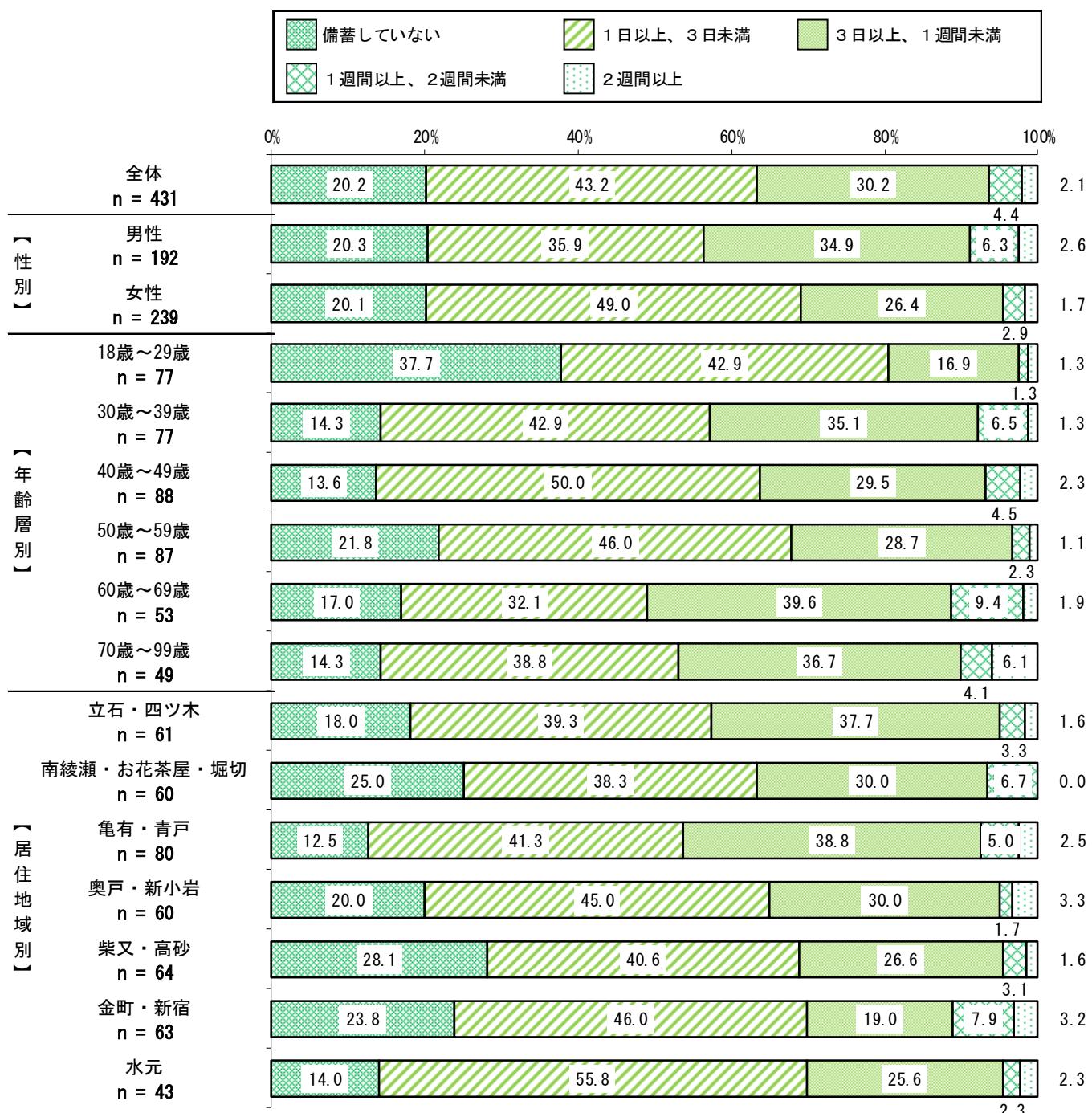
自宅で何日分備蓄しているか【全体】



n = 431

自宅で何日分備蓄しているかは、「1日以上、3日未満」が43.2%、「3日以上、1週間未満」が30.2%となっている。一方、「備蓄していない」が20.2%となっている。

自宅で何日分備蓄しているか【全体、性別、年齢層別、居住地域別】



性別でみると、「1日以上、3日未満」は【女性】が49.0%と、【男性】(35.9%)よりも13.1ポイント高くなっている。一方、「3日以上、1週間未満」は【男性】が34.9%と、【女性】(26.4%)よりも8.5ポイント高くなっている。

年齢層別でみると、「備蓄していない」は【18歳～29歳】が37.7%と、他の区分に比べ高くなっている。

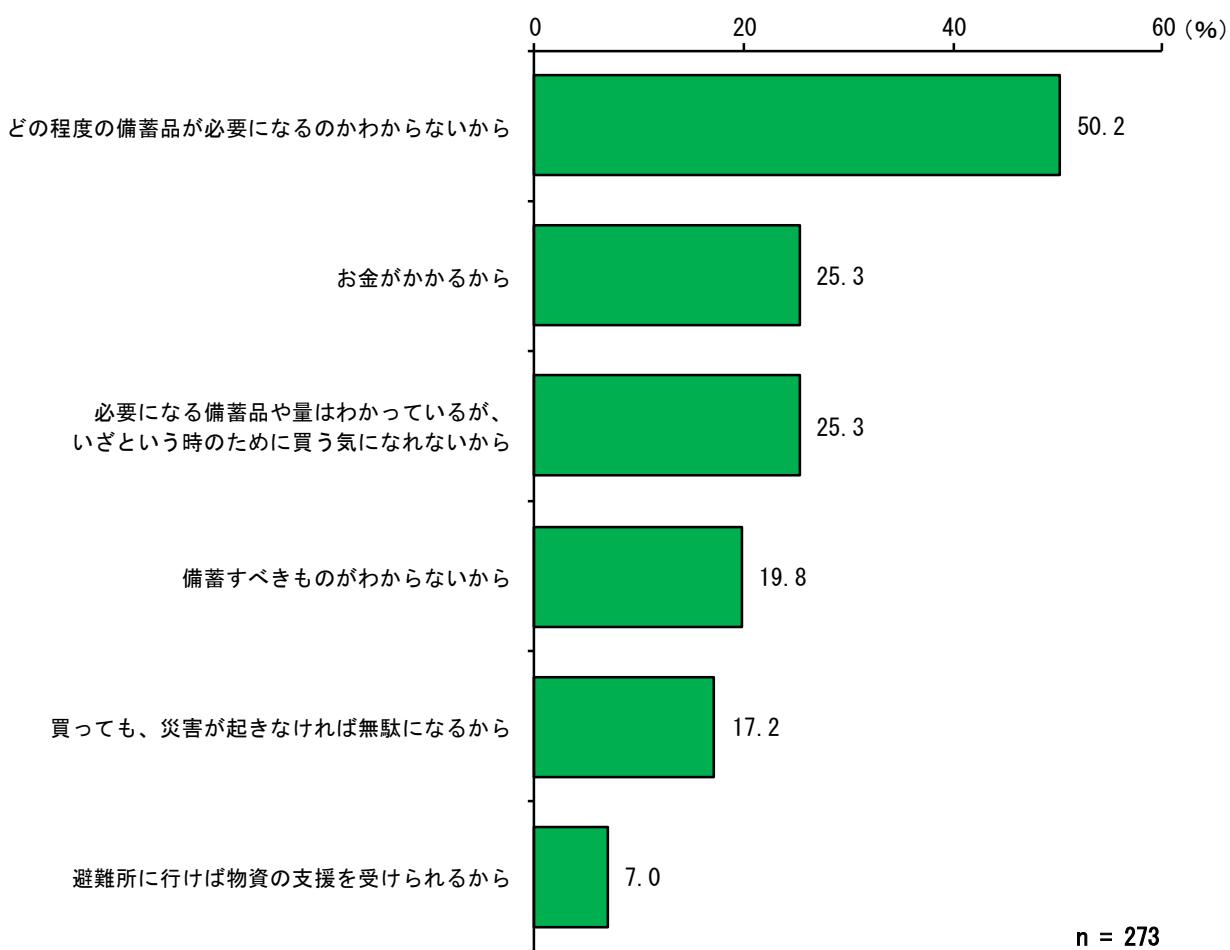
居住地域別でみると、「1日以上、3日未満」は【水元】が55.8%と、他の区分に比べ高くなっている。

(16) 物資を備蓄していない理由

問 16. 問 15 で「備蓄していない」「1 日以上、3 日未満」と答えた方に伺います。

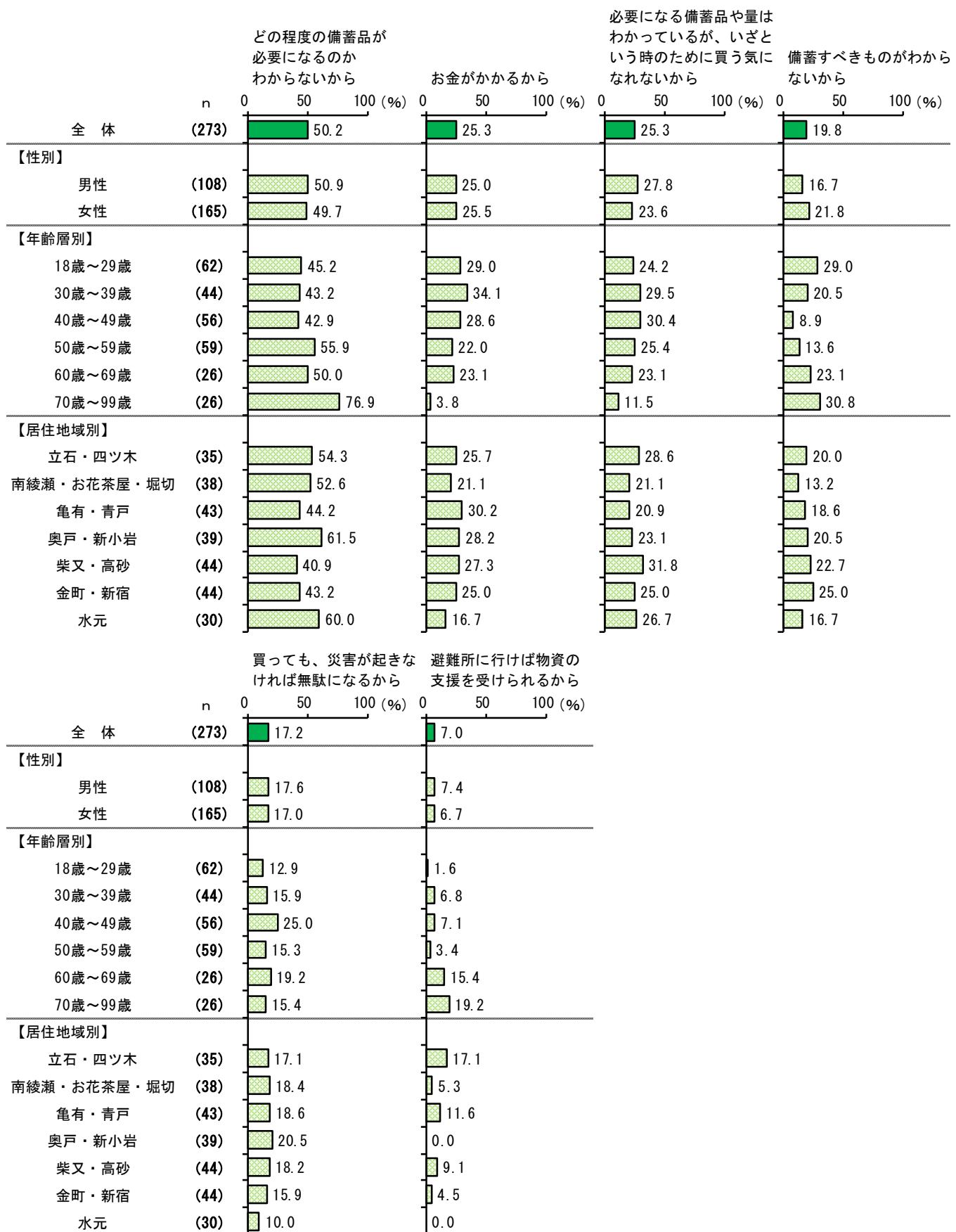
災害の際に物資支援が来るまでには、3 日程度かかることが予想されます。備蓄をしない理由を教えてください。(複数選択可)

物資を備蓄していない理由【全体】



物資を備蓄していない理由は、「どの程度の備蓄品が必要になるのかわからないから」が 50.2% で最も高く、次いで「お金がかかるから」及び「必要になる備蓄品や量はわかっているが、いざという時のために買う気になれないから」がともに 25.3%、「備蓄すべきものがわからないから」が 19.8%、「買っても、災害が起きなければ無駄になるから」が 17.2% となっている。

物資を備蓄していない理由【全体、性別、年齢層別、居住地域別】



性別でみると、「備蓄すべきものがわからないから」は【女性】が 21.8%と、【男性】(16.7%) よりも 5.1 ポイント高くなっている。

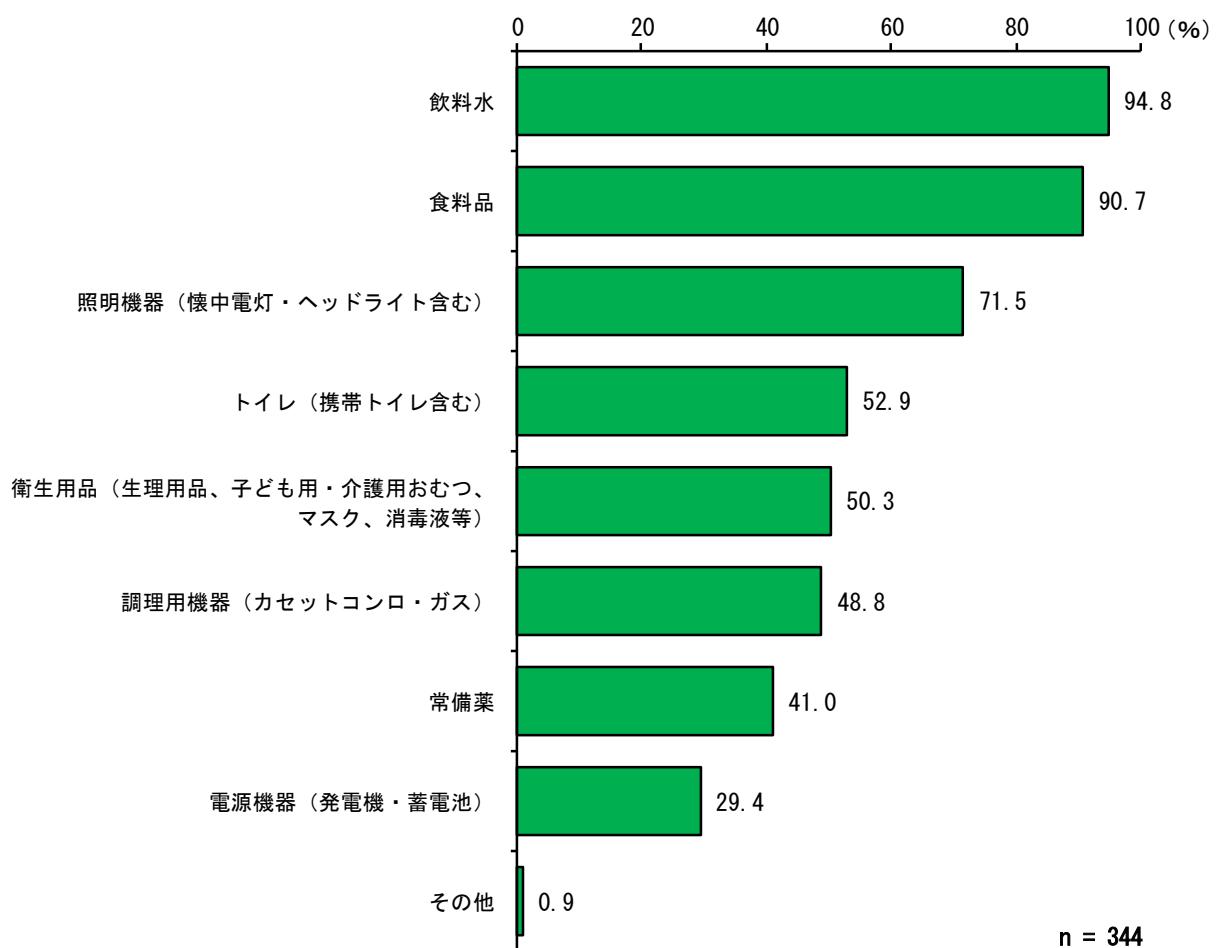
年齢層別でみると、「備蓄すべきものがわからないから」は【70 歳～99 歳】が 30.8%、【18 歳～29 歳】が 29.0%と、他の区分に比べ高くなっている。

居住地域別でみると、「どの程度の備蓄品が必要になるのかわからないから」は【奥戸・新小岩】が 61.5%、【水元】が 60.0%と、他の区分に比べ高くなっている。「避難所に行けば物資の支援を受けられるから」は【立石・四ツ木】が 17.1%と、他の区分に比べ高くなっている。

(17) 自宅で備蓄している物資

問17. 問15で「1日以上、3日未満」「3日以上、1週間未満」「1週間以上、2週間未満」「2週間以上」と答えた方に伺います。
自宅でどのようなものを備蓄していますか。(複数選択可)

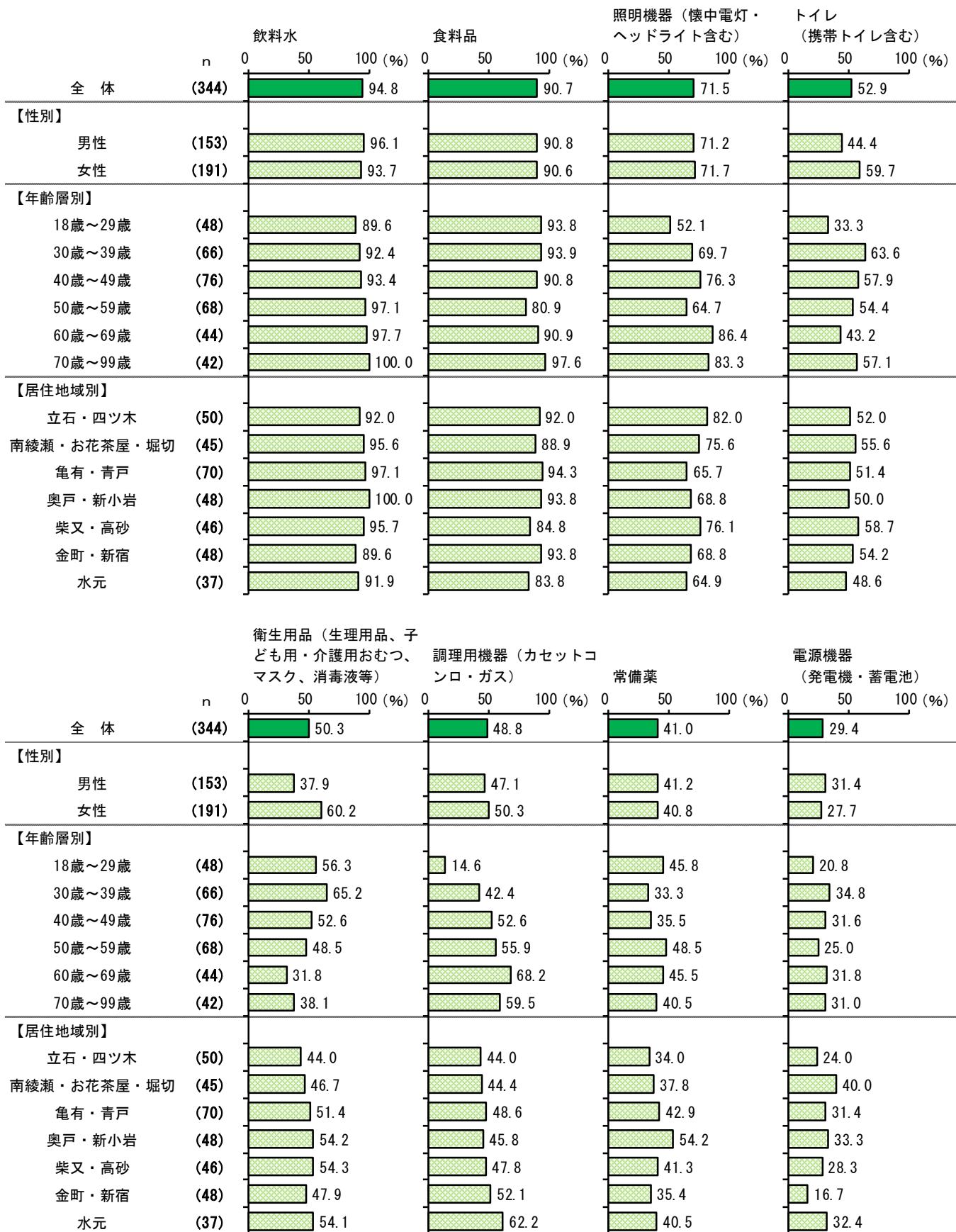
自宅で備蓄している物資【全体】



自宅で備蓄している物資は、「飲料水」が94.8%で最も高く、次いで「食料品」が90.7%、「照明機器（懐中電灯・ヘッドライト含む）」が71.5%、「トイレ（携帯トイレ含む）」が52.9%、「衛生用品（生理用品、子ども用・介護用おむつ、マスク、消毒液等）」が50.3%、「調理用機器（カセットコンロ・ガス）」が48.8%、「常備薬」が41.0%と続いている。

「その他」の内容としては、「ラジオ」「ペットフード」「ラップや紙コップ、ポリタンク、浄水器など断水対策用品」があった。

自宅で備蓄している物資【全体、性別、年齢層別、居住地域別】





性別でみると、「衛生用品（生理用品、子ども用・介護用おむつ、マスク、消毒液等）」は【女性】が 60.2%と、【男性】(37.9%) よりも 22.3 ポイント、「トイレ（携帯トイレ含む）」は【女性】が 59.7%と、【男性】(44.4%) よりも 15.3 ポイント高くなっている。

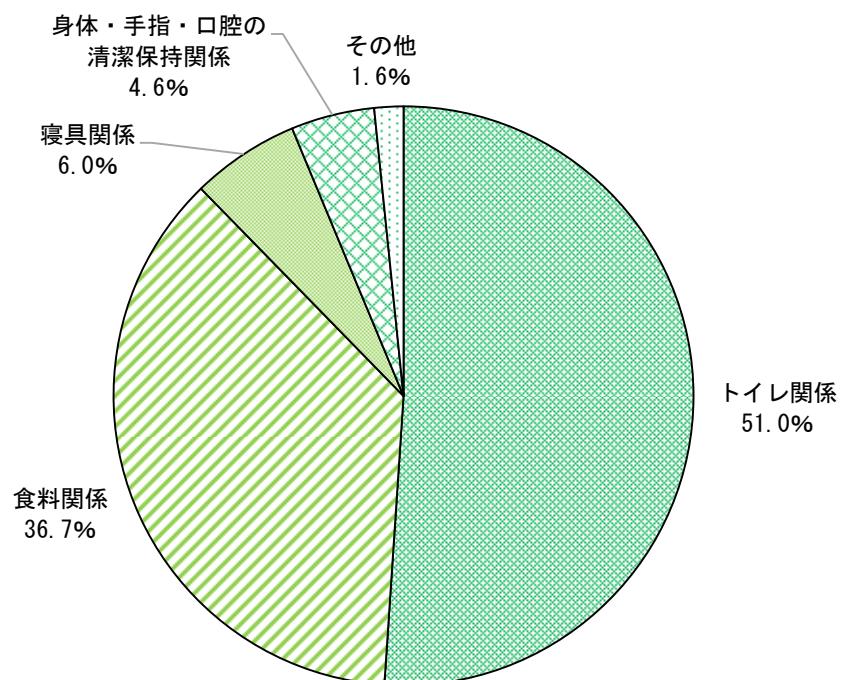
年齢層別でみると、【18歳～29歳】は「調理用機器（カセットコンロ・ガス）」が 14.6%、「トイレ（携帯トイレ含む）」が 33.3%、「照明機器（懐中電灯・ヘッドライト含む）」が 52.1%と、他の区分に比べ低くなっている。一方、【60歳～69歳】は「調理用機器（カセットコンロ・ガス）」が 68.2%、「照明機器（懐中電灯・ヘッドライト含む）」が 86.4%と、他の区分に比べ高くなっている。

居住地域別でみると、「調理用機器（カセットコンロ・ガス）」は【水元】が 62.2%と、他の区分に比べ高くなっている。「常備薬」は【奥戸・新小岩】が 54.2%と、他の区分に比べ高くなっている。一方、「電源機器（発電機・蓄電池）」は【金町・新宿】が 16.7%と、他の区分に比べ低くなっている。

(18) 優先的に区に備蓄してほしい物資

問 18. 区の備蓄として、以下のうちから選ぶとすれば、どれを優先的に備蓄してほしいと思いますか。（1つ選択）

優先的に区に備蓄してほしい物資【全体】

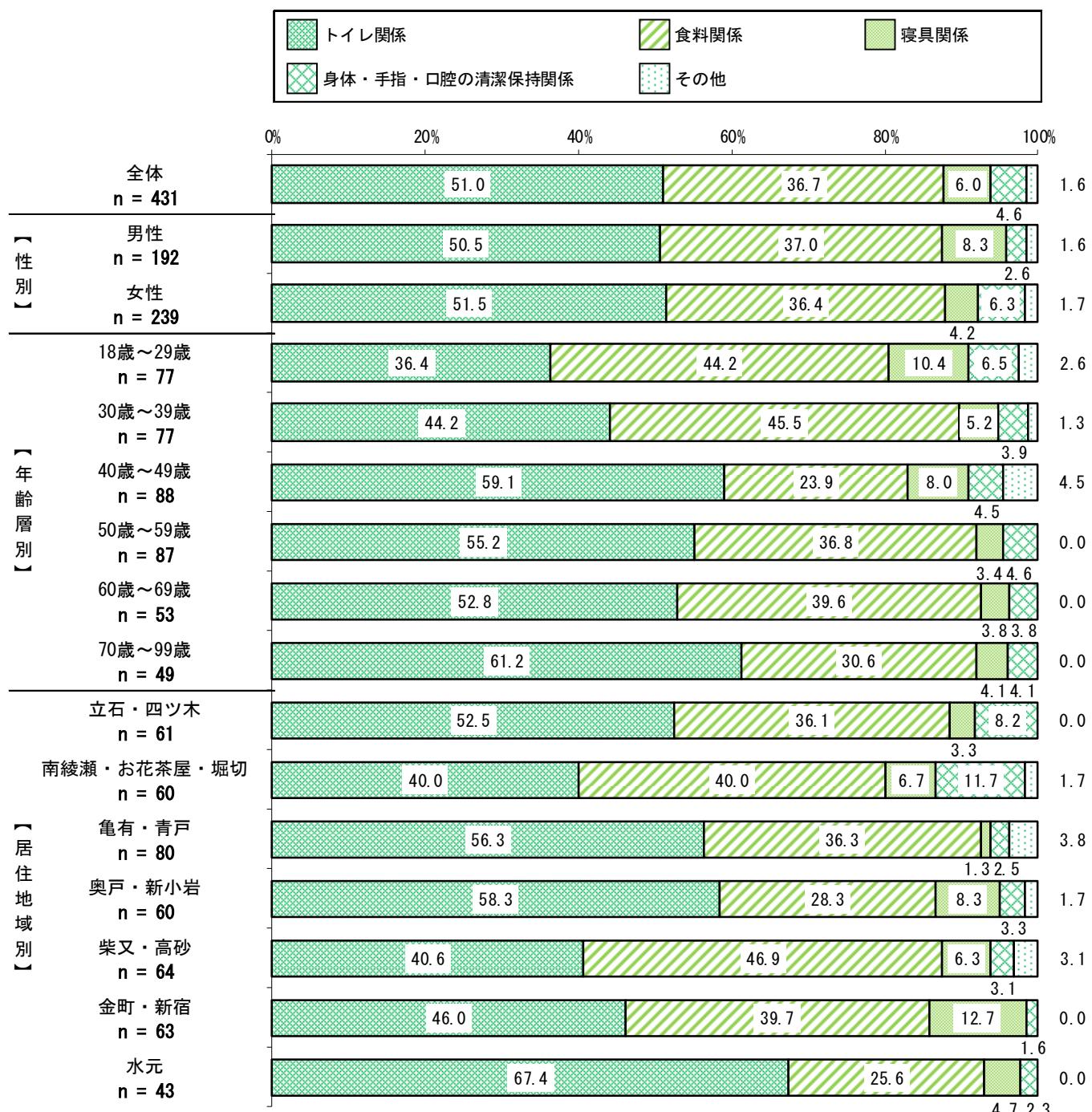


n = 431

優先的に区に備蓄してほしい物資は、「トイレ関係」が 51.0% で最も高く、次いで「食料関係」が 36.7% となっている。

「その他」の内容としては、「避難所でのプライバシーを保つテントなど」「ダンボールパーテーション」「自宅避難者向けのバッテリー」「夜用の生理用品、おむつ」などがあった。

優先的に区に備蓄してほしい物資【全体、性別、年齢層別、居住地域別】



性別による大きな差はみられない。

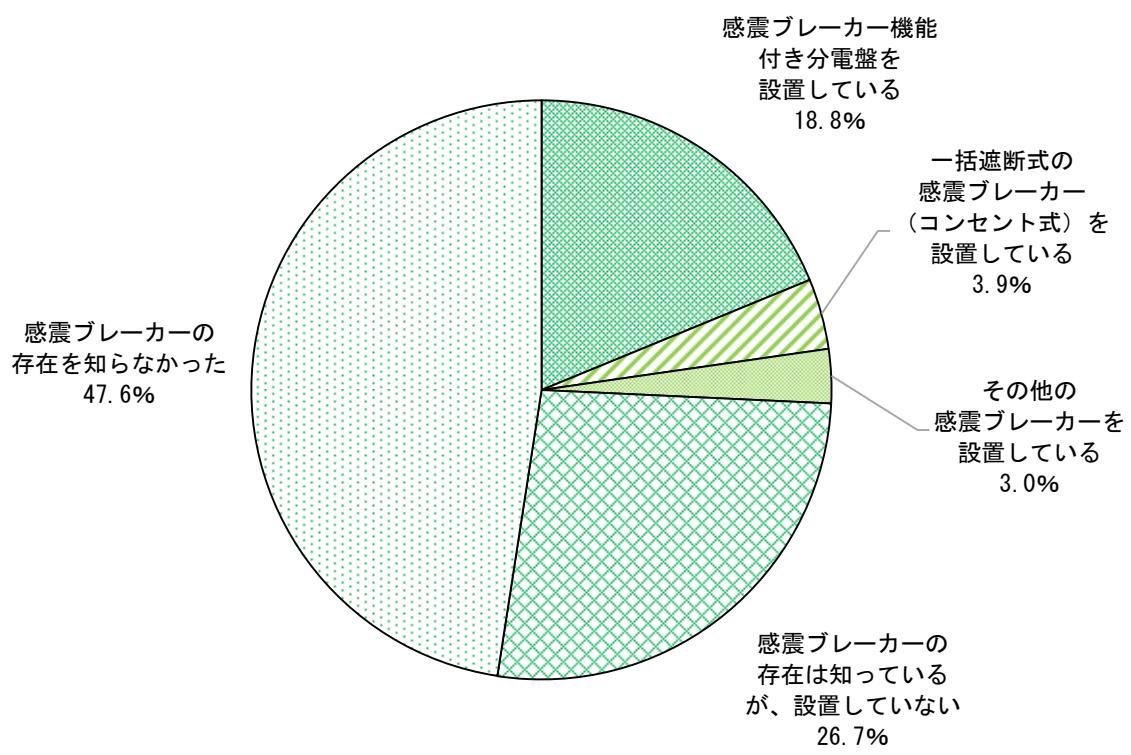
年齢層別でみると、「トイレ関係」は【70 歳～99 歳】が 61.2% と、他の区分に比べ高く、【18 歳～29 歳】が 36.4% と、他の区分に比べ低くなっている。また、「食料関係」は【40 歳～49 歳】が 23.9% と、他の区分に比べ低くなっている。

居住地域別でみると、「トイレ関係」は【水元】が 67.4% と、他の区分に比べ高く、【南綾瀬・お花茶屋・堀切】が 40.0%、【柴又・高砂】が 40.6% と、他の区分に比べ低くなっている。

(19) 感震ブレーカーの設置状況

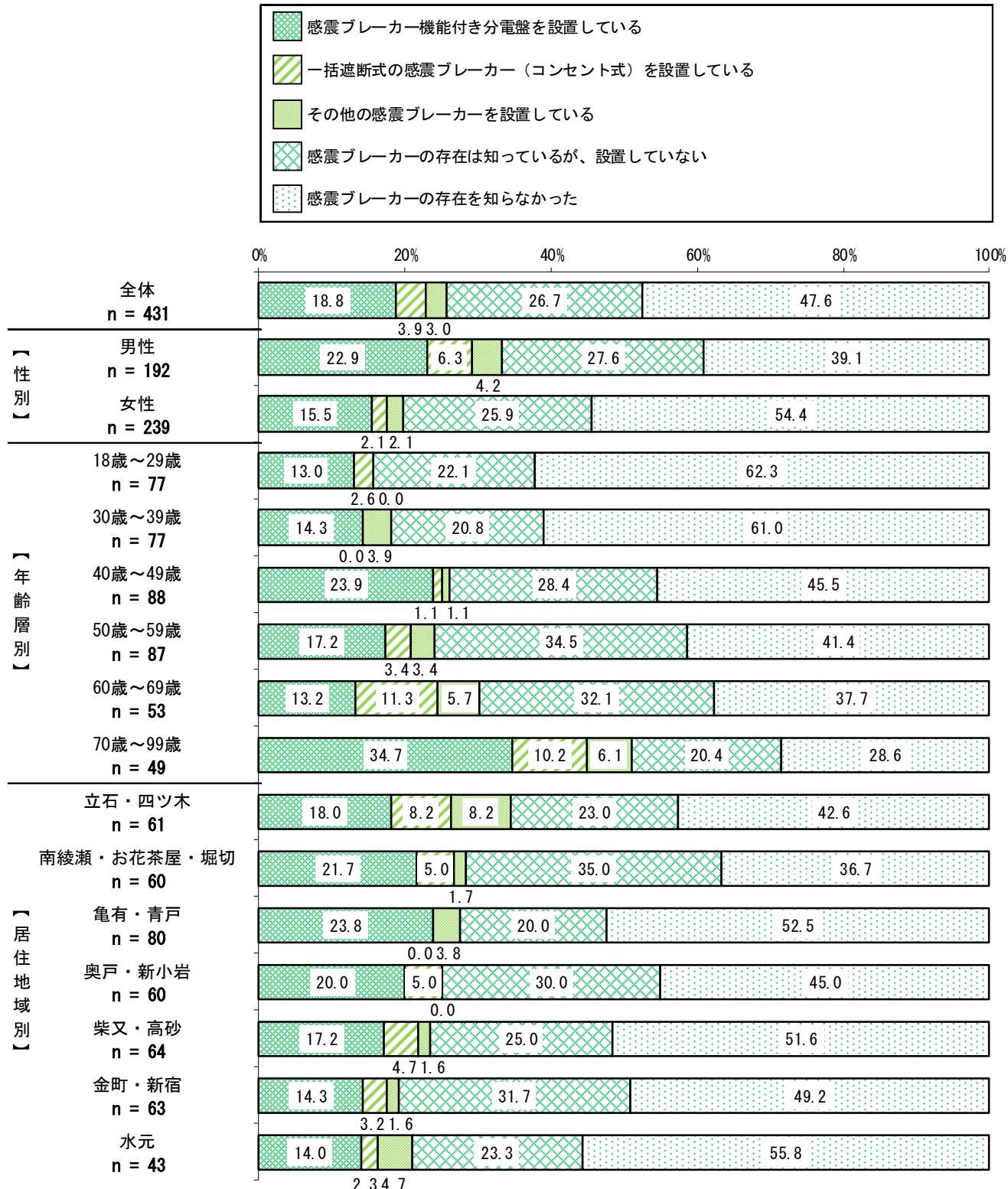
問 19. 大きな地震が起きた時の分電盤やコンセントの火災対策として、感震ブレーカーを設置していますか。（1つ選択）

感震ブレーカーの設置状況【全体】



感震ブレーカーの設置状況は、「感震ブレーカーの存在を知らなかった」が 47.6%、「感震ブレーカーの存在は知っているが、設置していない」が 26.7% となっている。一方、「感震ブレーカー機能付き分電盤を設置している」が 18.8% となっている。

感震ブレーカーの設置状況【全体、性別、年齢層別、居住地域別】



性別でみると、「感震ブレーカーの存在を知らなかった」は【女性】が 54.4% と、【男性】(39.1%) よりも 15.3 ポイント高くなっている。

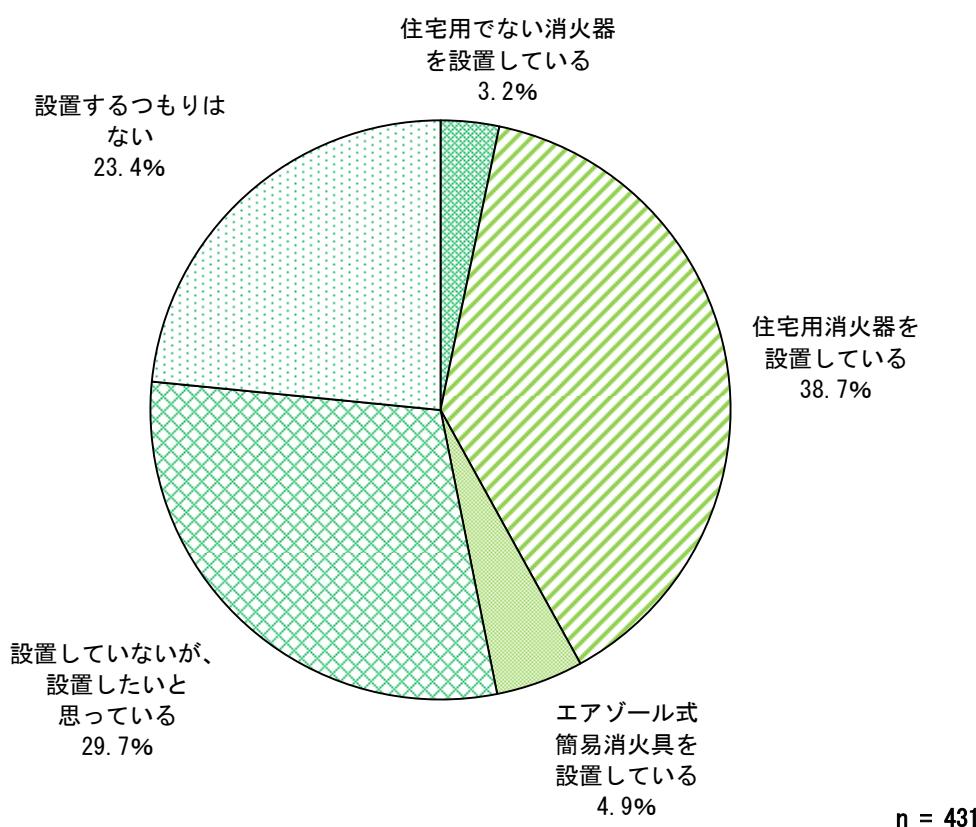
年齢層別でみると、「感震ブレーカー機能付き分電盤を設置している」は【70歳～99歳】が 34.7% と、他の区分に比べ高くなっている。

居住地域別でみると、「感震ブレーカーの存在を知らなかった」は【南綾瀬・お花茶屋・堀切】が 36.7% と、他の区分に比べ低くなっている。

(20) 家庭への消火器の設置状況

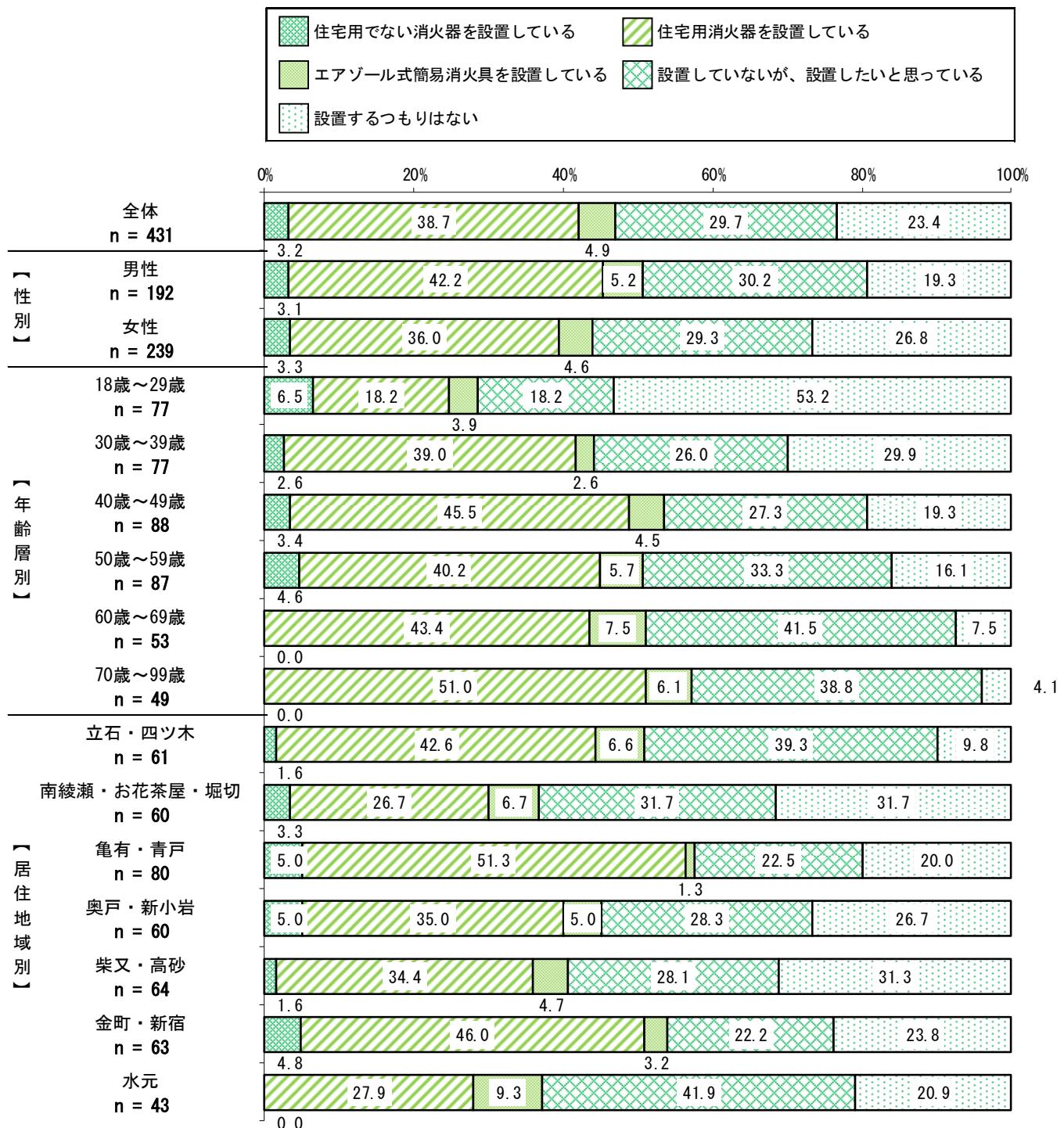
問 20. 初期消火対策として、家庭に消火器を設置することはとても有効です。ご自分の家庭に消火器を設置していますか。（1つ選択）

家庭への消火器の設置状況【全体】



家庭への消火器の設置状況は、「住宅用消火器を設置している」が 38.7%、「設置していないが、設置したいと思っている」が 29.7% となっている。一方、「設置するつもりはない」が 23.4% となっている。

家庭への消火器の設置状況【全体、性別、年齢層別、居住地域別】



性別でみると、「設置するつもりはない」は【女性】が 26.8% と、【男性】(19.3%) よりも 7.5 ポイント高くなっている。一方、「住宅用消火器を設置している」は【男性】が 42.2% と、【女性】(36.0%) より 6.2 ポイント高くなっている。

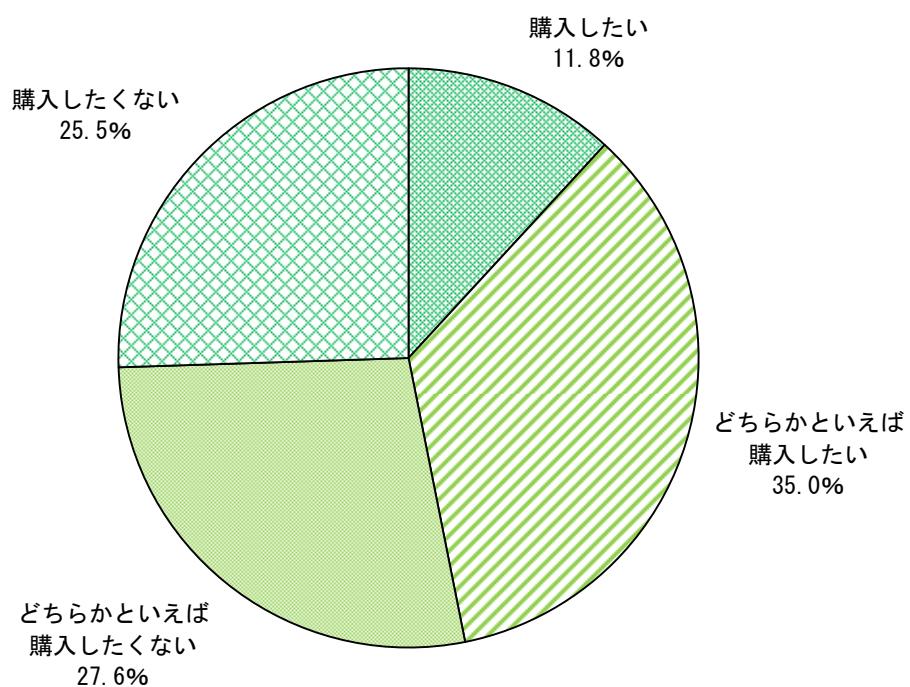
年齢層別でみると、「設置するつもりはない」は【18 歳～29 歳】が 53.2% と、他の区分に比べ高くなっている。

居住地域別でみると、「住宅用消火器を設置している」は【亀有・青戸】が 51.3% と、他の区分に比べ高くなっている。

(21) 業者紹介による家庭用消火器の購入意向

問 21. 家庭用の消火器について、購入先の業者を紹介してもらえば、購入したいと思いま
すか。 (1つ選択)

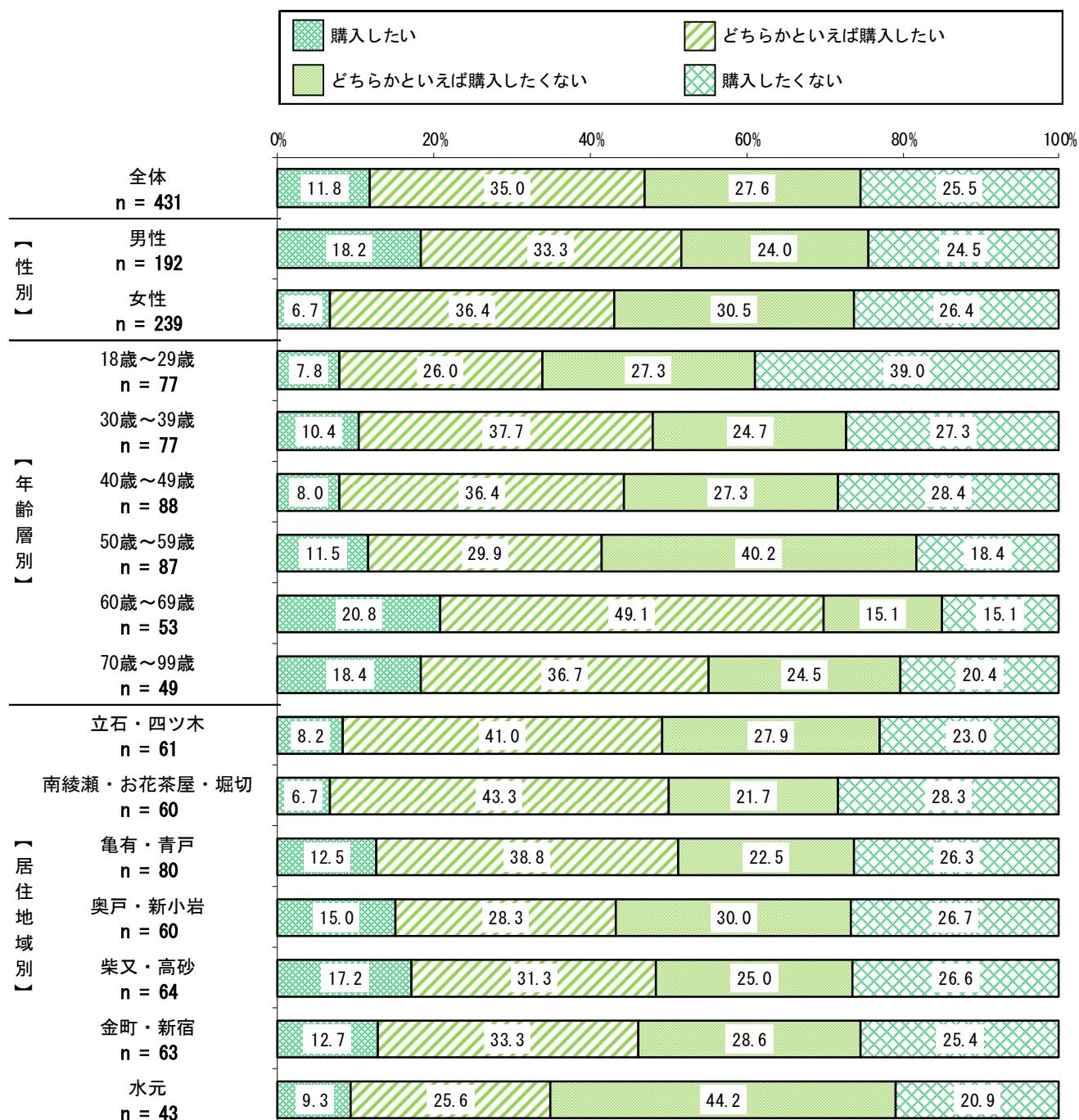
業者紹介による家庭用消火器の購入意向【全体】



n = 431

業者紹介による家庭用消火器の購入意向は、「購入したい」(11.8%) と「どちらかとい
えば購入したい」(35.0%) を合わせた『購入希望あり』が 46.8%、「購入したくない」
(25.5%) と「どちらかといえば購入したくない」(27.6%) を合わせた『購入希望なし』
が 53.1% となっている。

業者紹介による家庭用消火器の購入意向【全体、性別、年齢層別、居住地域別】



性別でみると、『購入希望あり』は【男性】が 51.5% と、【女性】(43.1%) よりも 8.4 ポイント高くなっている。

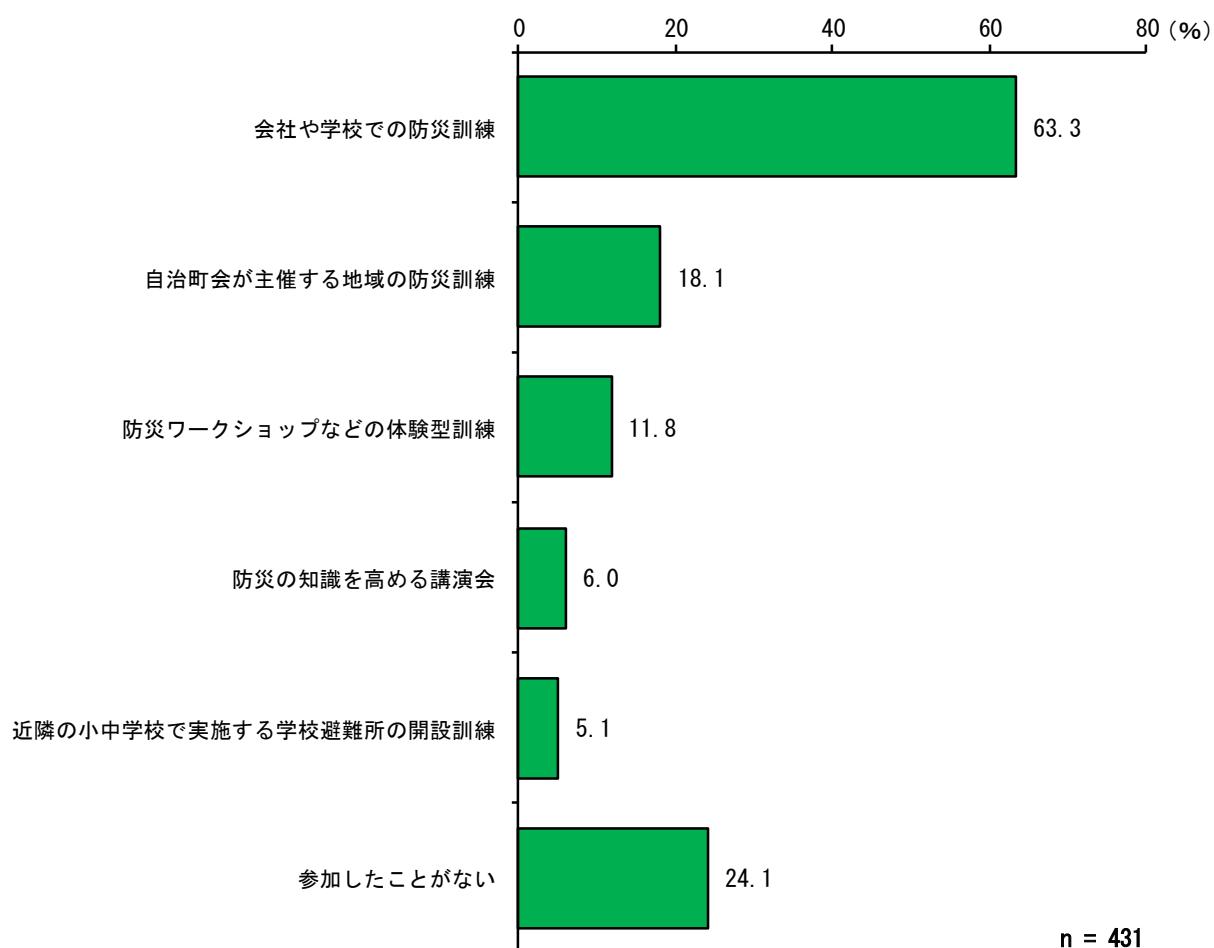
年齢層別でみると、『購入希望あり』は【60 歳～69 歳】が 69.9% と、他の区分に比べ高くなっている。一方、『購入希望なし』は【18 歳～29 歳】が 66.3% と、他の区分に比べ高くなっている。

居住地域別でみると、『購入希望なし』は【水元】が 65.1% と、他の区分に比べ高くなっている。

(22) 参加したことがある防災訓練

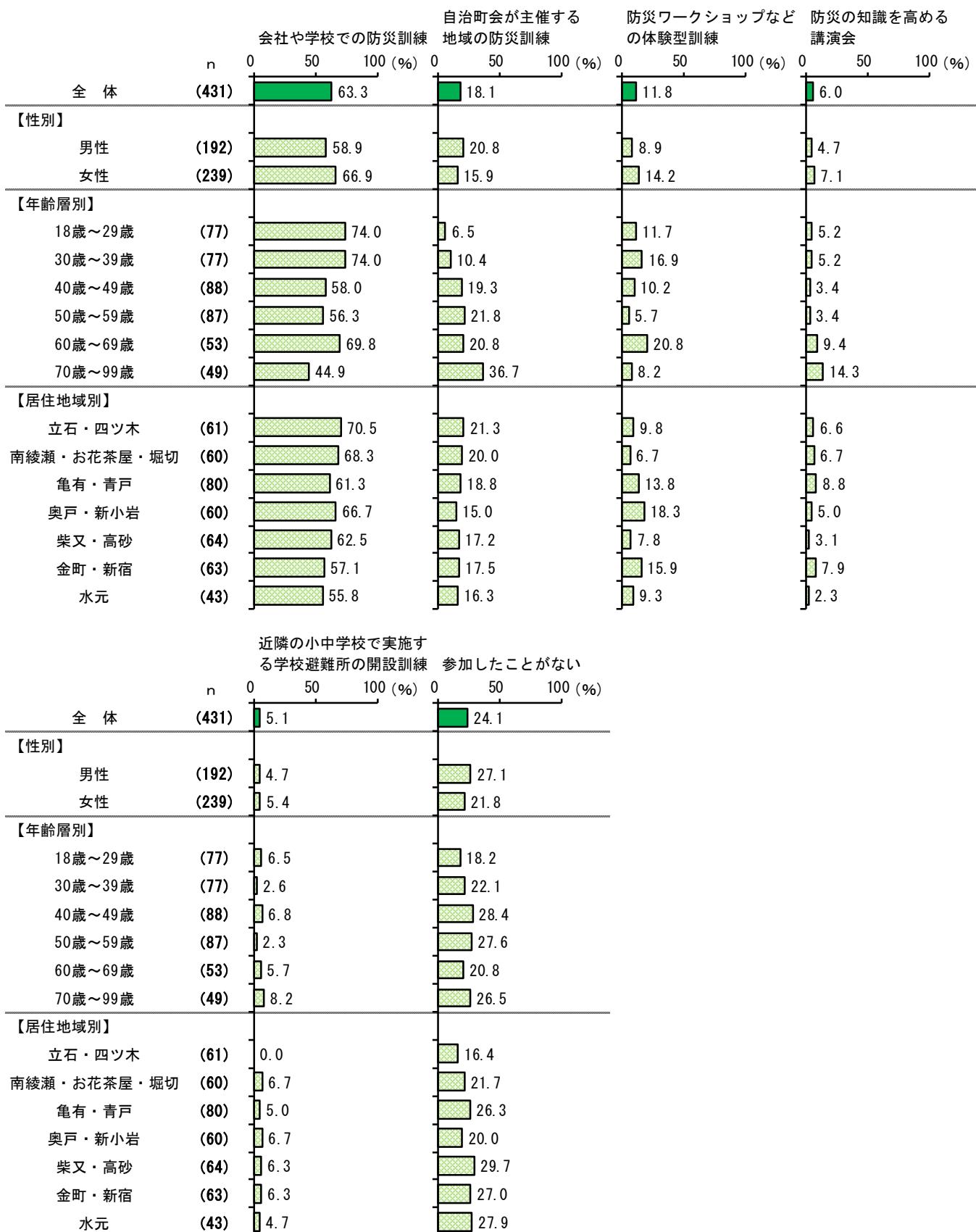
問 22. これまで、どのような防災訓練に参加したことがありますか。（複数選択可）

参加したことがある防災訓練【全体】



参加したことがある防災訓練は、「会社や学校での防災訓練」が 63.3% で最も高くなっている。以下「自治町会が主催する地域の防災訓練」が 18.1%、「防災ワークショップなどの体験型訓練」が 11.8% となっている。一方、「参加したことがない」が 24.1% となっている。

参加したことがある防災訓練【全体、性別、年齢層別、居住地域別】



性別でみると、「会社や学校での防災訓練」は【女性】が 66.9%と、【男性】(58.9%) よりも 8.0 ポイント、「防災ワークショップなどの体験型訓練」は【女性】が 14.2%と、【男性】(8.9%) よりも 5.3 ポイント高くなっている。一方、「参加したことがない」は【男性】が 27.1%と、【女性】(21.8%) よりも 5.3 ポイント高くなっている。

年齢層別でみると、「自治町会が主催する地域の防災訓練」は【70 歳～99 歳】が 36.7% と、他の区分に比べ高くなっている。

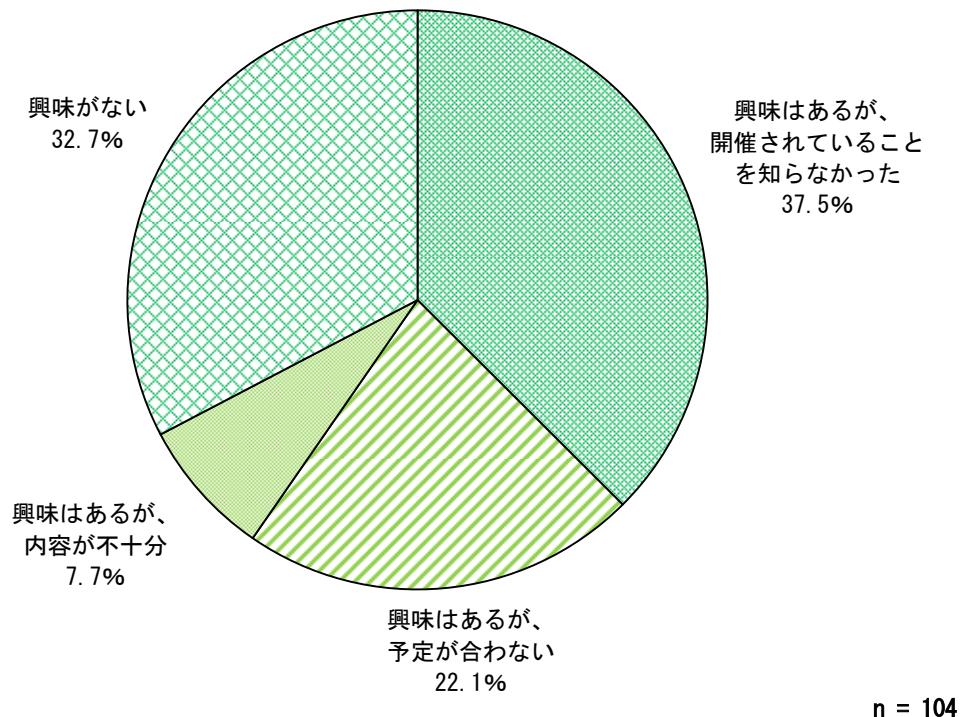
居住地域による大きな差はみられない。

(23) 防災訓練に参加したことがない理由

問 23. 問 22 で「参加したことがない」と答えた方に伺います。

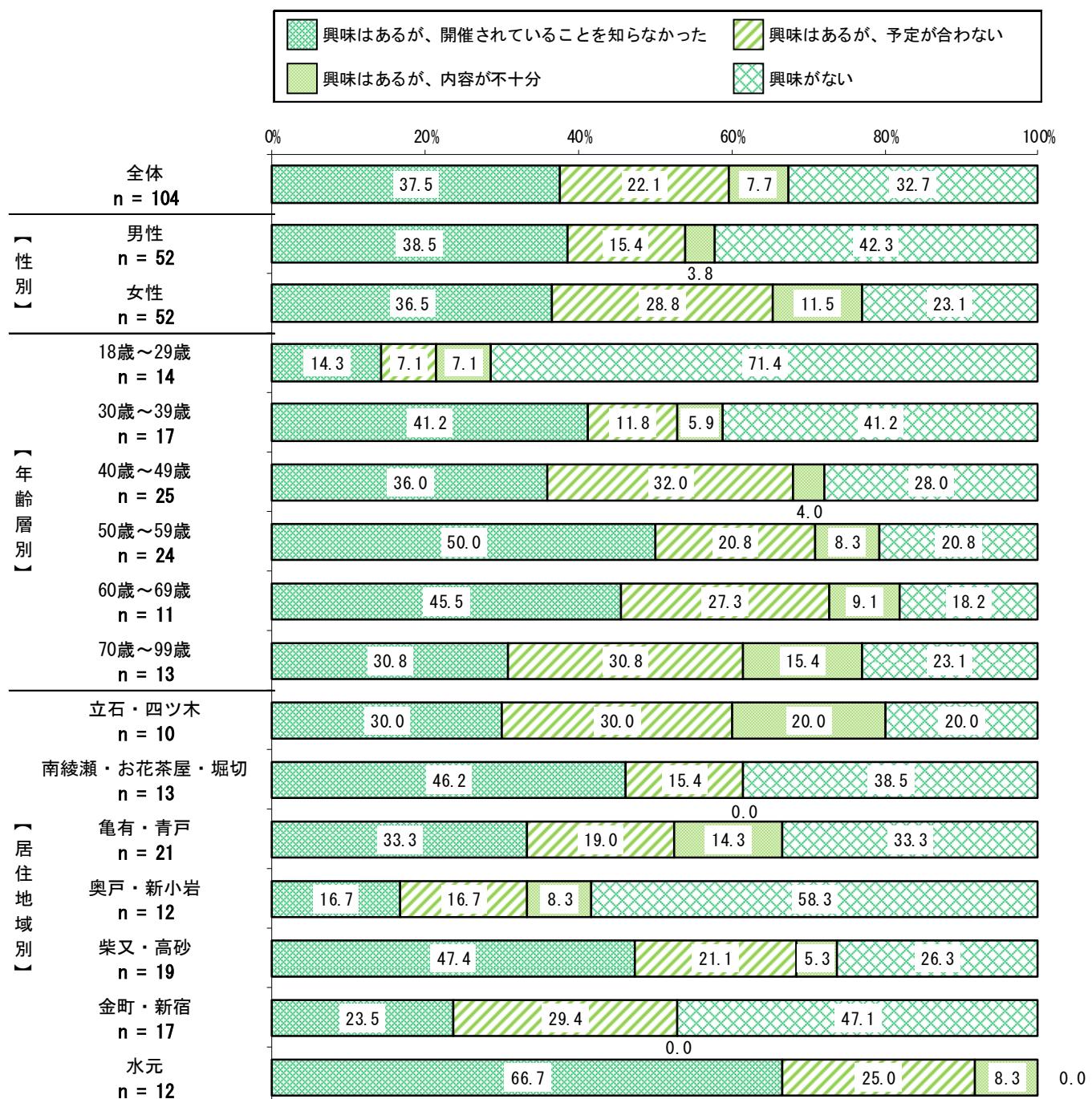
参加したことがない理由を教えてください。（1つ選択）

防災訓練に参加したことがない理由【全体】



防災訓練に参加したことがない理由は、「興味はあるが、開催されていることを知らない」（37.5%）と「興味はあるが、予定が合わない」（22.1%）と「興味はあるが、内容が不十分」（7.7%）を合わせた『興味あり』が 67.3% となっている。一方、「興味がない」が 32.7% となっている。

防災訓練に参加したことがない理由【全体、性別、年齢層別、居住地域別】



性別でみると、「興味がない」は【男性】が 42.3%と、【女性】(23.1%) よりも 19.2 ポイント高くなっている。

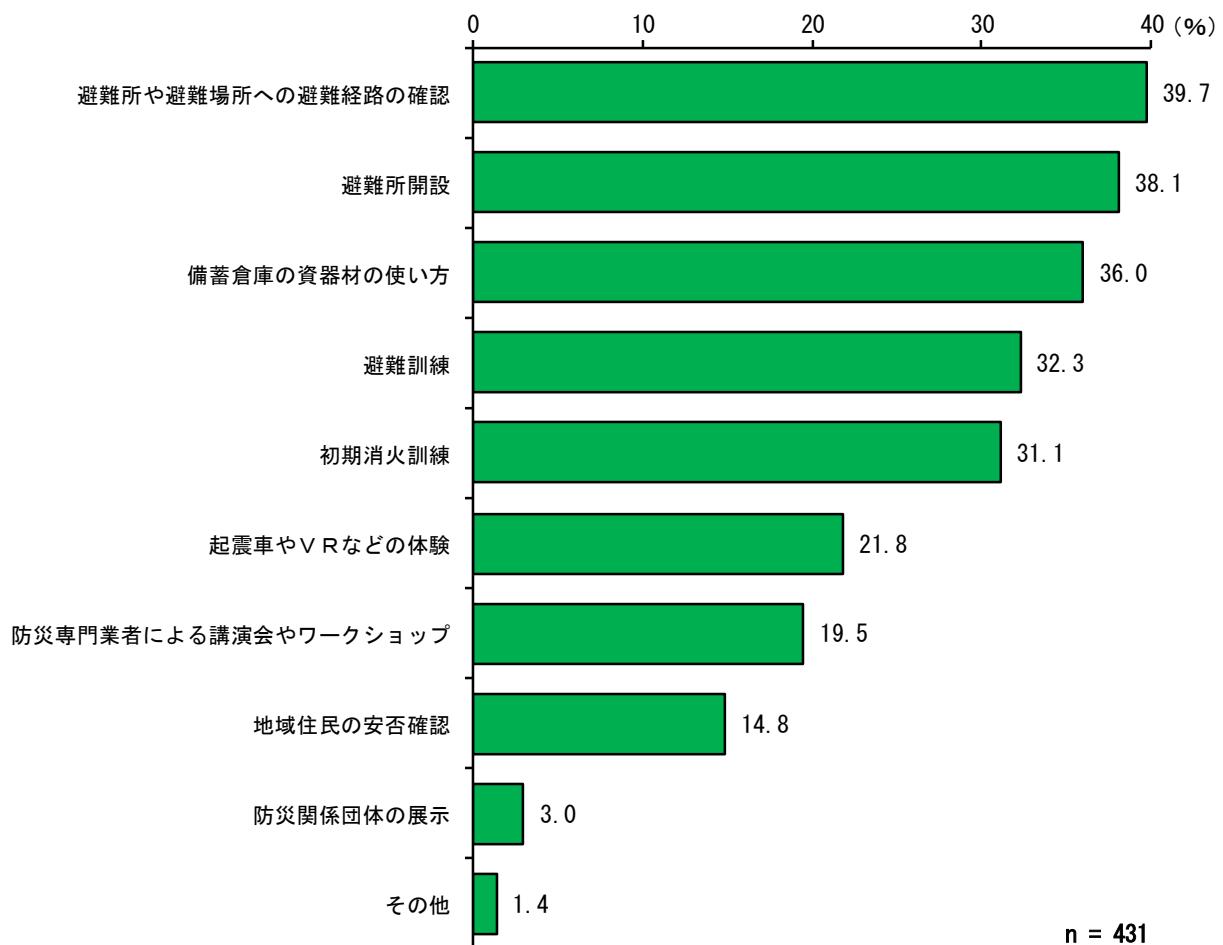
年齢層別でみると、「興味がない」は【18 歳～29 歳】が 71.4%と、他の区分に比べ高くなっている。

居住地域別でみると、「興味はあるが、開催されていることを知らなかつた」は【水元】が 66.7%と、他の区分に比べ高くなっている。

(24) 今後参加したい防災訓練の内容

問 24. 今後、どのような内容の防災訓練に参加したいですか。（複数選択可）

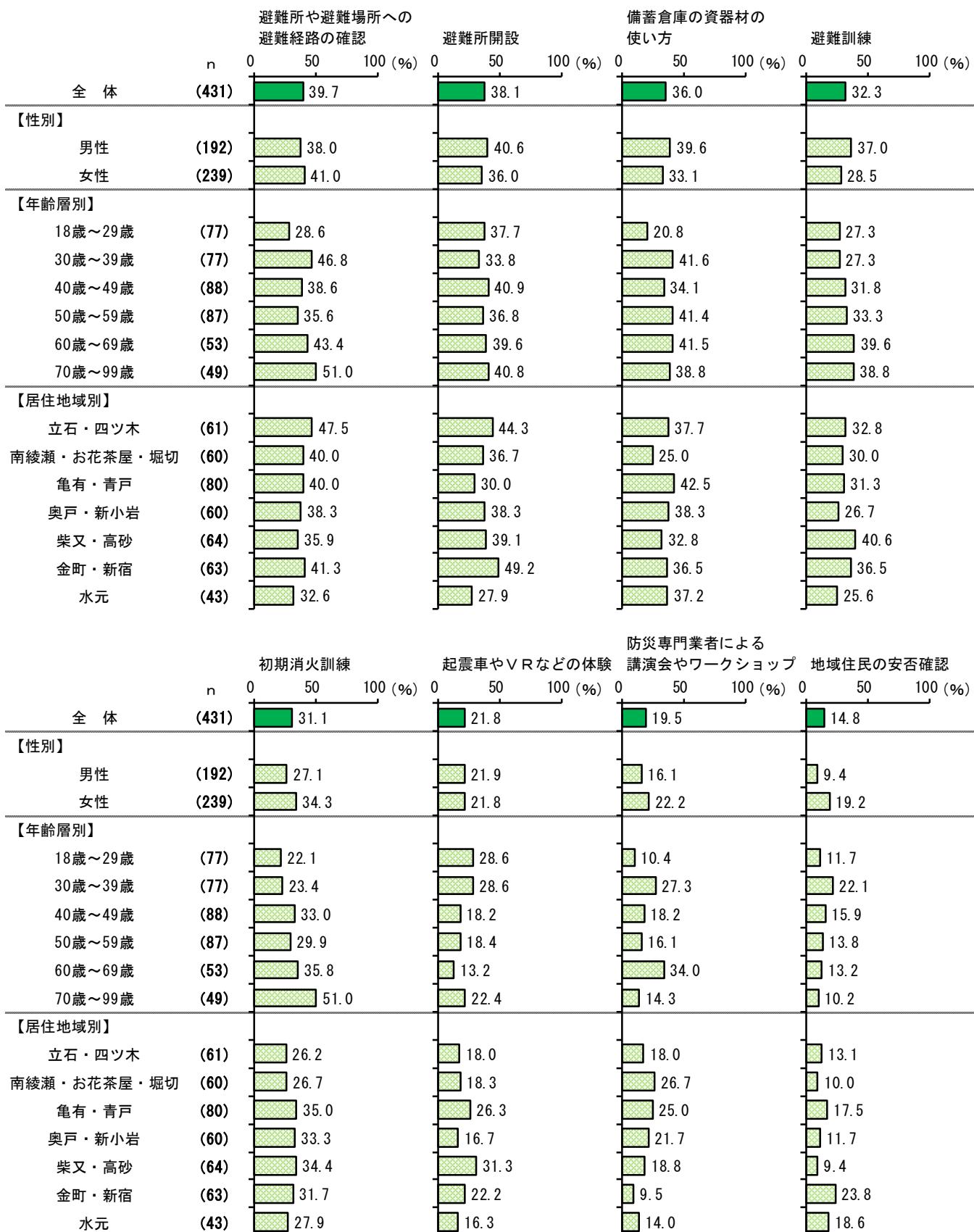
今後参加したい防災訓練の内容【全体】

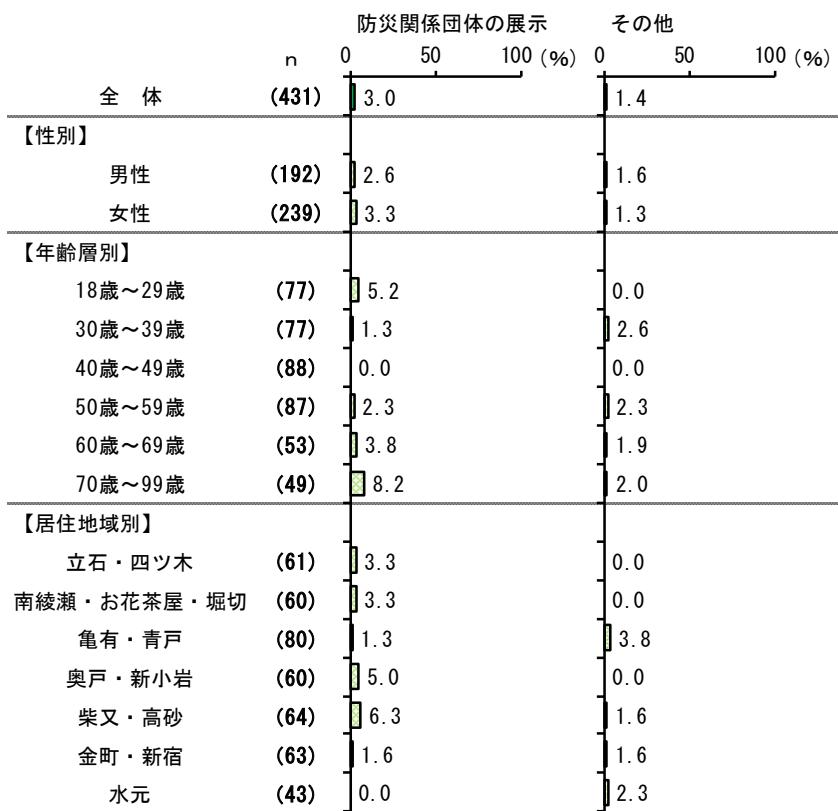


今後参加したい防災訓練の内容は、「避難所や避難場所への避難経路の確認」が 39.7%で最も高く、次いで「避難所開設」が 38.1%、「備蓄倉庫の資器材の使い方」が 36.0%、「避難訓練」が 32.3%、「初期消火訓練」が 31.1%と続いている。

「その他」の内容としては、「非常食の試食イベント」「負傷者の救護」「荒川氾濫のシミュレーション」「参加できないので、配信サービスをしてほしい」などがあった。

今後参加したい防災訓練の内容【全体、性別、年齢層別、居住地域別】





性別でみると、「地域住民の安否確認」は【女性】が 19.2%と、【男性】(9.4%) よりも 9.8 ポイント高くなっている。一方、「避難訓練」は【男性】が 37.0%と、【女性】(28.5%) よりも 8.5 ポイント高くなっている。

年齢層別でみると、「初期消火訓練」は【70 歳～99 歳】が 51.0%、「防災専門業者による講演会やワークショップ」は【60 歳～69 歳】が 34.0%と、他の区分に比べ高くなっている。一方、「備蓄倉庫の資器材の使い方」は【18 歳～29 歳】が 20.8%と、他の区分に比べ低くなっている。

居住地域別でみると、「避難所開設」は【金町・新宿】が 49.2%と、他の区分に比べ高くなっている。一方、「備蓄倉庫の資器材の使い方」は【南綾瀬・お花茶屋・堀切】が 25.0%と、他の区分に比べ低くなっている。

第3章 調査結果（葛飾区立図書館の運営について）

テーマ3 葛飾区立図書館の運営について

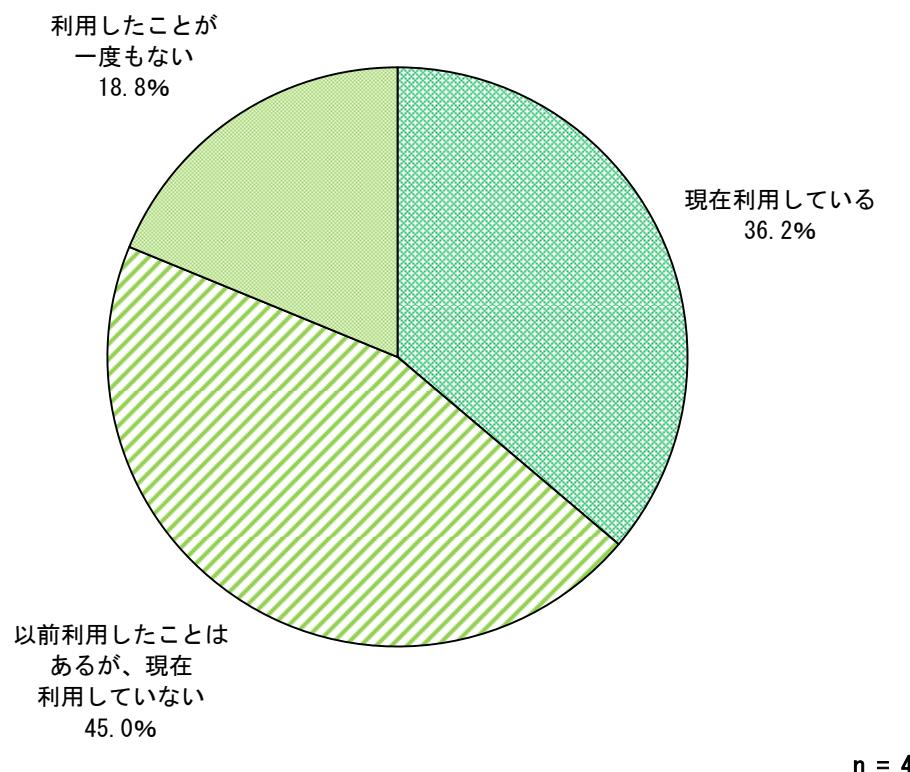
葛飾区立図書館では、これから図書館運営の指針として令和6年3月に「葛飾区立図書館の基本的な考え方【取組方針】」を策定しました。「いつでも、どこでも、だれにでも区民の拠り所となる図書館」を目指し、電子書籍の充実などICTを活用した非来館者サービスについて検討を進めています。

今後の区民の利便性向上を図るため、新しい図書館サービスについて、区民の皆様のご意見を伺います。

(25) 葛飾区立図書館の利用の有無

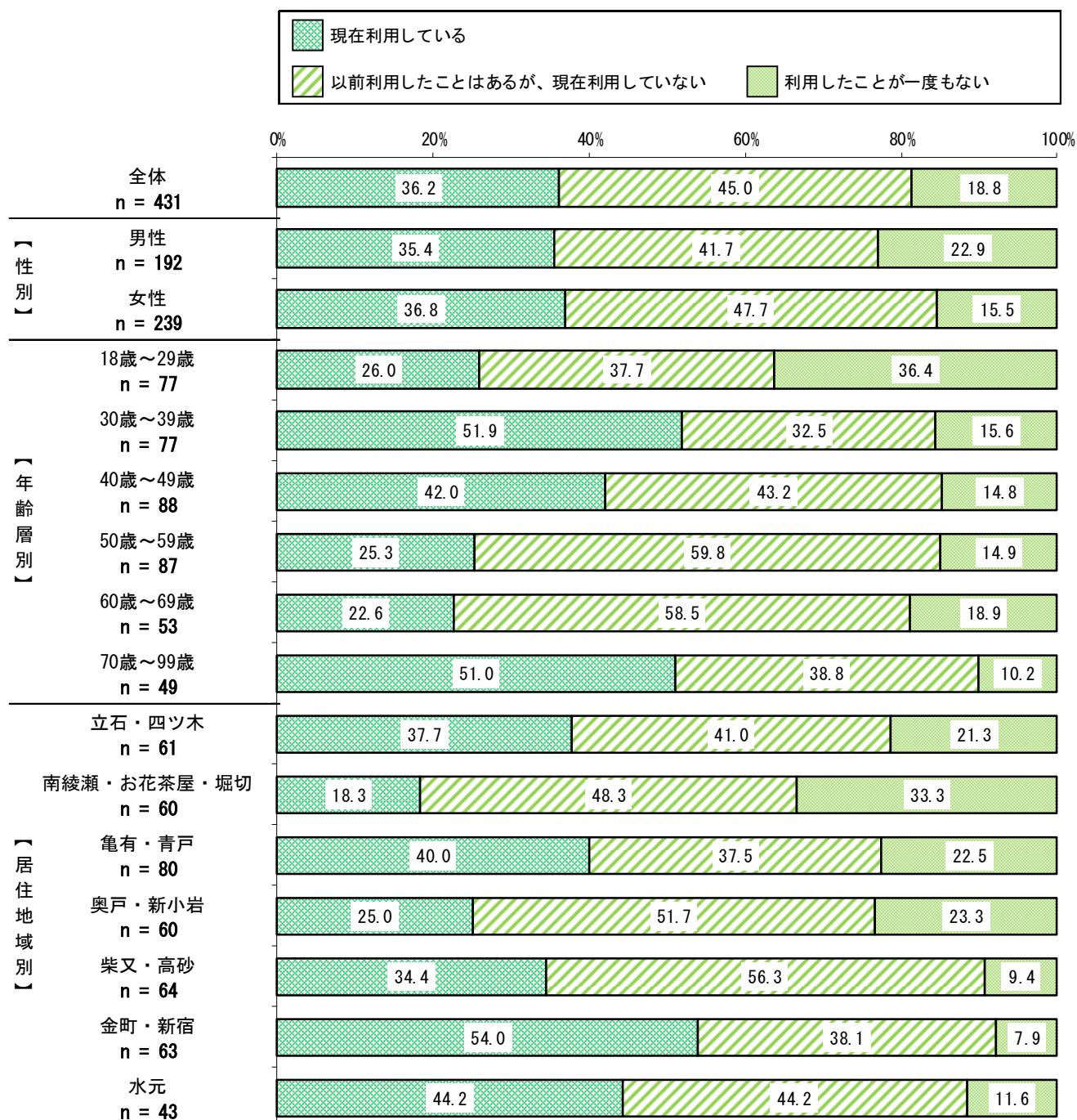
問 25. 葛飾区立図書館を利用したことはありますか。（1つ選択）

葛飾区立図書館の利用の有無【全体】



葛飾区立図書館の利用の有無は、「現在利用している」が 36.2%、「以前利用したことはあるが、現在利用していない」が 45.0%となっている。

葛飾区立図書館の利用の有無【全体、性別、年齢層別、居住地域別】



性別でみると、「利用したことが一度もない」は【男性】が 22.9% と、【女性】(15.5%) よりも 7.4 ポイント高くなっている。

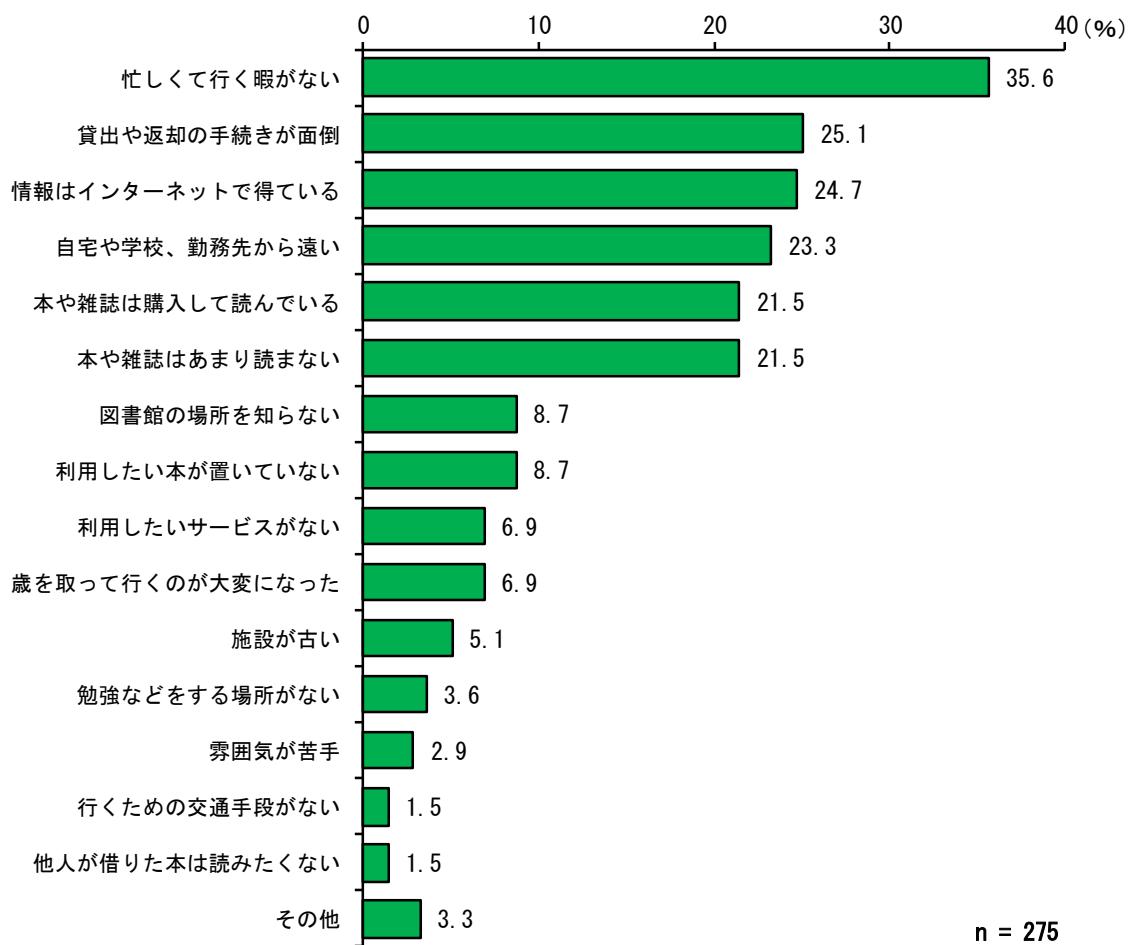
年齢層別でみると、「現在利用している」は【30歳～39歳】が 51.9%、「以前利用したことはあるが、現在利用していない」は【50歳～59歳】は 59.8%、【60歳～69歳】が 58.5%、「利用したことが一度もない」は【18歳～29歳】が 36.4% と、他の区分に比べ高くなっている。

居住地域別でみると、「現在利用している」は【金町・新宿】が 54.0% と、他の区分に比べ高く、【南綾瀬・お花茶屋・堀切】が 18.3% と、他の区分に比べ低くなっている。

(26) 葛飾区立図書館を利用していない理由

問 26. 問 25 で「以前利用したことはあるが、現在利用していない」「利用したことが一度もない」と答えた方に伺います。
その理由はなぜですか。（複数選択可）

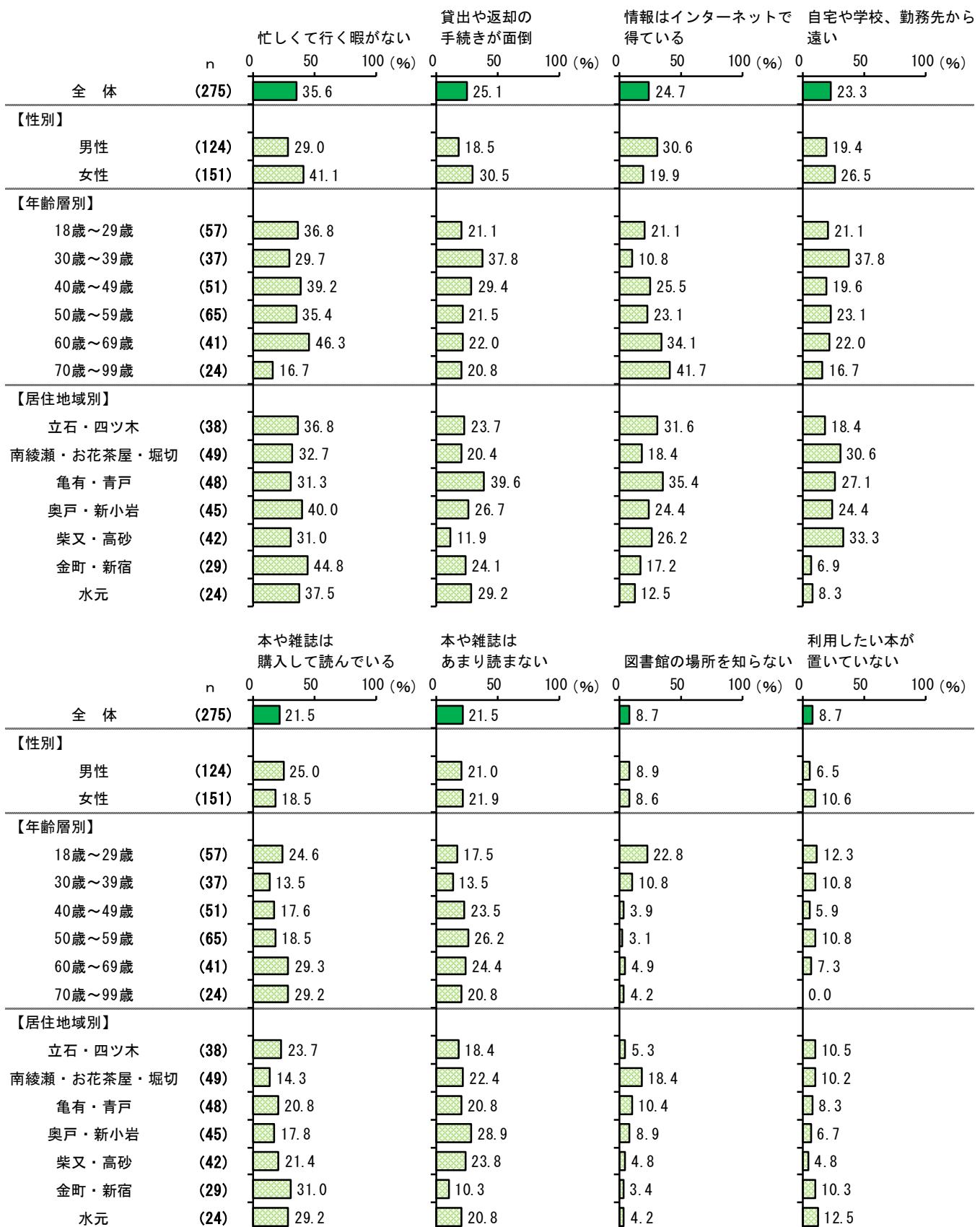
葛飾区立図書館を利用していない理由【全体】

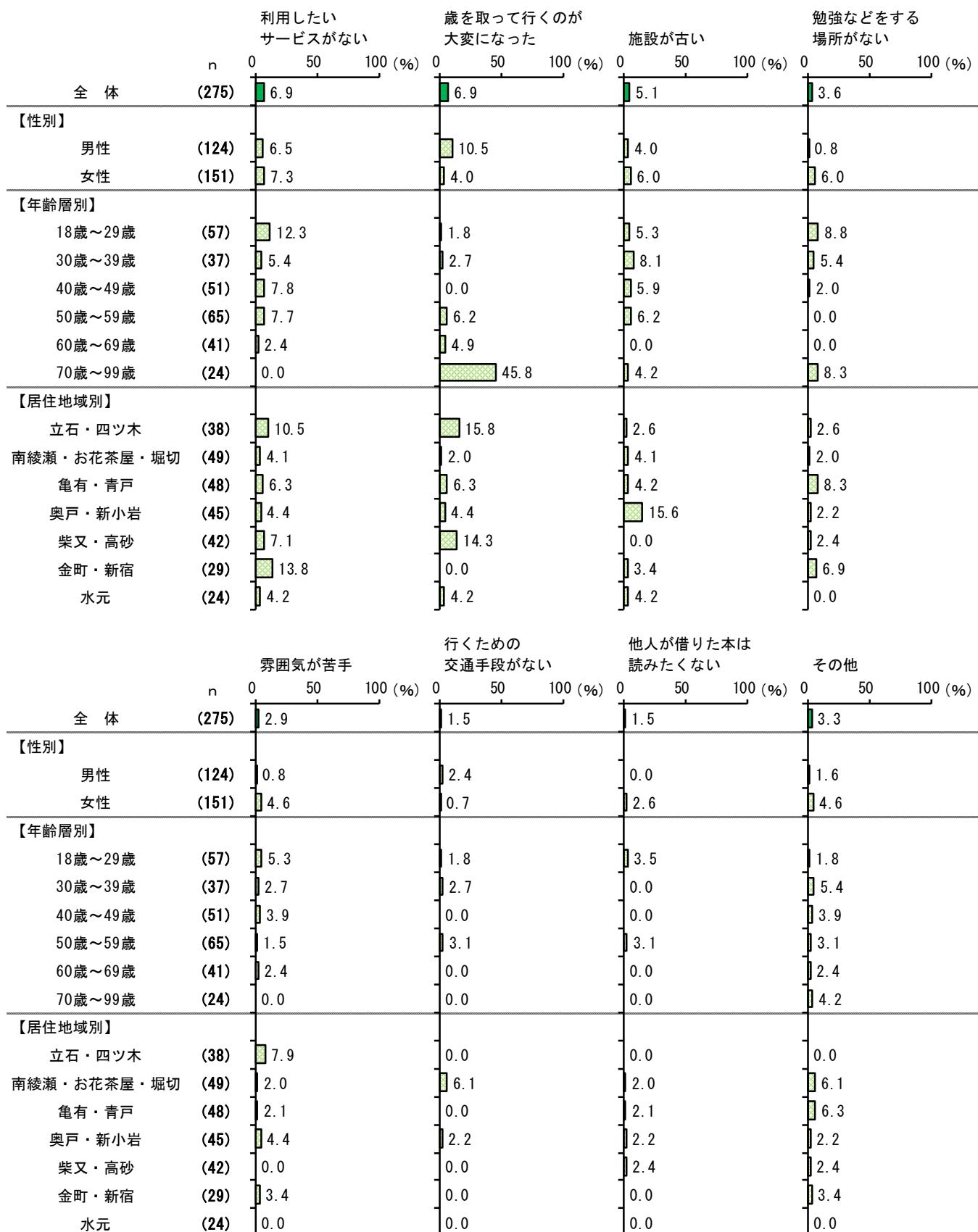


葛飾区立図書館を利用していない理由は、「忙しくて行く暇がない」が 35.6% で最も高く、次いで「貸出や返却の手続きが面倒」が 25.1%、「情報はインターネットで得ている」が 24.7%、「自宅や学校、勤務先から遠い」が 23.3%、「本や雑誌は購入して読んでいる」及び「本や雑誌はあまり読まない」がともに 21.5% と続いている。

「その他」の内容としては、「ネットで入館手続きをして行ったが、行った図書館では手続きの確認が出来なくて入れなかった」「借りたい本が貸し出し中のことが多い」「座っていい席なのか、予約制で座ってはいけないのか、よく分からなかった」「職員の質」「違う地域の図書館を利用しています」などがあった。

葛飾区立図書館を利用していない理由【全体、性別、年齢層別、居住地域別】





性別でみると、「忙しくて行く暇がない」は【女性】が 41.1%と、【男性】(29.0%) よりも 12.1 ポイント、「貸出や返却の手続きが面倒」は【女性】が 30.5%と、【男性】(18.5%) よりも 12.0 ポイント高くなっている。

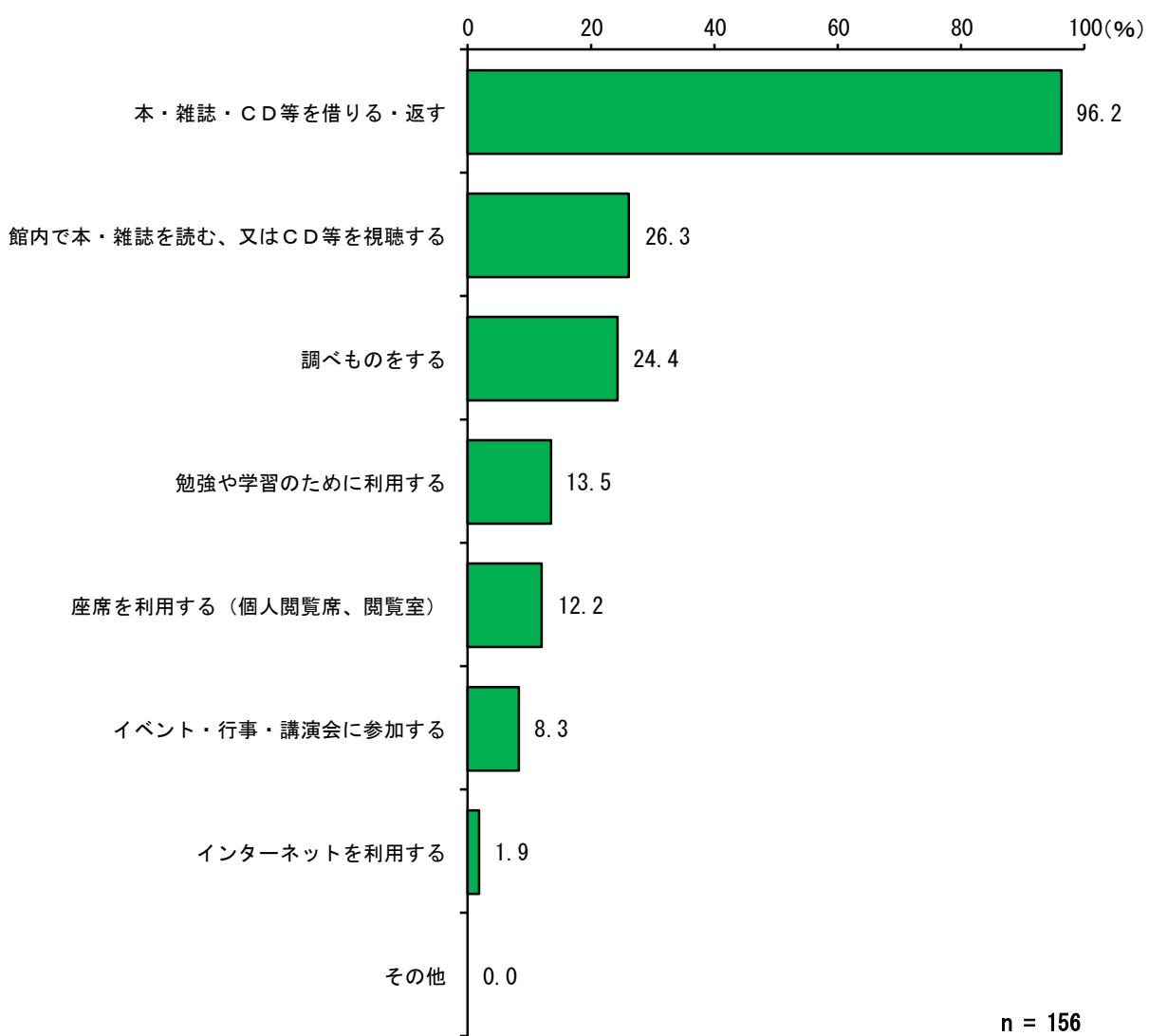
年齢層別でみると、「歳を取って行くのが大変になった」は【70 歳～99 歳】が 45.8%と、他の区分に比べ高くなっている。

居住地域別でみると、「貸出や返却の手続きが面倒」は【亀有・青戸】が 39.6%と、他の区分に比べ高く、【柴又・高砂】が 11.9%と、他の区分に比べ低くなっている。

(27) 葛飾区立図書館を現在利用している目的

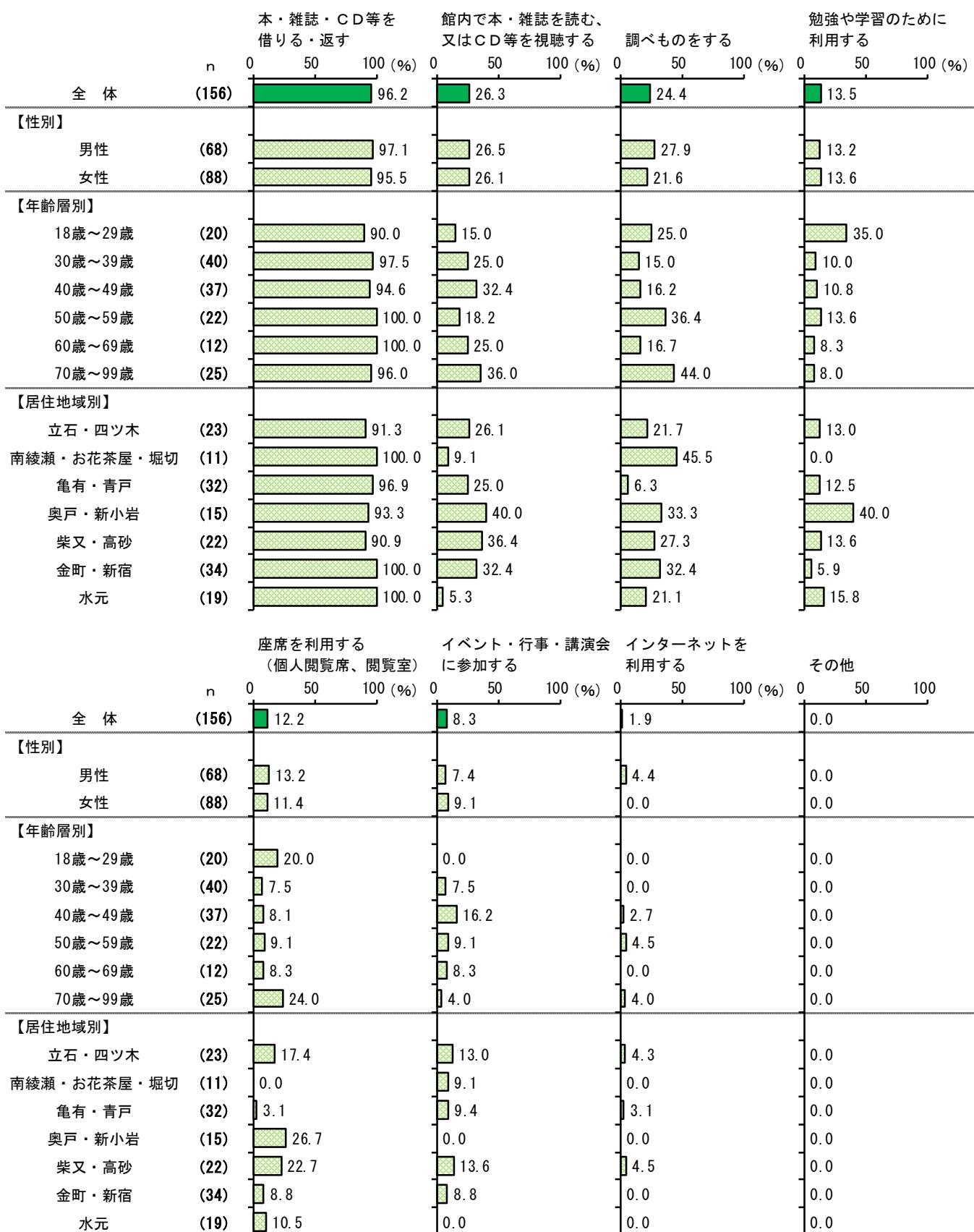
問 27. 問 25 で「現在利用している」と答えた方に伺います。
主な利用目的は何ですか。（3つまで選択可）

葛飾区立図書館を現在利用している目的【全体】



葛飾区立図書館を現在利用している目的は、「本・雑誌・CD等を借りる・返す」が96.2%で最も高くなっている。

葛飾区立図書館を現在利用している目的【全体、性別、年齢層別、居住地域別】



性別でみると、「調べものをする」は【男性】が 27.9% と、【女性】(21.6%) よりも 6.3 ポイント高くなっている。

年齢層別でみると、「勉強や学習のために利用する」は【18歳～29歳】が35.0%と、他の区分に比べ高くなっている。「調べものをする」は【70歳～99歳】が44.0%と、他の区分に比べ高くなっている。

居住地域別でみると、「館内で本・雑誌を読む、又はCD等を視聴する」は【水元】が5.3%、【南綾瀬・お花茶屋・堀切】が9.1%と、他の区分に比べ低くなっている。一方、「勉強や学習のために利用する」は【奥戸・新小岩】が40.0%と、他の区分に比べ高くなっている。

(28) 葛飾区立図書館ホームページの利用の有無

問 28. 葛飾区立図書館ホームページを利用したことはありますか。（1つ選択）

[参考]：葛飾区立図書館ホームページ

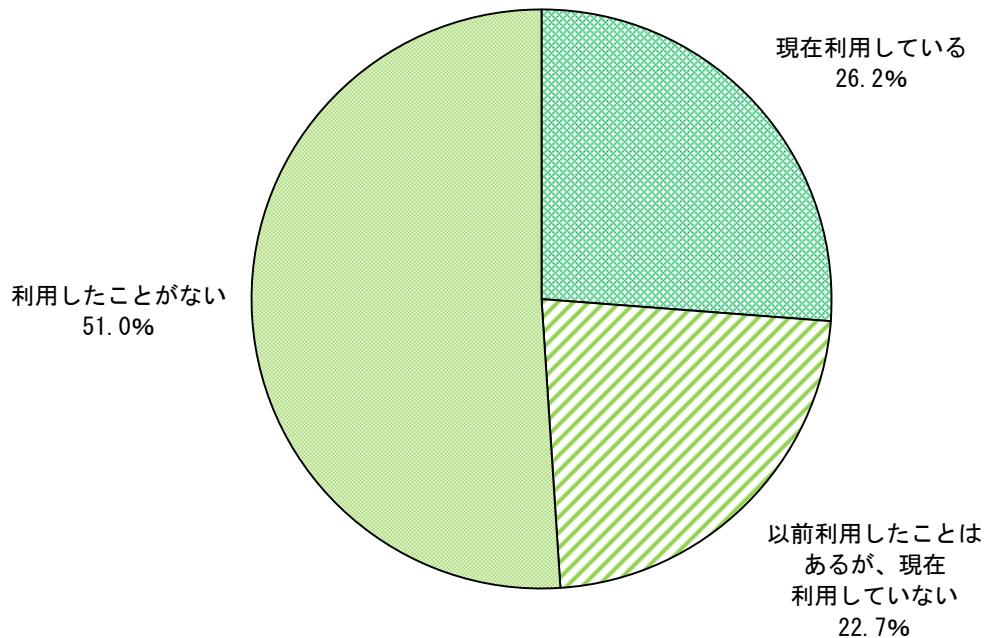
URL : <https://www.lib.city.katsushika.lg.jp/>



葛飾区立図書館ホームページでは、資料の検索、予約の他、各図書館開館情報の確認やイベント情報など図書館に関わる様々な情報を確認することができます。

※予約など一部の機能を利用するには、葛飾区立図書館の利用登録をすることで取得できる利用者 ID とパスワードが必要です。

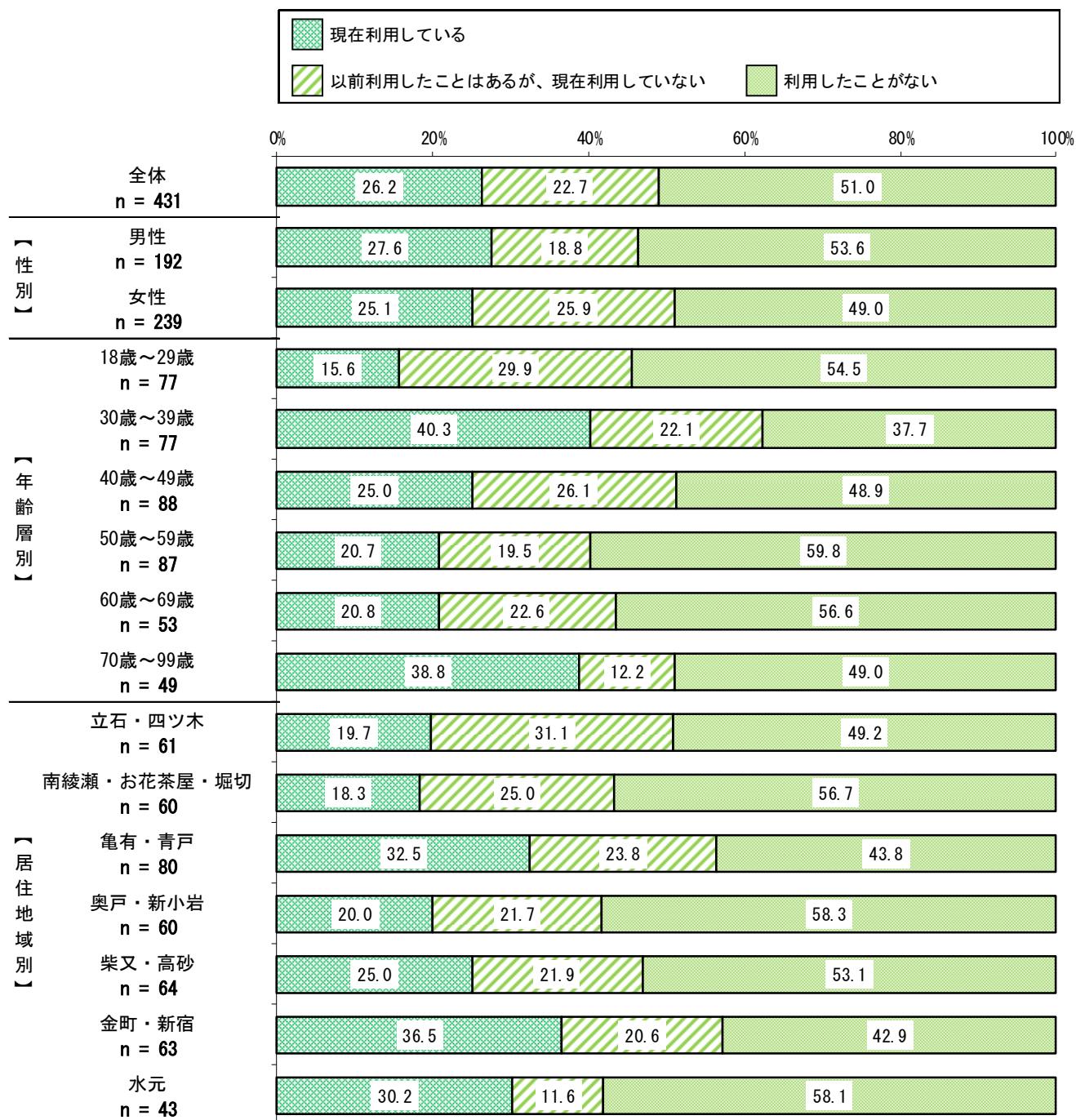
葛飾区立図書館ホームページの利用の有無【全体】



n = 431

葛飾区立図書館ホームページの利用の有無は、「現在利用している」が 26.2%、「以前利用したことはあるが、現在利用していない」が 22.7%、「利用したことがない」が 51.0% となっている。

葛飾区立図書館ホームページの利用の有無【全体、性別、年齢層別、居住地域別】



性別でみると、「以前利用したことはあるが、現在利用していない」は【女性】が 25.9% と、【男性】(18.8%) よりも 7.1 ポイント高くなっている。

年齢層別でみると、「現在利用している」は【30 歳～39 歳】が 40.3% と、他の区分に比べ高く、【18 歳～29 歳】が 15.6% と、他の区分に比べ低くなっている。

居住地域別でみると、「現在利用している」は【金町・新宿】が 36.5% と、他の区分に比べ高くなっている。一方、「以前利用したことはあるが、現在利用していない」は【水元】が 11.6% と、他の区分に比べ低くなっている。

(29) 葛飾区立図書館のオンラインによる利用登録の認知度

問 29. 葛飾区民の方であればオンラインで葛飾区立図書館の利用登録ができるとことを知っていますか。(1つ選択)

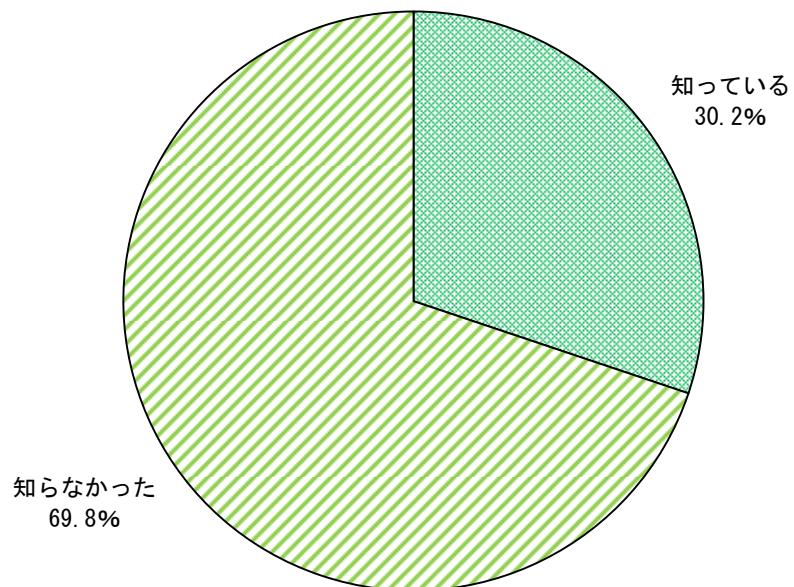
[参考] : オンライン利用登録申込について

URL : <https://www.lib.city.katsushika.lg.jp/contents?2&pid=7981>



上記のURLから利用登録に進むことができます。オンライン利用登録が利用できるのは、中学生以上の葛飾区民で、現在利用登録をしていない方のみです。個人情報を確認する関係上、画像にて健康保険証、運転免許証、マイナンバーカードなど、現住所が記載されている有効期限内の公的証明書の添付が必要です。詳細は、上記URLからホームページをご覧ください。

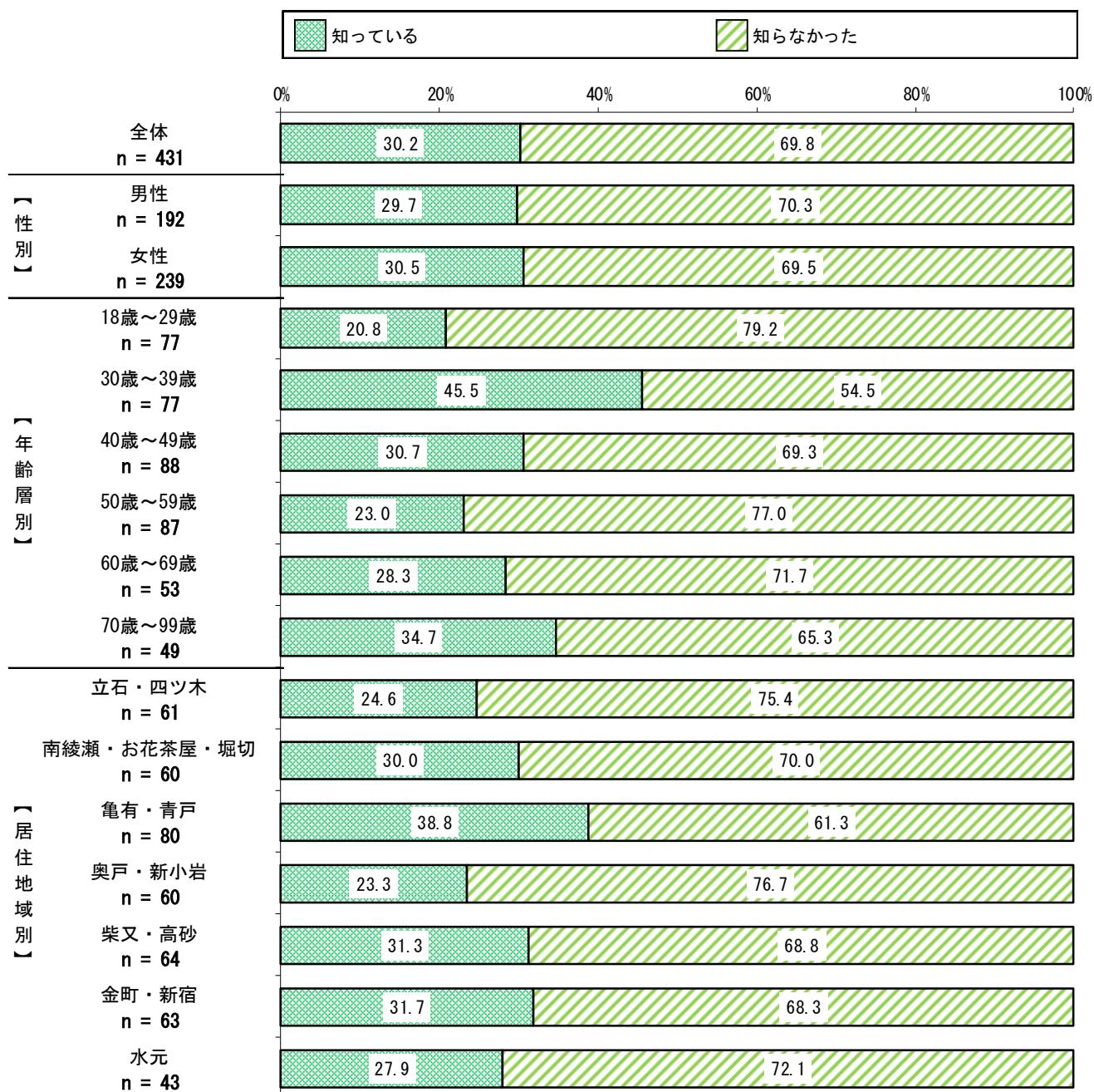
葛飾区立図書館のオンラインによる利用登録の認知度【全体】



n = 431

葛飾区立図書館のオンラインによる利用登録の認知度は、「知っている」が 30.2%、「知らなかった」が 69.8% となっている。

葛飾区立図書館のオンラインによる利用登録の認知度【全体、性別、年齢層別、居住地域別】



性別による大きな差はみられない。

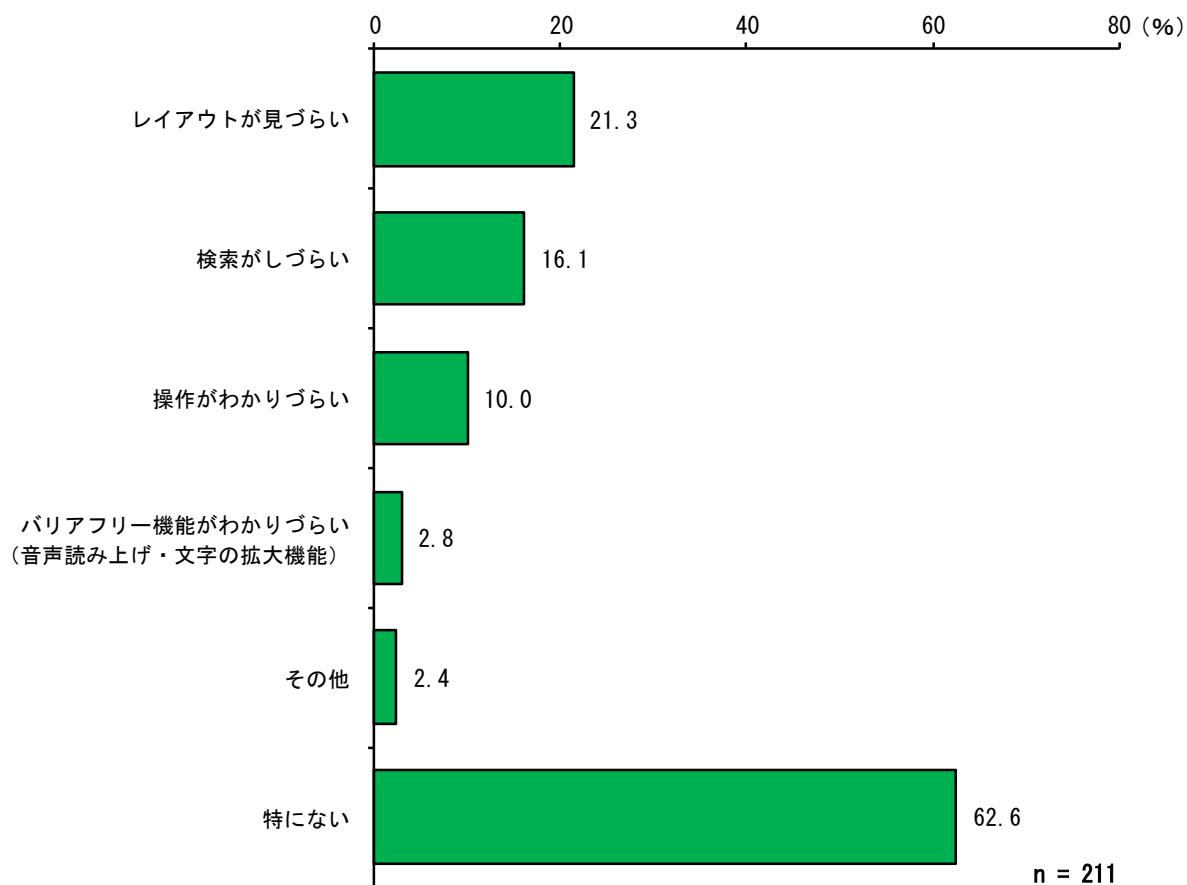
年齢層別でみると、「知っている」は【30歳～39歳】が45.5%と、他の区分に比べ高くなっている。

居住地域でみると、「知っている」は【亀有・青戸】が38.8%と、他の区分に比べ高くなっている。

(30) 葛飾区立図書館ホームページの不便な点

問 30. 問 28 で「現在利用している」「以前利用したことはあるが、現在利用していない」と答えた方に伺います。
葛飾区立図書館ホームページの不便な点を教えてください。（複数選択可）

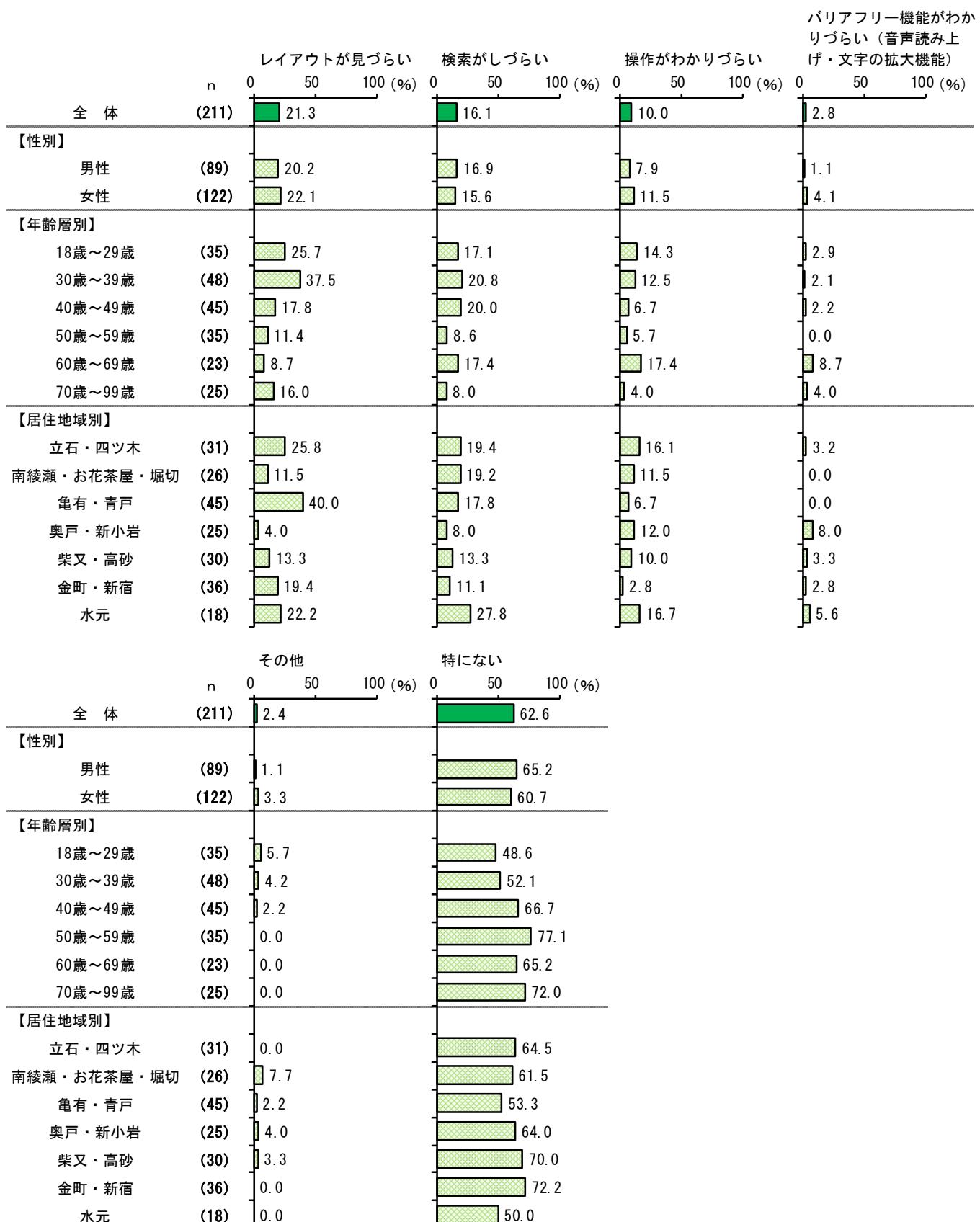
葛飾区立図書館ホームページの不便な点【全体】



葛飾区立図書館ホームページの不便な点は、「特にない」が 62.6% となっている。一方、「レイアウトが見づらい」が 21.3%、「検索がしづらい」が 16.1% となっている。

「その他」の内容としては、「予約や貸出の本が常に何冊かログインしたら表示してほしい。予約の途中で後何冊借りられるか、予約できるかわからなくなります。何冊予約しているか、借りているか、ぱっとリアルタイムでわかるよう希望します。当日の各図書館の開館時間だけでなく、翌日のボタンを押したら、翌日の各図書館の開館時間を表示してほしい。」「借りている本を延長したい時に、まとめて延長申請できる一括ボタンがあると嬉しいです。1冊1冊ページを行ったり来たりして延長申請ボタン押すのは本の数が多いと大変です。」「電子書籍の量が少ない」「表紙イメージ画像の無い本が多く想像がつかない」などがあった。

葛飾区立図書館ホームページの不便な点【全体、性別、年齢層別、居住地域別】



性別による大きな差はみられない。

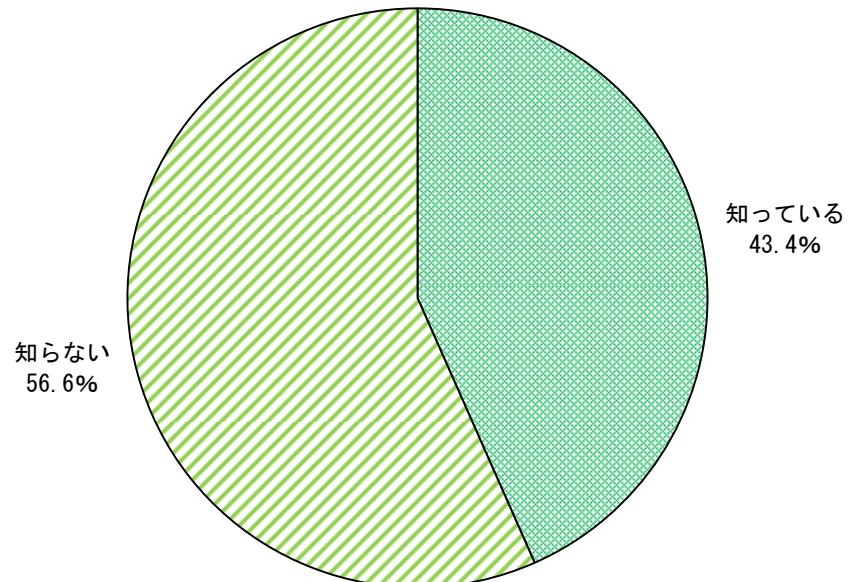
年齢層別でみると、「レイアウトが見づらい」は【30歳～39歳】が37.5%と、他の区分に比べ高くなっている。

居住地域別でみると、「レイアウトが見づらい」は【亀有・青戸】が40.0%と、他の区分に比べ高くなっている。

(31) ホームページで資料の予約できることを知っているか

問 31. 葛飾区立図書館ホームページで資料の予約ができるることを知っていますか。
(1つ選択)

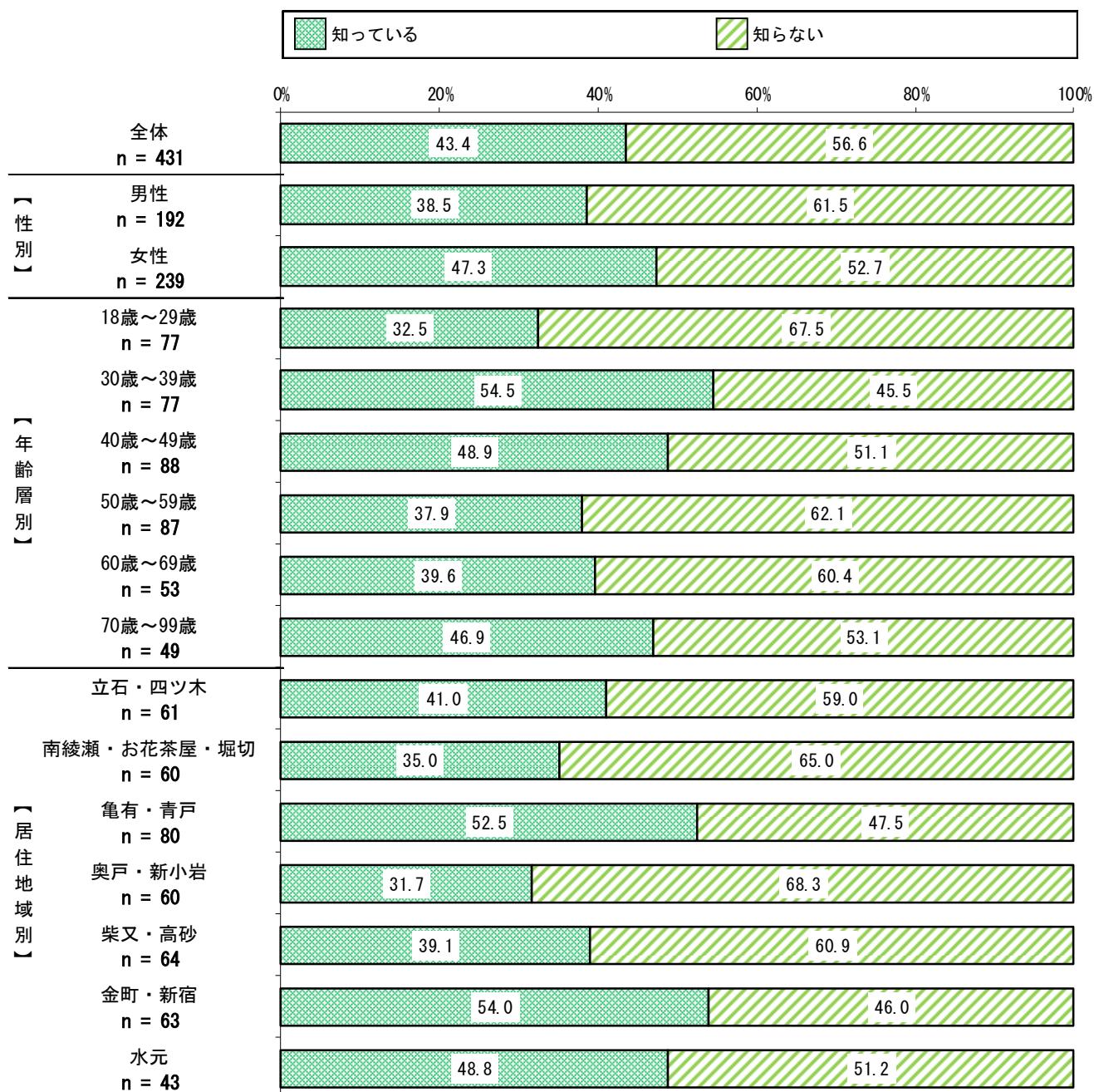
ホームページで資料の予約できることを知っているか【全体】



n = 431

ホームページで資料の予約できることを知っているか、「知っている」が 43.4%、「知らない」が 56.6% となっている。

ホームページで資料の予約できることを知っているか【全体、性別、年齢層別、居住地域別】



性別でみると、「知っている」は【女性】が 47.3% と、【男性】(38.5%) よりも 8.8 ポイント高くなっている。

年齢層別でみると、「知っている」は【30 歳～39 歳】が 54.5% と、他の区分に比べ高く、【18 歳～29 歳】が 32.5% と、他の区分に比べ低くなっている。

居住地域別でみると、「知っている」は【金町・新宿】が 54.0% と、他の区分に比べ高く、【奥戸・新小岩】が 31.7% と、他の区分に比べ低くなっている。

(32) 葛飾区立図書館電子書籍サービスの認知度

問 32. 葛飾区立図書館電子書籍サービスを知っていますか。（1つ選択）

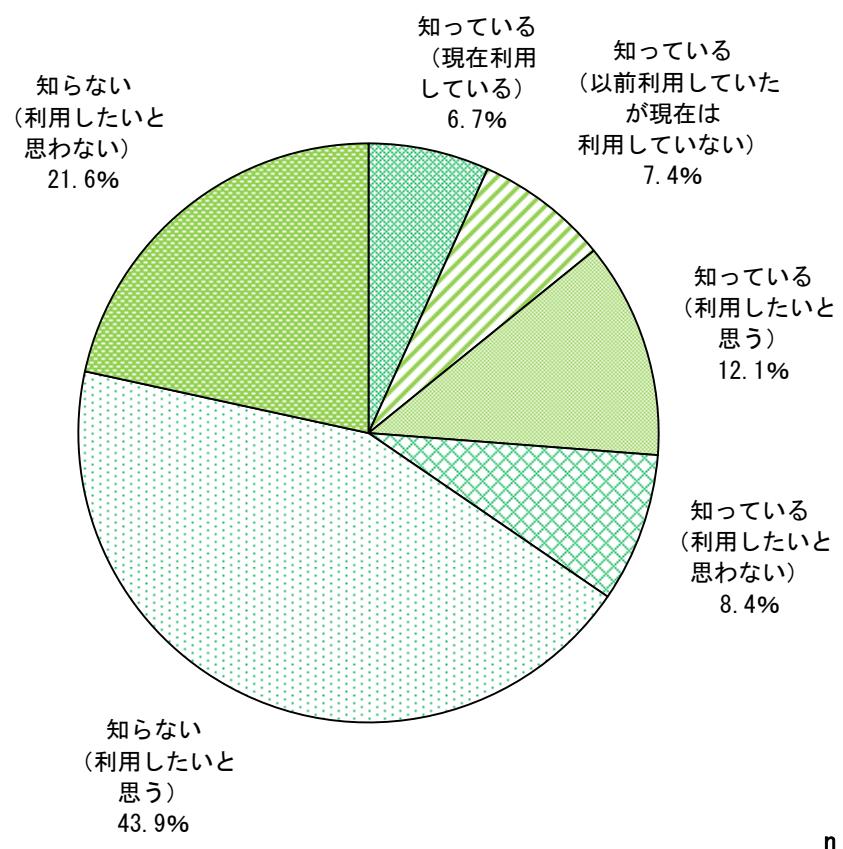
[参考]：葛飾区立図書館電子書籍サービス

URL：<https://web.d-library.jp/katsushika/g0101/top/>



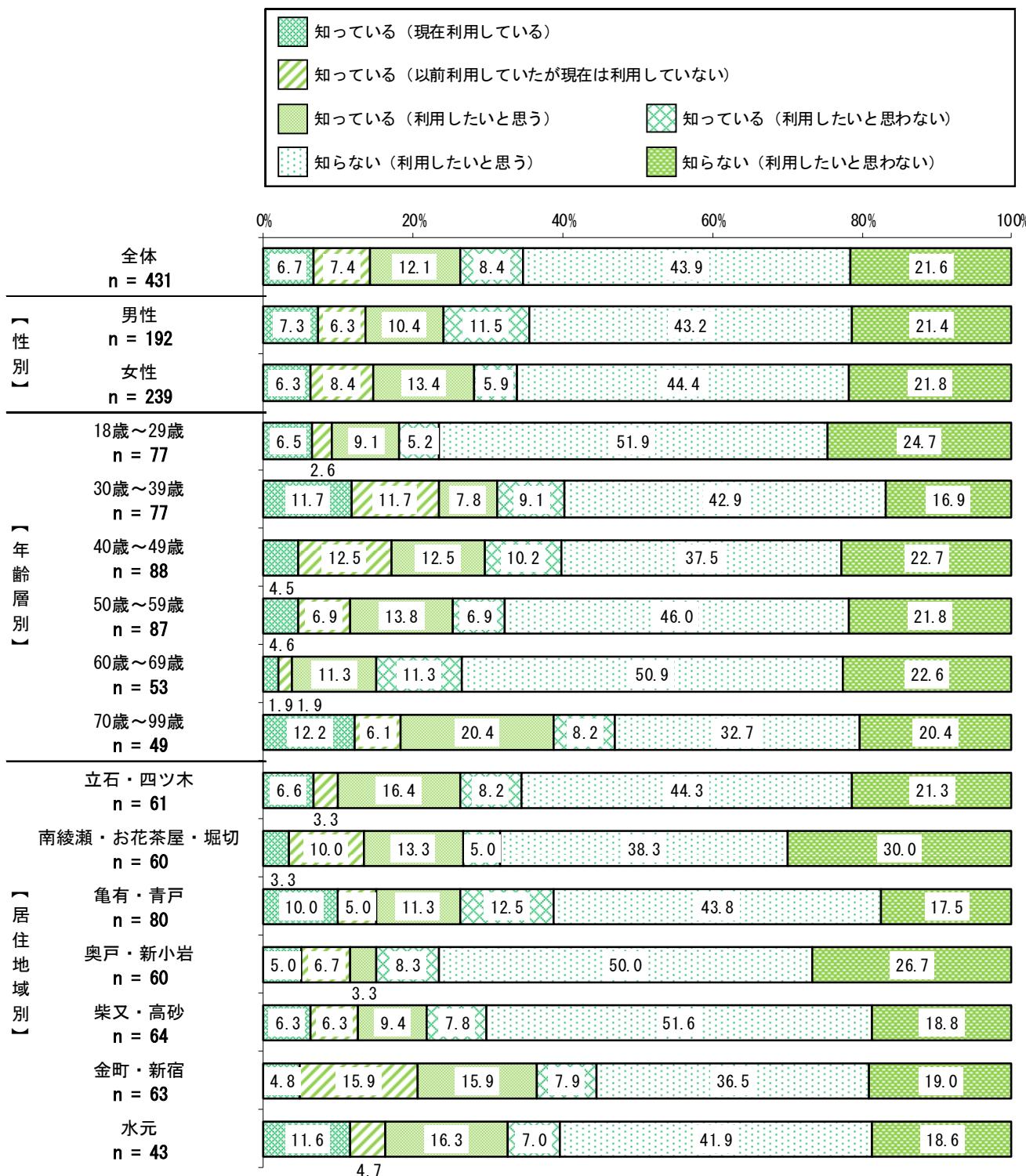
葛飾区立図書館の利用登録をしている方が利用できます。ご利用には利用者 ID（利用カードの番号）・パスワードが必要です。詳しくは上記 URL から「ご利用ガイド」をご確認ください。

葛飾区立図書館電子書籍サービスの認知度【全体】



葛飾区立図書館電子書籍サービスの認知度は、「知っている（現在利用している）」（6.7%）と「知っている（以前利用していたが現在は利用していない）」（7.4%）と「知っている（利用したいと思う）」（12.1%）と「知っている（利用したいと思わない）」（8.4%）を合わせた『知っている』が34.6%、「知らない（利用したいと思わない）」（21.6%）と「知らない（利用したいと思う）」（43.9%）を合わせた『知らない』が65.5%となっている。

葛飾区立図書館電子書籍サービスの認知度【全体、性別、年齢層別、居住地域別】



性別でみると、「知っている (利用したいと思わない)」は【男性】が 11.5% と、【女性】(5.9%) よりも 5.6 ポイント高くなっている。

年齢層別でみると、『知らない』は【18 歳～29 歳】が 76.6% と、他の区分に比べ高くなっている。

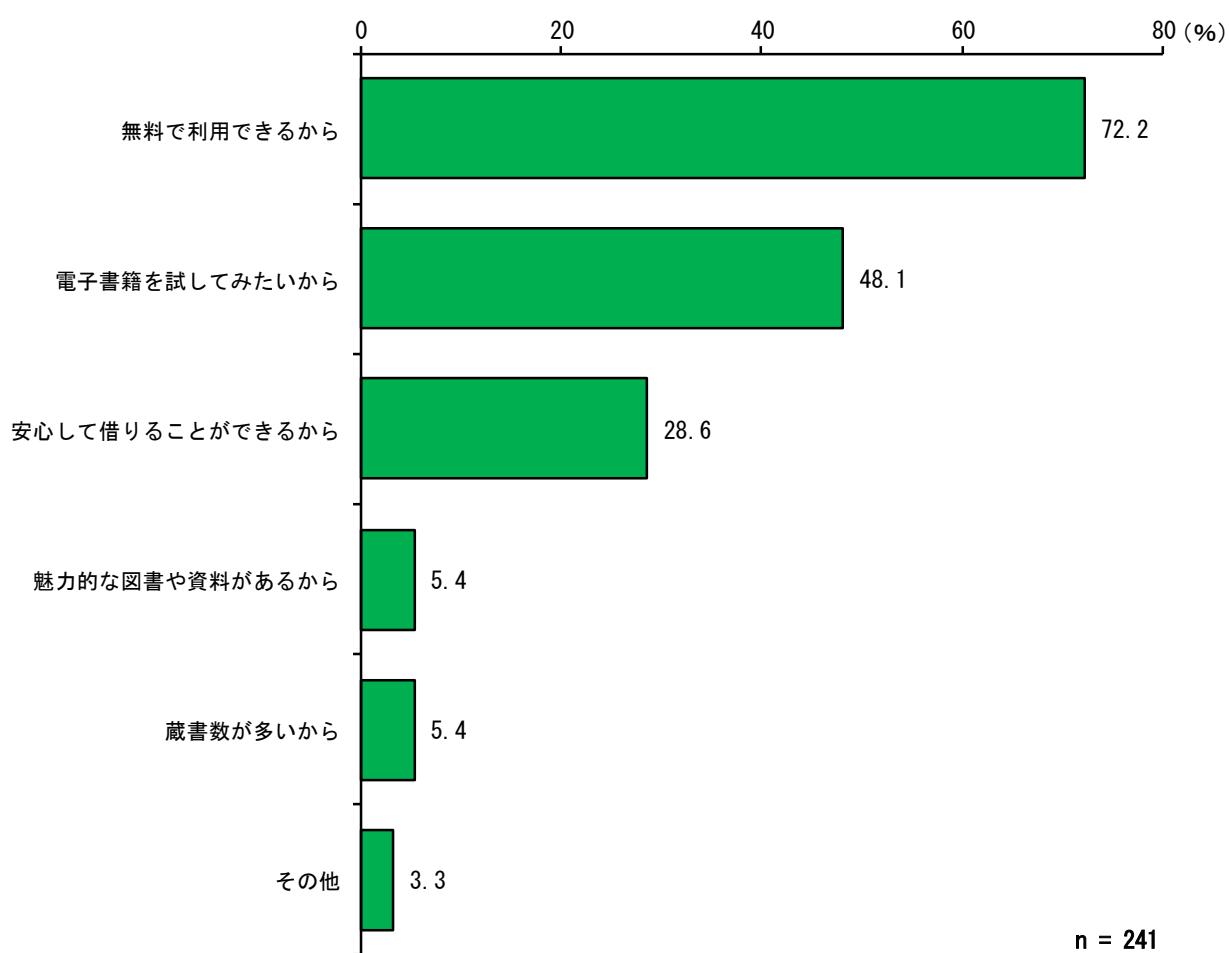
居住地域別でみると、『知らない』は【奥戸・新小岩】が 76.7% と、他の区分に比べ高くなっている。

(33) 葛飾区立図書館電子書籍サービスを利用したいと思う理由

問 33. 問 32 で「知っている（利用したいと思う）」「知らない（利用したいと思う）」と答えた方に伺います。

葛飾区立図書館電子書籍サービスを「利用したいと思う」理由を教えてください。
(複数選択可)

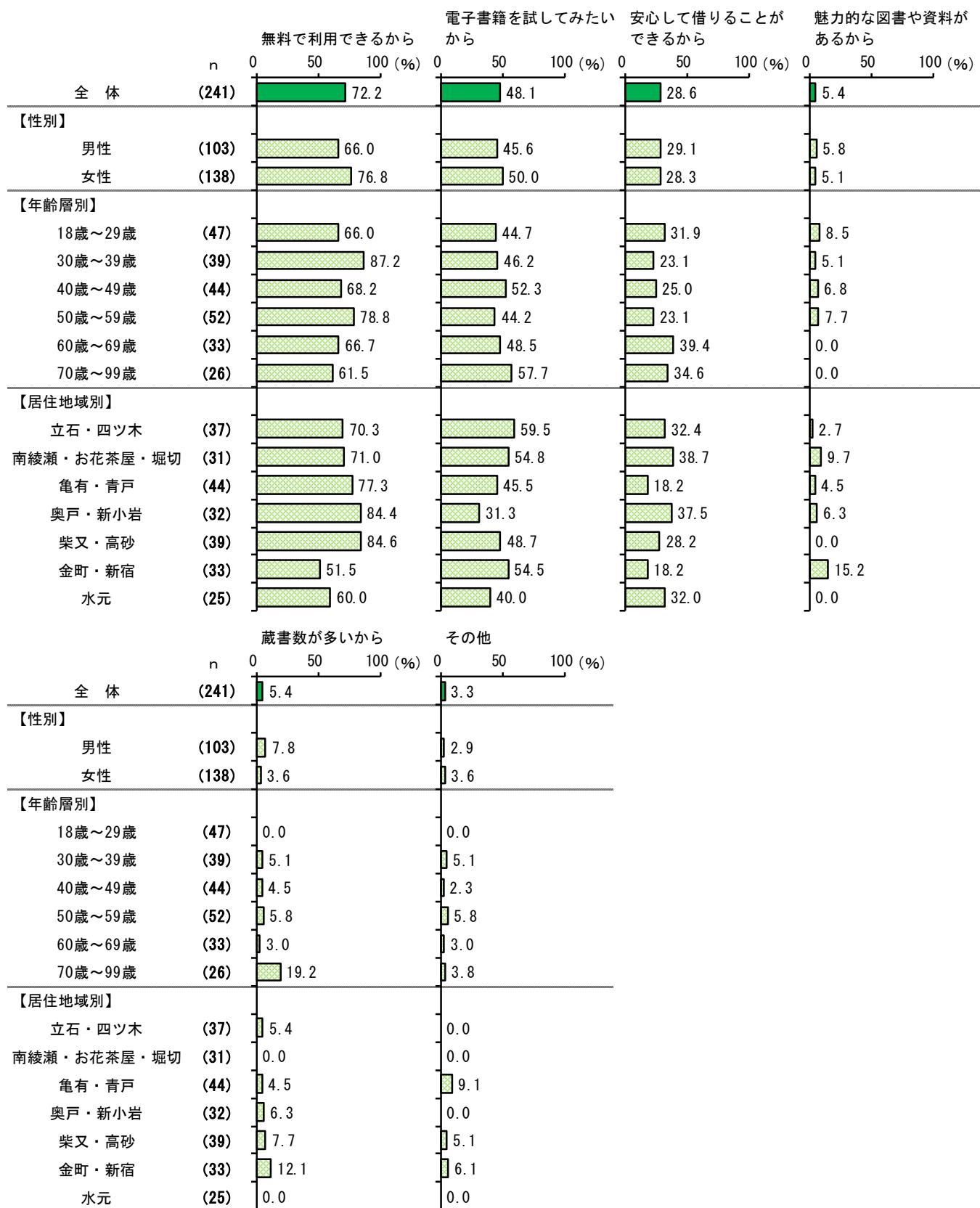
葛飾区立図書館電子書籍サービスを利用したいと思う理由【全体】



葛飾区立図書館電子書籍サービスを利用したいと思う理由は、「無料で利用できるから」が 72.2% で最も高く、次いで「電子書籍を試してみたいから」が 48.1%、「安心して借りることができるから」が 28.6% となっている。

「その他」の内容としては、「施設に直接出向く必要がないから」「魅力的な図書があるなら利用したい」「歳とともに目が悪くなってきたので、文字を大きく出来るなら、ぜひとも利用したい」「電子書籍であれば場所を取らないため」「借りに行く返しに行く手間が省けるから」などがあった。

葛飾区立図書館電子書籍サービスを利用したいと思う理由
【全体、性別、年齢層別、居住地域別】



性別でみると、「無料で利用できるから」は【女性】が 76.8%と、【男性】(66.0%) よりも 10.8 ポイント高くなっている。

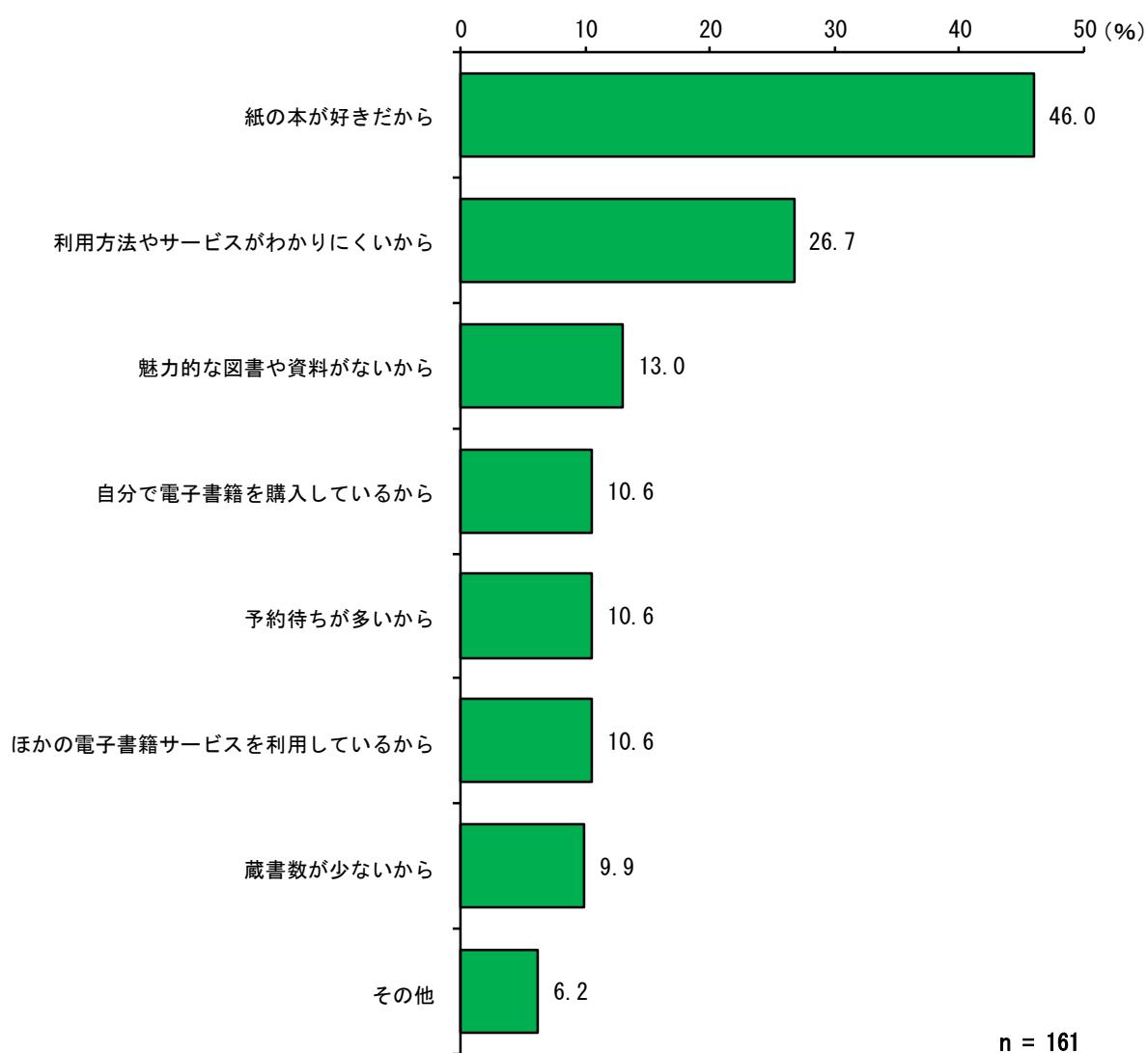
年齢層別でみると、「無料で利用できるから」は【30 歳～39 歳】が 87.2%と、他の区分に比べ高くなっている。「安心して借りることができるから」は【60 歳～69 歳】が 39.4%と、他の区分に比べ高くなっている。

居住地域別でみると、「無料で利用できるから」は【金町・新宿】が 51.5%と、他の区分に比べ低くなっている。

(34) 葛飾区立図書館電子書籍サービスを利用したいと思わない理由

問34. 問32で「知っている（以前利用していたが現在は利用していない）」「知っている（利用したいと思わない）」「知らない（利用したいと思わない）」と答えた方に伺います。葛飾区立図書館電子書籍サービスを「利用したいと思わない」理由を教えてください。（複数選択可）

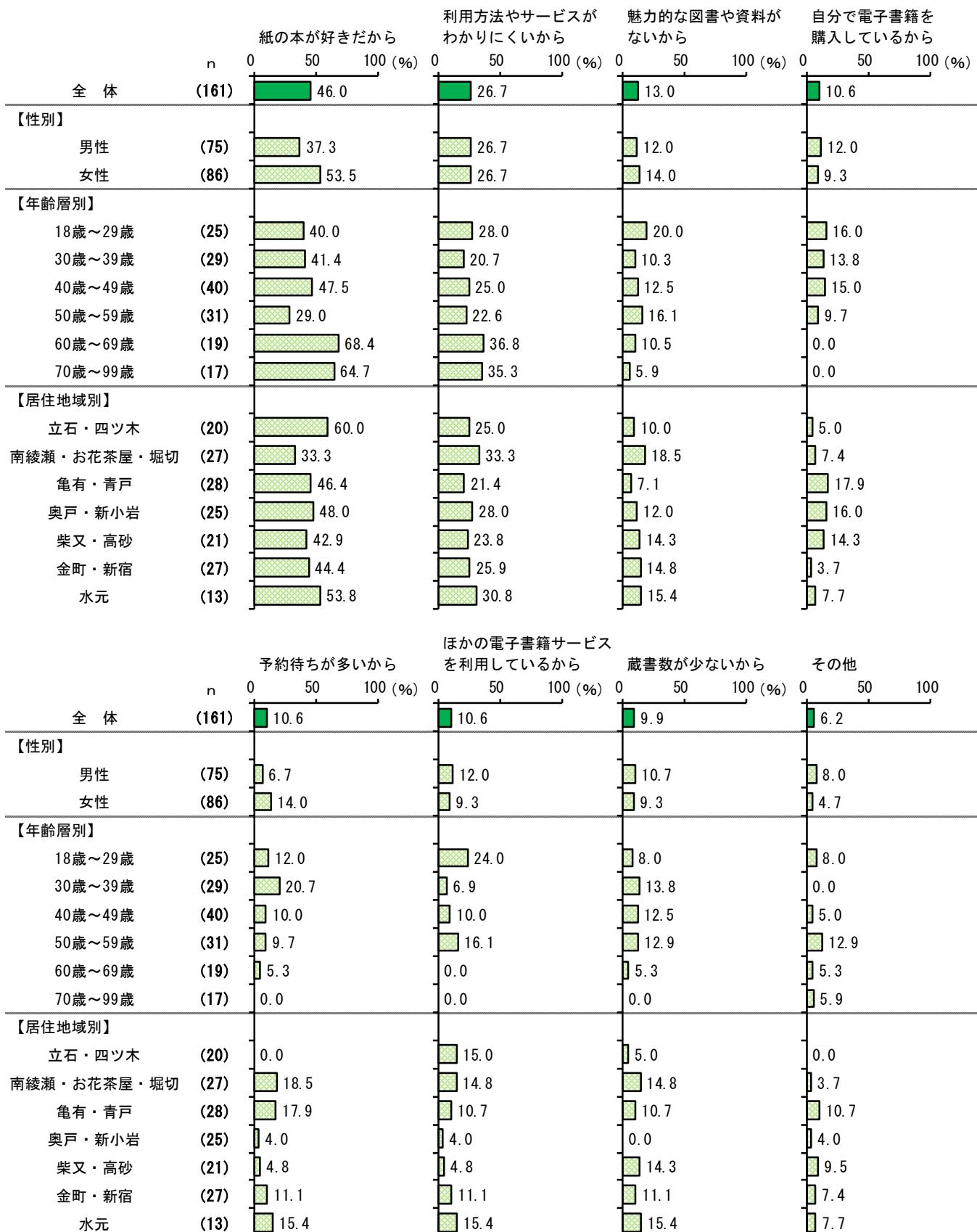
葛飾区立図書館電子書籍サービスを利用したいと思わない理由【全体】



葛飾区立図書館電子書籍サービスを利用したいと思わない理由は、「紙の本が好きだから」が 46.0% で最も高く、次いで「利用方法やサービスがわかりにくいから」が 26.7% となっている。

「その他」の内容としては、「老眼で読むのが面倒」「書籍に興味がない」「足立区の図書館が近くにあるから」「端末機を持っていない」「興味が無いから」などがあった。

葛飾区立図書館電子書籍サービスを利用したいと思わない理由
【全体、性別、年齢層別、居住地域別】



性別でみると、「紙の本が好きだから」は【女性】が 53.5%と、【男性】(37.3%) よりも 16.2 ポイント高くなっている。

年齢層別でみると、「紙の本が好きだから」は【50 歳～59 歳】が 29.0%と、他の区分に比べ低くなっている。一方、「ほかの電子書籍サービスを利用しているから」は【18 歳～29 歳】が 24.0%と、他の区分に比べ高くなっている。

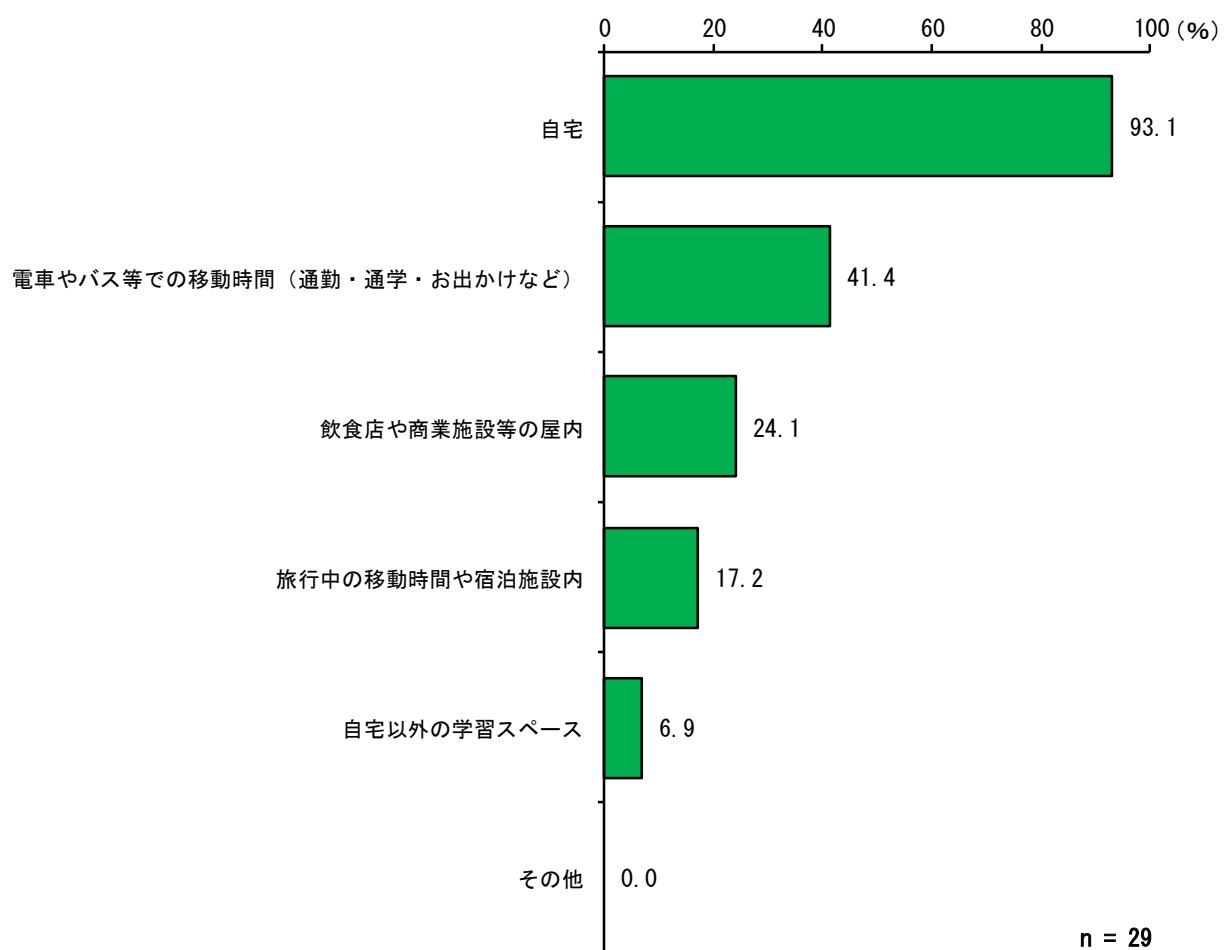
居住地域別でみると、「紙の本が好きだから」は【南綾瀬・お花茶屋・堀切】が 33.3%と、他の区分に比べ低くなっている。

(35) 借りた電子書籍を読む場所

問 35. 問 32 で「知っている（現在利用している）」と答えた方に伺います。

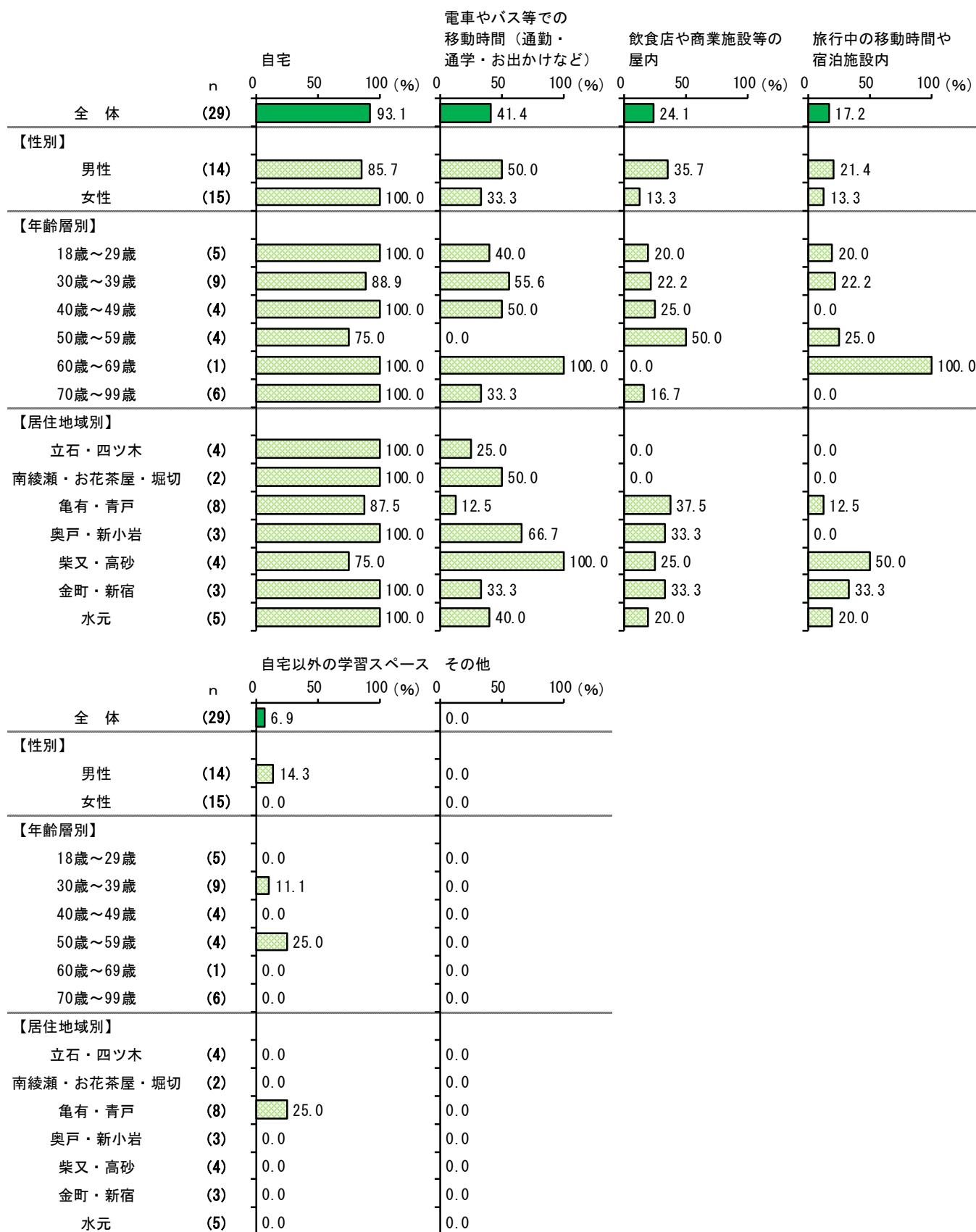
電子書籍を借りたとき、主にどこで読んでいますか。（3つまで選択可）

借りた電子書籍を読む場所【全体】



借りた電子書籍を読む場所は、「自宅」が 93.1%、「電車やバス等での移動時間（通勤・通学・お出かけなど）」が 41.4% となっている。

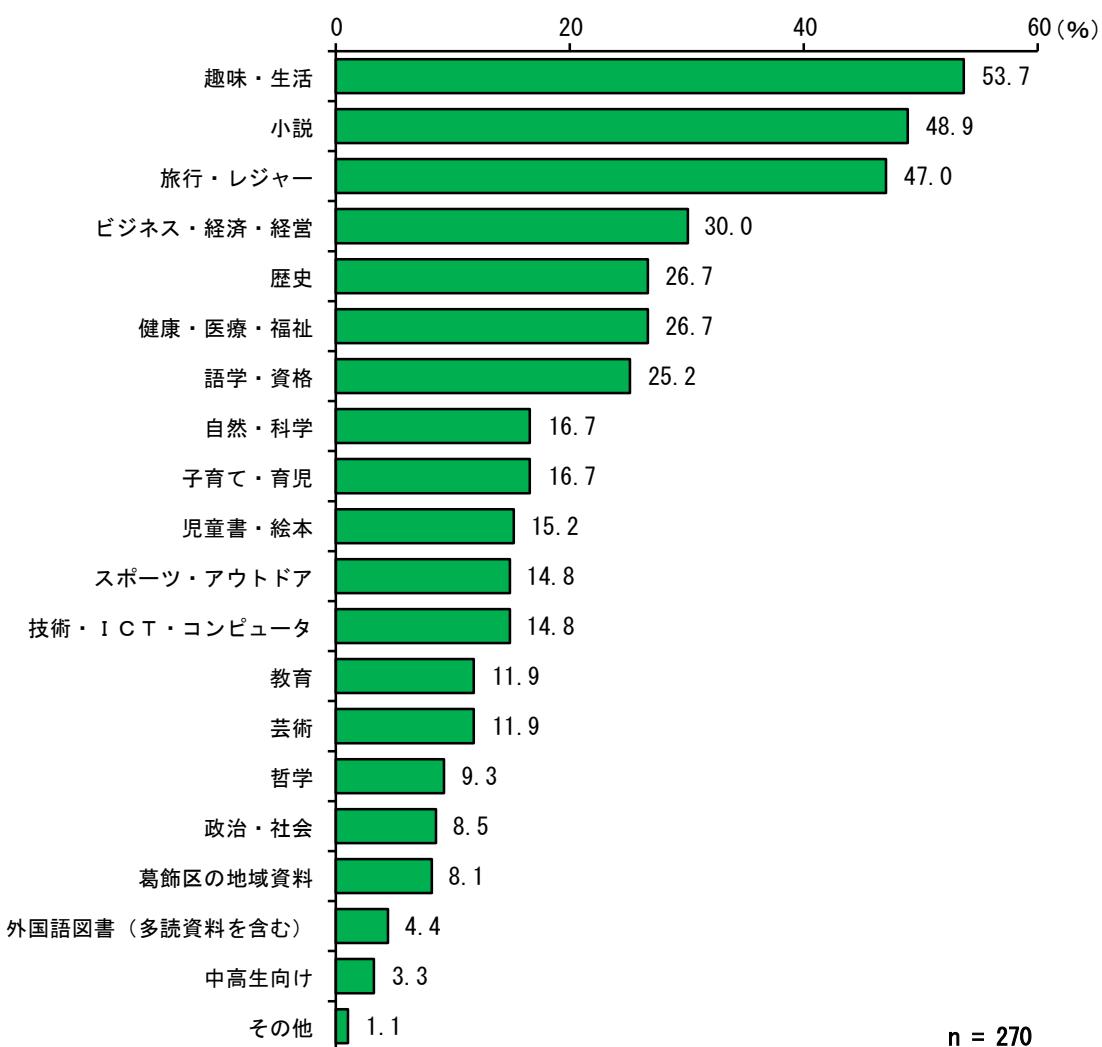
借りた電子書籍を読む場所【全体、性別、年齢層別、居住地域別】



(36) 葛飾区立図書館電子書籍サービスで利用したいジャンル

問36. 問32で「知っている（現在利用している）」「知っている（利用したいと思う）」「知らない（利用したいと思う）」と答えた方に伺います。
葛飾区立図書館電子書籍サービスで利用したいジャンルを選んでください。
(複数選択可)

葛飾区立図書館電子書籍サービスで利用したいジャンル【全体】

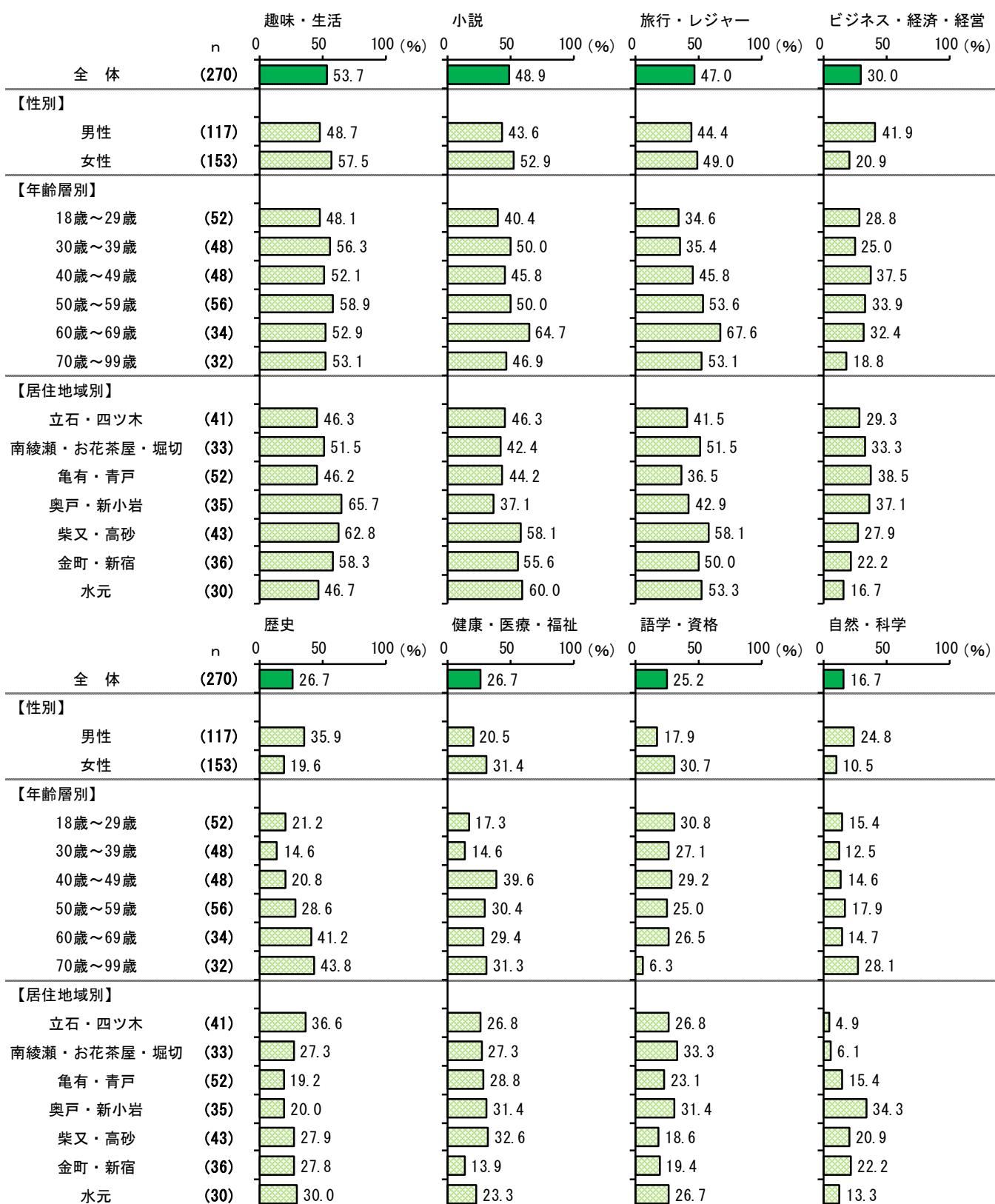


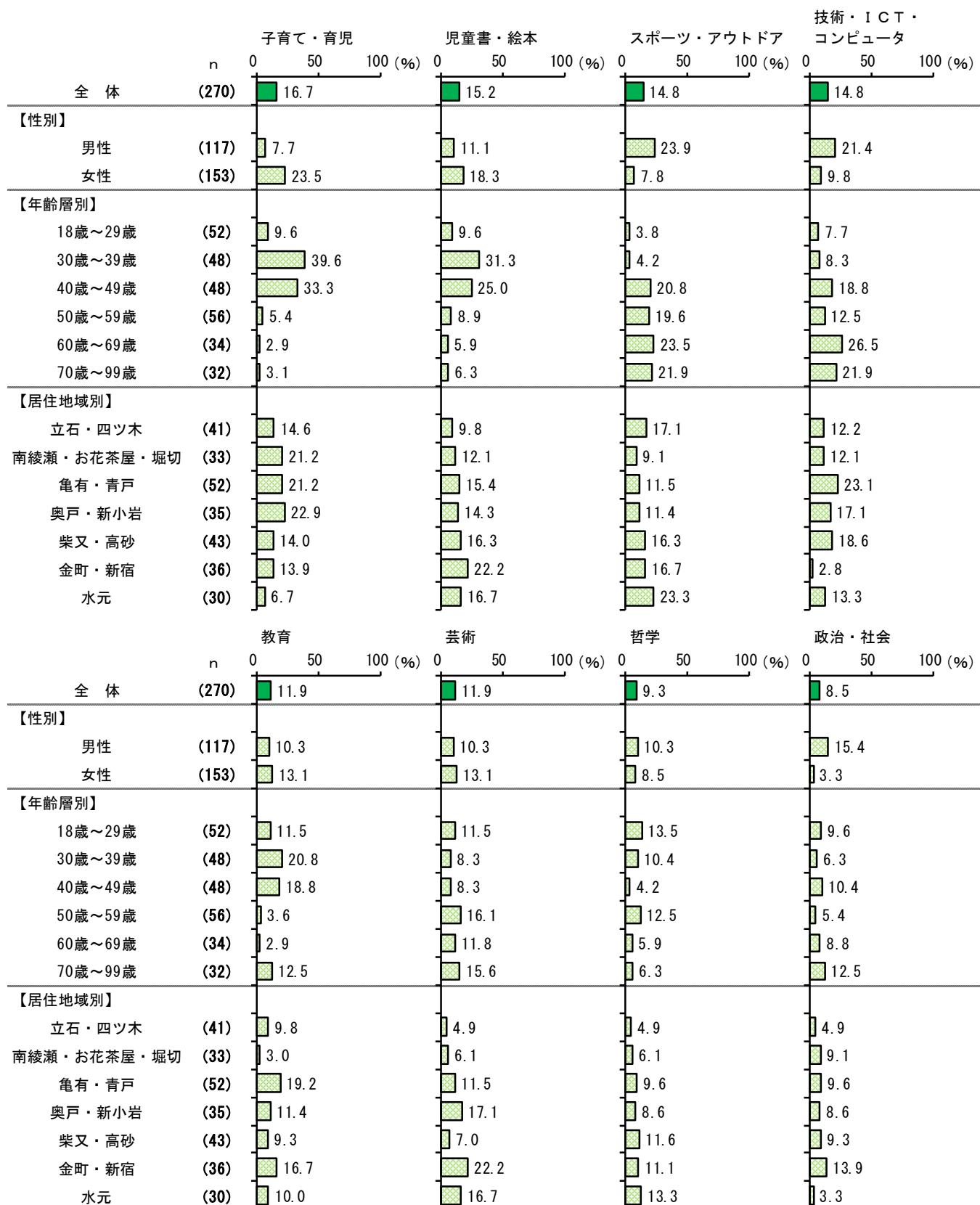
葛飾区立図書館電子書籍サービスで利用したいジャンルは、「趣味・生活」が53.7%で最も高く、次いで「小説」が48.9%、「旅行・レジャー」が47.0%、「ビジネス・経済・経営」が30.0%、「歴史」及び「健康・医療・福祉」がともに26.7%、「語学・資格」が25.2%と続いている。

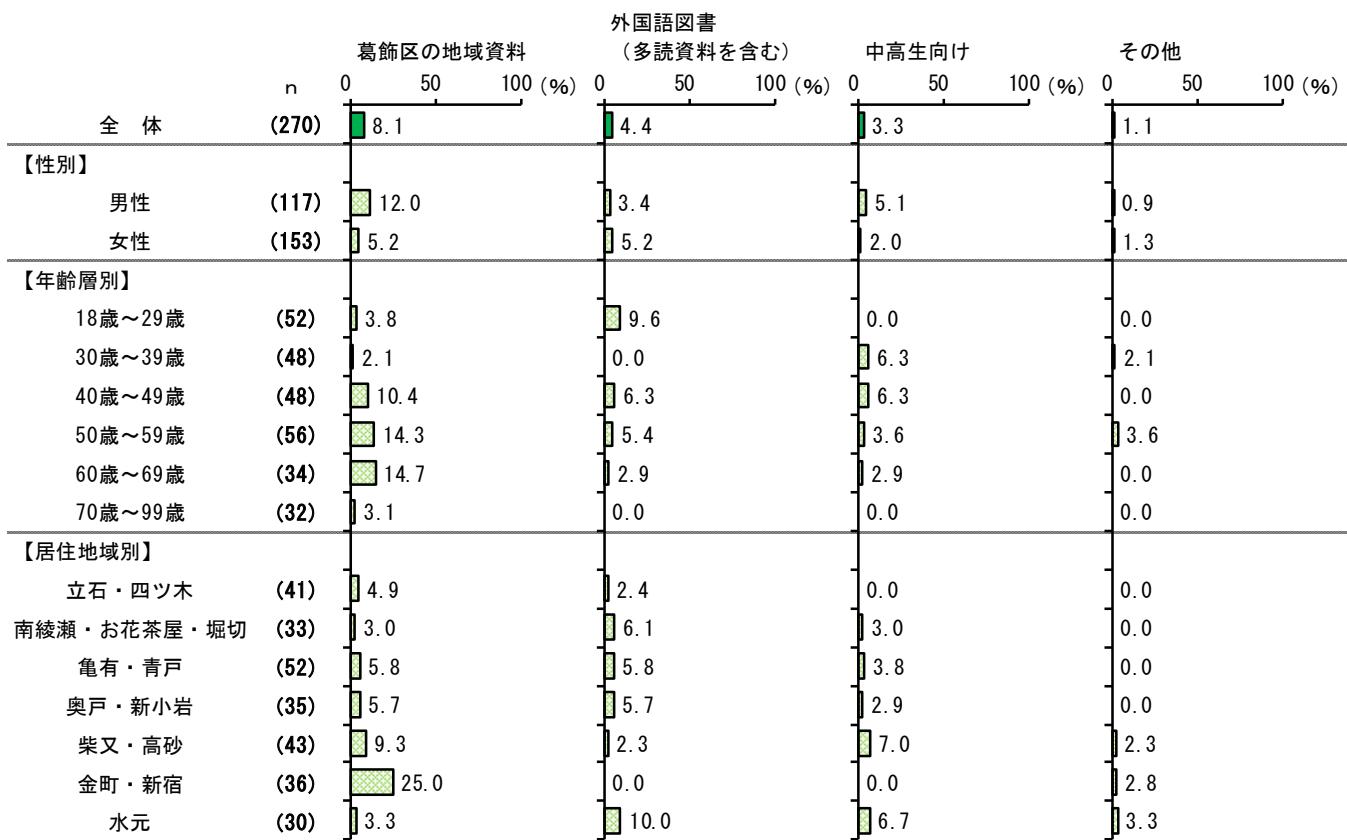
「その他」の内容としては、「漫画」「生体の飼育方法本」などがあった。

葛飾区立図書館電子書籍サービスで利用したいジャンル

【全体、性別、年齢層別、居住地域別】







性別でみると、「ビジネス・経済・経営」は【男性】が41.9%と、【女性】(20.9%)よりも21.0ポイント、「歴史」は【男性】が35.9%と、【女性】(19.6%)よりも16.3ポイント、「スポーツ・アウトドア」は【男性】が23.9%と、【女性】(7.8%)よりも16.1ポイント高くなっている。一方、「子育て・育児」は【女性】が23.5%と、【男性】(7.7%)よりも15.8ポイント高くなっている。

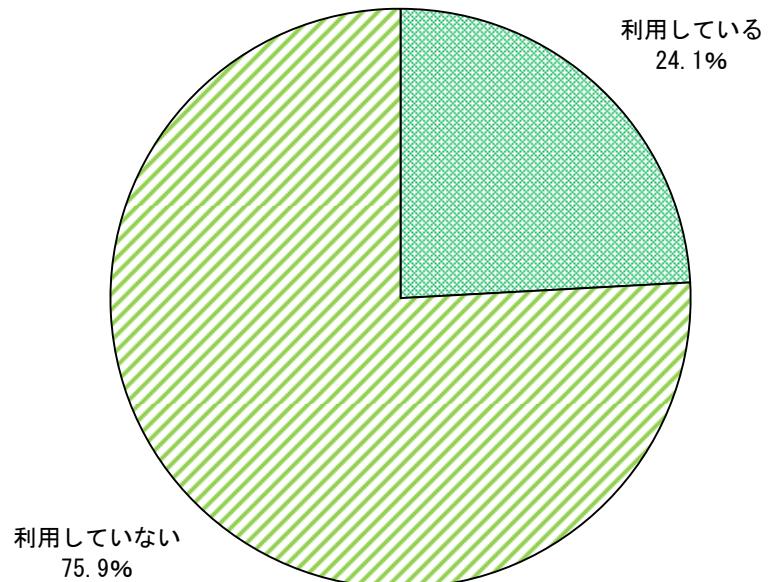
年齢層別でみると、「子育て・育児」は【30歳～39歳】が39.6%、「旅行・レジャー」は【60歳～69歳】が67.6%と、他の区分に比べ高くなっている。

居住地域別でみると、「自然・科学」は【奥戸・新小岩】が34.3%、「葛飾区の地域資料」は【金町・新宿】が25.0%と、他の区分に比べ高くなっている。

(37) 葛飾区電子書籍サービス以外の電子書籍サービスの利用の有無

問 37. 葛飾区電子書籍サービス以外の電子書籍サービスを現在利用していますか。
(1つ選択)

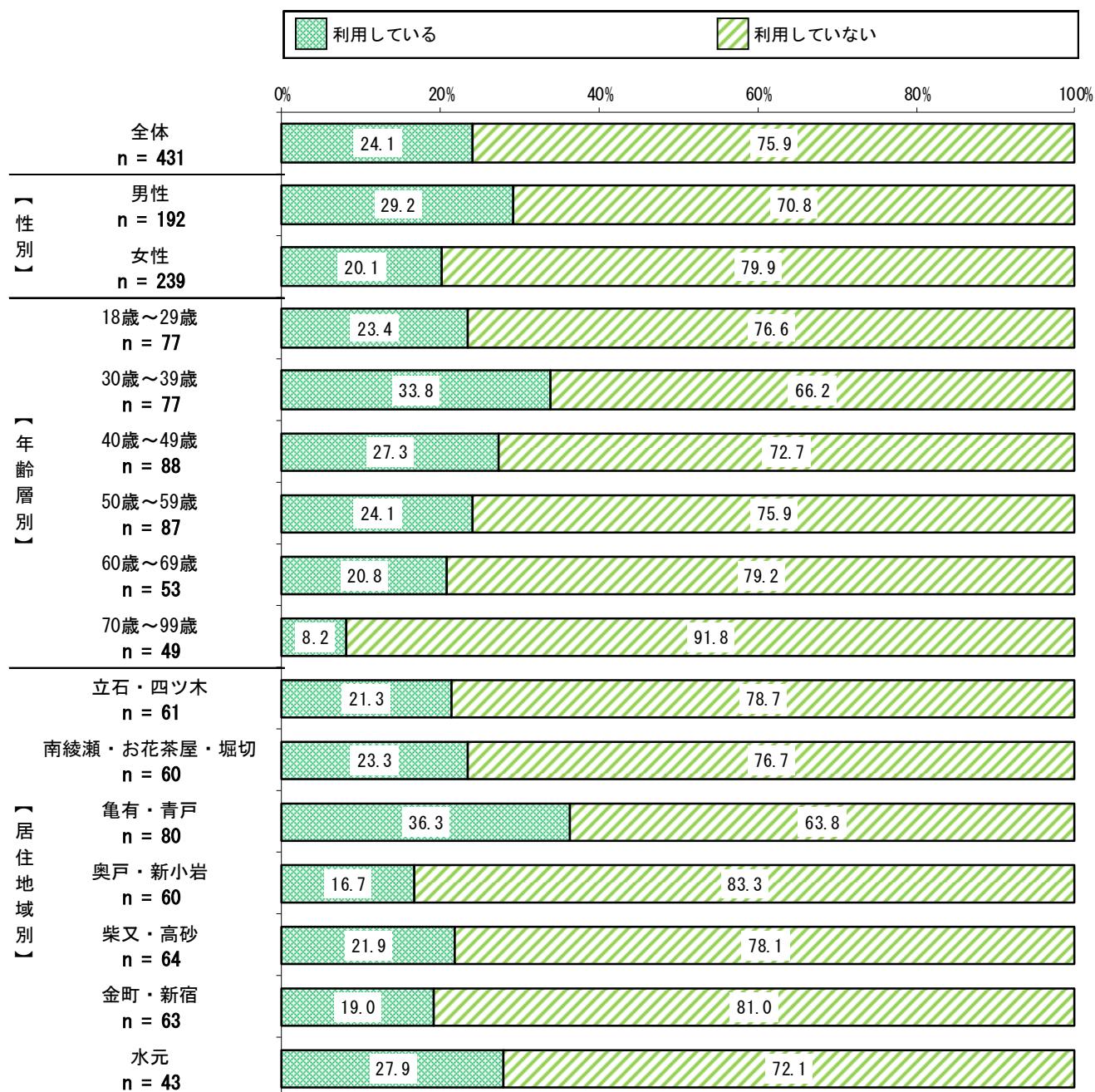
葛飾区電子書籍サービス以外の電子書籍サービスの利用の有無【全体】



n = 431

葛飾区電子書籍サービス以外の電子書籍サービスの利用の有無は、「利用していない」が75.9%となっている。

葛飾区電子書籍サービス以外の電子書籍サービスの利用の有無 【全体、性別、年齢層別、居住地域別】



性別でみると、「利用している」は【男性】が 29.2% と、【女性】(20.1%) よりも 9.1 ポイント高くなっている。

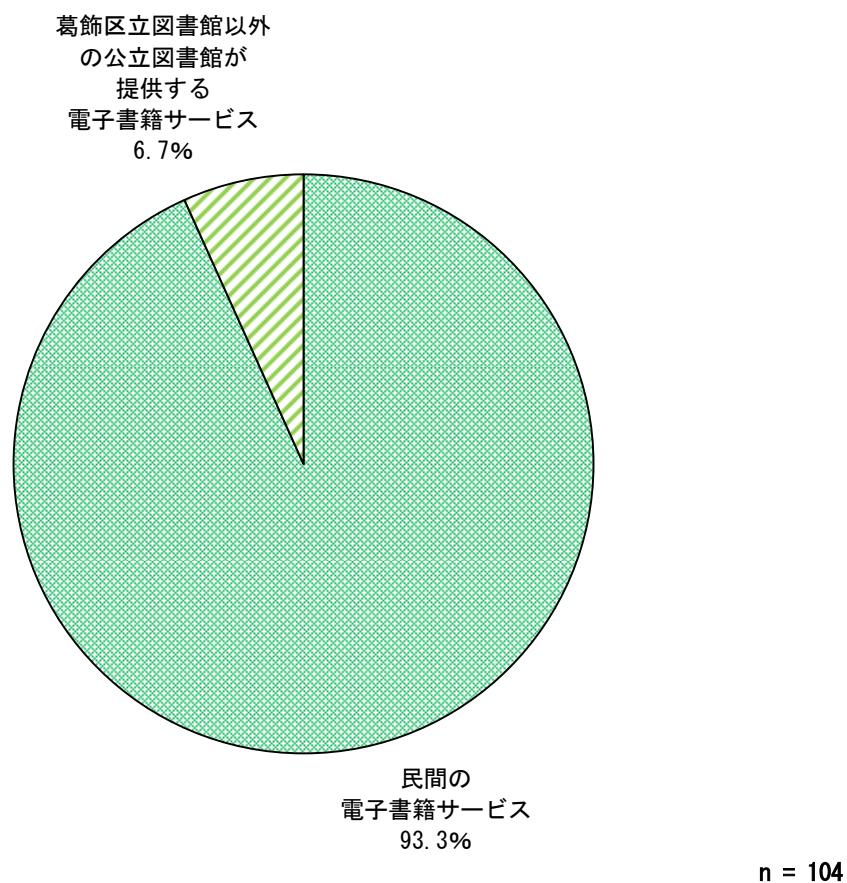
年齢層別でみると、「利用していない」は【70 歳～99 歳】が 91.8% と、他の区分に比べ高くなっている。

居住地域別でみると、「利用している」は【亀有・青戸】が 36.3% と、他の区分に比べ高くなっている。

(38) 葛飾区電子書籍サービス以外で利用している電子書籍サービス

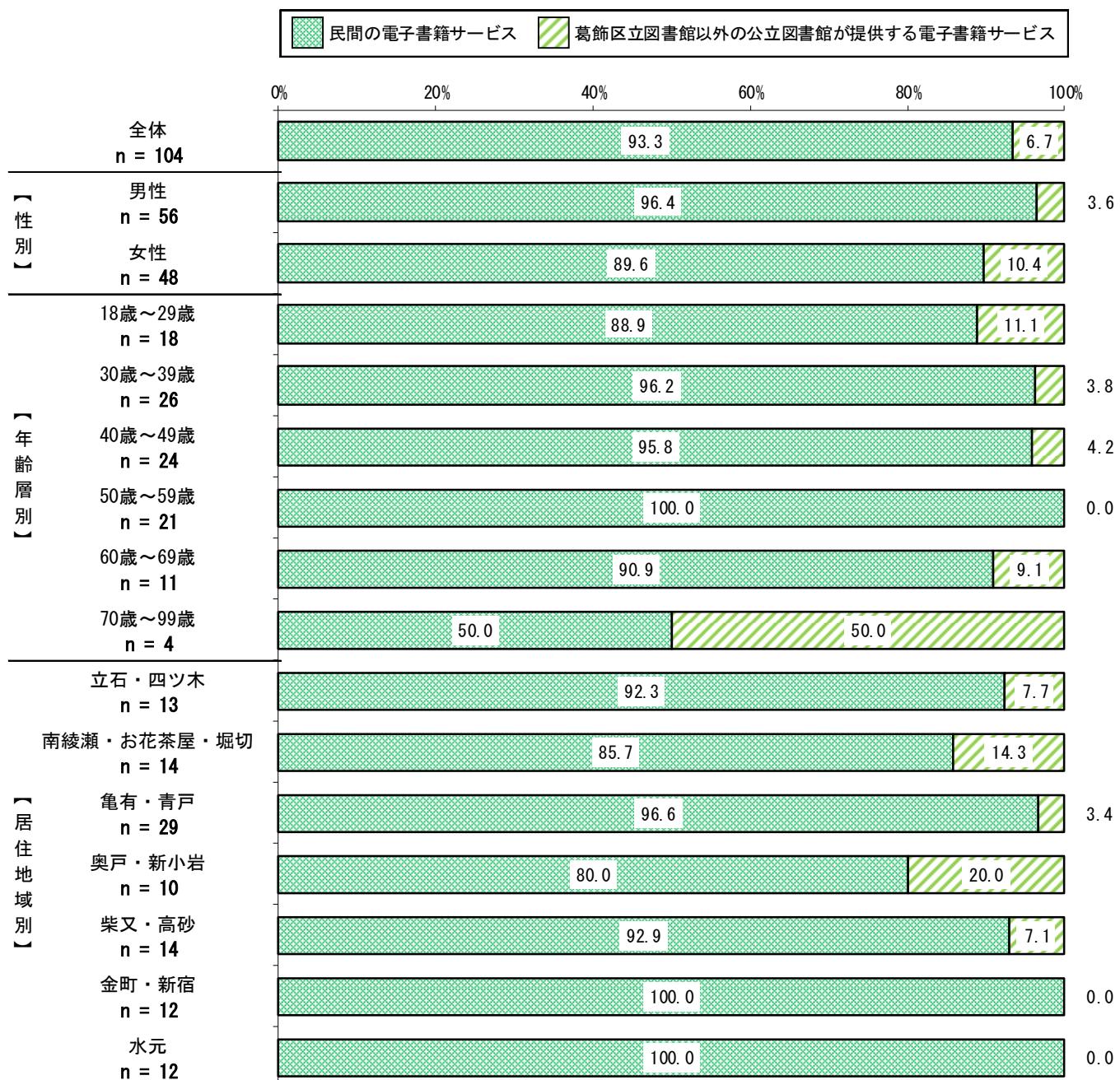
問 38. 問 37 で「利用している」と答えた方に伺います。
どの電子書籍サービスを主に利用していますか。（1つ選択）

葛飾区電子書籍サービス以外で利用している電子書籍サービス【全体】



葛飾区電子書籍サービス以外で利用している電子書籍サービスは、「民間の電子書籍サービス」が 93.3% となっている。

葛飾区電子書籍サービス以外で利用している電子書籍サービス
【全体、性別、年齢層別、居住地域別】



性別でみると、「民間の電子書籍サービス」は【男性】が96.4%と、【女性】(89.6%)よりも6.8ポイント高くなっている。

(39) 来館しなくても利用できる図書館サービスについてのご意見・ご要望

問 39. 来館しなくても利用できる図書館サービスについて、ご意見・ご要望がございましたらご記入ください。(自由記述)

【主な意見】

- 電子書籍の本が増えて欲しい。
- 図書配達。
- 図書館で本を借りて読む方が好きだが、出先で検索して気軽に読めるサービスとしてとても良いと思う。読める本を増やしていってほしい。
- 利用方法が分かりやすくシンプルで、利用にあたっての条件や制約も特に無いなら利用したいです。
- とても便利なサービスだけど、やはり紙媒体より読みにくいところがある。音声読み上げ機能が使えると良い。
- 携帯アプリがあつたら嬉しいです（既に存在したらすみません）。
- 学校や公立保育園に返却ポストを設置してほしい。
- 最新の本をLINEのニュースとして告知してもらいたい。
- おすすめの本を紹介しあったり、読んだ本の感想などを語り合える人とのコミュニケーションがとれる環境。
- 検索がもっとわかりやすくできるようになればなと思います。
- 貸出の実績をランキング形式で閲覧できるサービス。貸出の実績からおすすめを提案してくれるサービス。
- 電子書籍は破損や紛失の心配がないので、他の区のものも利用できるようになると読める本の幅が広がり、便利だと思う。
- 高齢化、厳しい気候など、外出しにくい状況は今後も進むと思う。認知症予防や症状の進み方を鈍化させる為に、刺激の一つとなるよう読書や調べものが気軽に出来る環境は必須なので是非広めてほしい。
- CDの貸し出しもされているので、音楽が電子化できたら借りたいです。
- 電子書籍にも関わらずなぜ数量制限（順番待ち）が発生するのか理解できない。電子化した利点がない。
- リクエストができるとよい。
- 色々なジャンルのものをそろえてほしいです。
- 活字メインの書籍はスマホやタブレットは画面サイズによって文字が変わってしまうので、どの端末でも一定の大きさの文字で表示されると読みやすいかも。絵本があると、子育て世帯にはとっても嬉しいはず。病院の待ち時間など、子どもを飽きさせないため。
- 画像でマッチング検索して電子で読めるサービス。
- マンガなどは電子書籍で読んでいるので、無料で使えるのであれば図書館サービスを使ってみたいと思いました。
- 他地域との電子書籍サービスと提携・共有。
- 上記サービスを知らなかったが時間があれば利用したいと思います。モニターアンケート調査に参加しなければわからなかつたので参加してよかったです。

令和7年度 第2回葛飾区区民モニターアンケート調査

報告書

令和7年12月

葛飾区総務部すぐやる課

住 所：〒124-8555 葛飾区立石5-13-1

T E L : 03-3695-1111 (代表) 03-5654-8448 (直通)